

現場説明事項

工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）

担当部署 総務部 営繕課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、市立水谷小学校北校舎における経年劣化による改修工事を行う。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工事の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。





































4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、工事用図面 A4（A3 二つ折）を 3 部製本し提出すること。
- 2) 契約工期は契約日から令和 6 年 12 月 27 日とする。
- 3) 仮設計画については児童、周辺施設、住民等に十分注意し、安全を確保すること。また、現場事務所については、学校と協議のうえ設置し、設備工事を含めた全体定例会議を開催できるスペースを含むこと。
- 4) 令和 6 年 6 月 10 日から、作業を可能とする。
- 5) 夏季休業（令和 6 年 7 月 20 日～令和 6 年 8 月 25 日）期間は集中的に工事をおこなうものとする。また、石綿撤去工事は夏季休業期間で完了すること。夏季休業以外は、学校運営に支障をきたさない作業については平日おこなえるものとする。
- 6) 富士見市長選挙時は、水谷小学校体育館を使用するため休工とすること。
- 7) 1 階・2 階・屋内階段部分は、令和 6 年 8 月 20 日までに現場使用前検査（室内環境測定含む）を受け関連工事とともに引き渡すこと。また、3 階部分は、令和 6 年 9 月 30 日までに現場使用前検査（室内環境測定含む）を受け関連工事とともに引き渡すこと。
- 8) 例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 9) 水谷小学校の学校環境・行事を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。
- 1 0) 工事中の騒音・振動等の防止に努めるとともに、近隣道路に違法駐車しないこと。
- 1 1) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 1 2) 足場設置 30 日前までに建設物機械等設置届を労働基準監督署に提出すること。
- 1 3) 建築物石綿含有建材調査者が事前調査をおこない、元請事業者は報告手続きを遅滞なくおこなうこと。

- 1 4) 提出書類については、富士見市様式で遅滞なく提出すること。
- 1 5) 竣工図は、監督員と協議の上、CAD データを作成すること。
- 1 6) 同施設において、「市立水谷小学校北校舎設備改修工事（ゼロ債務）」を予定しているため、当該工事受注者と十分協議し、工事を進めること。

工 程 表

工事名 市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)

工 種	3月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1 工事契約	契約 							
2 仮設工事								
3 外壁工事								
4 屋上防水工事								
5 2階内装工事 (設備工事含む)								
6 1階内装工事 (設備工事含む)								
7 3階内装工事 (設備工事含む)								
8 A棟階段・昇降口内装工 事(設備工事含む)								
9 B棟階段内装工事 (設備工事含む)								
10 外部階段塗装工事								
11								
12				検査	検査	検査		
13 検査								完了検査 
14 学校夏季休暇								

備考 ※現場施工期間は、6月10日から10月25日までとする。
 ※騒音、振動、異臭等、その他児童の授業等に支障があると思われる工事は、原則、学校休業日におこなうこと。
 ※石綿撤去工事は、夏休み開始に合わせておこなうこと。

積算書

工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)

工事場所 富士見市 水谷1丁目 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称						市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)					
請負工事費											
工事概要						外壁塗装修繕・外部建具修繕・屋上防水改修 内部床改修(石綿撤去)・内壁塗装修繕・内部天井改修					
						上段 設計変更					
						下段 原設計					
総括表											
名称		摘要		数量	単位	金額		備考			
建築工事				1	式						
計				1	式						
共通仮設費				1	式						
純工事費				1	式						
現場経費				1	式						
工事原価				1	式						
一般管理費				1	式						
工事価格				1	式						
改め				1	式						
消費税相当額				1	式			10%			
請負工事費				1	式						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
仮設建物費	現場事務所、倉庫、下小屋、 作業員施設等に要する費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事中施設に 要する費用	1.0	式			
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置、隣接物の養生及び補償 復旧、台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事中電気設備及び工事中給排水設備 とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率)+ (積上げ)
屋外整理清掃費	屋外・敷地周辺の跡片付け及びこれに伴う発生材処分並びに 端材等の処分に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
計						

(P.共通 - 2 -)

()
()

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設積み上げ						
仮囲い	成形鋼板 H=2.0m	76.20	m			代価表 1
	ガードフェンス H=1.80m	47.70	m			代価表 2
仮門	キャスターゲート W3.6m×H2.0m	2.00	個所			代価表 3
		1.00	式			別紙明細 1
仮設鉄板敷		492.40	㎡			代価表 4
仮設鉄板運搬費		492.40	㎡			
揚重機賃料	ラフテレーンクレーン 4.9t	2.00	日			
	ラフテレーンクレーン 25t	4.00	日			
整地		646.80	㎡			
交通誘導員		97.00	日			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
室内濃度測定	パツプ式 施工前	6.00	個所			
	パツプ式 施工後	6.00	個所			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	直接工事費					
A	外壁改修工事	1.00	式			
B	屋上防水改修工事	1.00	式			
C	内装改修工事	1.00	式			
D	発生材処分	1.00	式			
	計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
A	外壁改修工事					
1	直接仮設工事	1.00	式			
2	下地処理工事	1.00	式			
3	外装工事	1.00	式			
4	防水工事	1.00	式			
5	塗装工事	1.00	式			
6	雑工事	1.00	式			
7	撤去工事	1.00	式			
	計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	直接仮設工事												
	枠組本足場	建枠900		1989.00		m ²						代価表 5	
		建枠600		110.20		m ²						代価表 6	
	階段仕上足場			33.00		m ²						代価表 7	
	単管抱き足場			191.40		m ²						代価表 8	
	脚立足場	改修		28.20		m ²							
	ネット状養生シート張り			1989.00		m ²						代価表 9	
	仮設材運搬費			1.00		式						別紙明細 2	
	落下防止養生	枠組足場用		7.20		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	養生費		外壁改修	348.70		m ²							
	整理清掃後片付け費		外壁改修	348.70		m ²							
	小計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	下地処理工事					
	施工数量調査	事前調査	2119.30	m ²		
	既存塗膜除去	高圧水洗い工法 30Mpa 立上り	1953.40	m ²		
		高圧水洗い工法 30Mpa 見上げ	165.90	m ²		
	モルタル浮き部処理	モルタル面 16本/m ² アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入	57.20	m ²		
	モルタル爆裂処理	100×100程度 ポリマーセメントモルタル充填	5.00	個所		
		100×200程度 ポリマーセメントモルタル充填	2.00	個所		
		100×300程度 ポリマーセメントモルタル充填	1.00	個所		
		200×200程度 ポリマーセメントモルタル充填	5.00	個所		
		200×300程度 ポリマーセメントモルタル充填	3.00	個所		
		200×1000程度 ポリマーセメントモルタル充填	1.00	個所		

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル爆裂処理	300×400程度					
	ポリマーセメントモルタル充填	1.00	個所			
	300×500程度					
	ポリマーセメントモルタル充填	1.00	個所			
	400×400程度					
	ポリマーセメントモルタル充填	1.00	個所			
モルタル亀裂処理	0.3mm以下					
	ウット可とう性エポキシ樹脂充填	159.80	m			
	0.3mm以上					
	ウット可とう性エポキシ樹脂充填	15.00	m			
小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	外装工事					
	複層塗材E吹付	水系7ｸﾞﾗﾝ 艶有 上塗2回 凹凸模様 下地調整C-1共	1953.40	m ²		
	外装薄塗材E吹付	下地調整C-1共	165.90	m ²		
	樹脂モルタル薄塗	巾木	66.90	m ²		
	小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	防水工事												
	成形板周りコーキング	変成シリコン (MS-2)	20×15	120.40		m							
	サッシ周りコーキング	変成シリコン (MS-2)	15×10	1278.20		m							
	エキスパンションジョイント周りコーキング	変成シリコン (MS-2)	20×15	73.20		m							
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
5 塗装工事						
	改修仕様					
下地調整	鉄鋼面 RB種	214.40	m ²			
	改修仕様					
錆止め塗装	鉄鋼面 工程C種	7.30	m ²			
	改修仕様					
合成樹脂調合ペイント	鉄鋼面 工程B種	7.30	m ²			
	改修仕様					
耐候性塗料塗	鉄鋼面 3級 C種	207.10	m ²			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	雑工事					
	竖樋					
	硬質ポリ塩化ビニル管 Φ100	32.50	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管 Φ75	32.50	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管 Φ50	6.30	m			
	小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	撤去工事												
	モルタル研り			1.40		m ²							
	成形板周りコーキング			120.40		m							
	サッシ周りコーキング			1278.20		m							
	エキスパンションジョイント周りコーキング			73.20		m							
	縦樋	硬質ポリ塩化ビニル管	Φ100	32.50		m							
		硬質ポリ塩化ビニル管	Φ75	32.50		m							
		硬質ポリ塩化ビニル管	Φ50	6.30		m							
	小計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
B	屋上防水改修工事					
1	直接仮設工事	1.00	式			
2	防水工事	1.00	式			
3	金属工事	1.00	式			
4	塗装工事	1.00	式			
5	雑工事	1.00	式			
6	撤去工事	1.00	式			
	計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	直接仮設工事												
	養生費	防水改修		936.60		m ²							
	整理清掃後片付け費	防水改修		936.60		m ²							
	小計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	防水工事					
	下地清掃					
	高圧水洗清掃 30Mpa 平場	116.50	m ²			
	高圧水洗清掃 30Mpa 立上	87.60	m ²			
	掃掃除等	753.50	m ²			
	下地処理					
	仮防水	753.50	m ²			
	仲介プラーマー塗布	96.30	m ²			
	樹脂モルタル薄塗 平場	55.50	m ²			
	樹脂モルタル薄塗 立上り	129.00	m ²			
	ドレーンモルタル補修	8.00	個所			
	高耐久保護塗装	242.10	m ²			
	高反射高耐久保護塗装	38.70	m ²			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改質アスファルト系露出シート防水	常温密着工法	753.50	㎡			
	塗膜防水併用工法 立上り	95.40	㎡			
	塗膜防水併用工法 基礎（大）	17.00	㎡			
	塗膜防水併用工法 基礎（小）	8.10	㎡			
高靱性ウレタンゴム系塗膜防水	平場	116.50	㎡			
	立上り	87.60	㎡			
改修用ドレーン	縦型 Φ95	4.00	個所			
	縦型 Φ75	4.00	個所			
脱気筒	ステンレスバーパス	10.00	個所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防水端部金物周りコーキング	ポリウレタン系 (PU-2) 20×10	68.10	m			
エクステンションジョイント周りコーキング	ポリウレタン系 (PU-2) 20×10	10.70	m			
トップライト周りコーキング	ポリウレタン系 (PU-2) 20×10	14.20	m			
小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	金属工事					
	シート防水端部押え金物					
	軒先	172.90	m			
	水切り	68.10	m			
	小計					

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	塗装工事						
	下地調整	改修仕様 鉄鋼面 RB種	56.10	㎡			
	錆止め塗装	改修仕様 工程C種 塗料A種	56.10	㎡			
	合成樹脂調合ペイント	改修仕様 工程B種 塗料1種	56.10	㎡			
	小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5	雑工事												
	既存エキスパンションジョイント脱着	屋根	L=4.10	1.00		個所							
		屋根	L=3.90	1.00		個所							
		水切り	L=7.50	1.00		個所							
	トップライト脱着			1.00		個所							
	防鳥網脱着	樹脂製	水平	3.00		m ²							
		樹脂製	垂直	9.90		m ²							
		金網		3.60		m ²							
	小計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	撤去工事					
	露出シート防水					
	平場	753.50	㎡			
	立上り	95.40	㎡			
	基礎（大）	40.00	個所			
	基礎（小）	43.00	個所			
	シート防水端部押え金物					
	軒先	172.90	m			
	水切り	68.10	m			
	ルーフドレイン					
	縦型 Φ100	4.00	個所			
	縦型 Φ75	4.00	個所			
	コーキング	93.00	m			
	小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
C	内装改修工事												
1	直接仮設工事			1.00		式							
2	木工事			1.00		式							
3	金属工事			1.00		式							
4	左官工事			1.00		式							
5	建具工事			1.00		式							
6	塗装工事			1.00		式							
7	内装工事			1.00		式							
8	雑工事			1.00		式							
9	撤去工事			1.00		式							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1 直接仮設工事						
脚立足場	改修	1609.20	m ²			
階段仕上足場		220.50	m ²			代価表10
仮設間仕切		54.00	m ²			
仮設材運搬費		1.00	式			別紙明細3
養生費	複合改修	1829.70	m ²			
整理清掃後片付け費	複合改修	1829.70	m ²			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2 木工事						
造作材	米母	0.20	m ³			
フローリングブロック	t=15	7.00	m ²			
単層フローリング	t=15	17.80	m ²			代価表 1 1
サンダー掛け	研磨紙#240 既存塗膜全面撤去	982.70	m ²			
合板	床下地貼 t=12	13.30	m ²			
施工手間	巾木	26.90	m			
	窓額縁	81.80	m			
床レベル調整		1.00	式			代価表 1 2
小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	金属工事					
	鋼製天井下地	19型@225	1393.80	m ²		
	鋼製下り壁下地	19型	10.30	m ²		
	鋼製天井開口補強	19型 450角	31.00	個所		
	階段滑り止め	ステンレス製 幅40	222.80	m		
	下り壁見切り	塩化ビニル製	19.00	m		
	見切縁	アルミ製 L-50×25	6.10	m		代価表13
	廻り縁	塩化ビニル製	1562.10	m		
	天井点検口	アルミ製 450角 内外枠共額縁	19.00	個所		
	天井点検口取外し再取付	アルミ製 450角	12.00	個所		
	小計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	左官工事												
	モルタル金鏝												
		床	フローリング下地	7.00		m ²							
		内壁	厚20	26.30		m ²							
		巾木	H=100	20.10		m							
	下地調整	改修仕様	モルタル面 RC種	169.30		m ²							
	軽量骨材仕上塗材	合成樹脂	エマルジョン系 吹付	169.30		m ²							
	小計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5 建具工事						
	シングル錠交換	5.00	個所			代価表 1 4
	引戸錠交換	3.00	個所			代価表 1 5
		2.00	個所			代価表 1 6
	引違い錠交換	2.00	個所			代価表 1 7
	ストッパー取付	4.00	個所			代価表 1 8
	戸車交換	190.00	個所			代価表 1 9
	サッシクリーニング	500.20	㎡			
	ガラスクリーニング	71.40	㎡			
	化粧額縁周りコーキング	91.60	m			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガラスシーリング (内外)	シリコン系 5×5	1728.4	m			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6 塗装工事						
	ウレタン樹脂ワニス塗	982.70	m ²			
	下地調整					
	改修仕様 木部 RB種	1561.10	m ²			
	改修仕様 モルタル面 RB種	1271.40	m ²			
	改修仕様 ホート面 RB種	43.00	m ²			
	改修仕様 ケイカル面 RB種	33.40	m ²			
	改修仕様 鉄鋼面 RB種	10.00	m ²			
	改修仕様 鋼製建具面 RB種	202.60	m ²			
	素地ごしらえ					
	木部 工程A種	10.00	m ²			
	モルタル面 工程B種	3.00	m ²			
	ホート面 工程B種	10.30	m ²			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
錆止め塗装塗	改修仕様 鉄鋼面 工程C種	10.00	m ²			
	改修仕様 鋼製建具面 工程C種	129.70	m ²			
合成樹脂調合ペイント	改修仕様 木部 工程B種	1561.10	m ²			
	木部 工程B種	10.00	m ²			
	改修仕様 鉄鋼面 工程B種	10.00	m ²			
	改修仕様 鋼製建具面 工程B種	129.70	m ²			
艶有合成樹脂エマルジョン	一般					
	改修仕様 モルタル面 工程B種	1117.10	m ²			
	見上げ					
	改修仕様 モルタル面 工程B種	154.40	m ²			
	一般					
	改修仕様 ボート面 工程B種	43.00	m ²			
	一般					
	改修仕様 ケイカル面 工程B種	33.40	m ²			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	一般 モルタル面 工程B種	3.00	㎡			
	一般 ボート面 工程B種	10.30	㎡			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	内装工事												
	長尺塩ビシート	センターライン入り											
		複層ビニールシート t=2.0 一般		559.10		m ²							代価表 2 0
		センターライン入り											
		複層ビニールシート t=2.0 階段		87.90		m ²							代価表 2 1
	ビニールクロス	天井 準不燃		7.40		m ²							代価表 2 2
	化粧石膏ボード	天井 マーブル柄 t=9.5		1393.80		m ²							
	石膏ボード	壁 t=12.5		10.30		m ²							
	タイル洗い	工業用塩酸使用		12.90		m ²							
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
8 雑工事						
教師用戸棚	L=1200	1.00	台			
小荷物掛け	L=5040	9.00	台			代価表 2 3
	L=4860	3.00	台			代価表 2 4
	L=3600	6.00	台			代価表 2 5
家具据付費		1.00	式			
家具運搬費		1.00	式			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掃除用具入れ扉	しな合板 t=24 W450H1750	16.00	個所			代価表 2 6
掲示板クロス		313.30	m ²			代価表 2 7
カーテンレール	軽量用					
	ステンレス製 手引き 引分け	131.50	m			
室名札	アクリル製 ヒコトグラフ 150角	21.00	個			
誘導用及び注意喚起床材	塩化ビニル製	5.10	m ²			
階段手摺	樹脂製 Φ38	21.30	m			
同上施工費		21.30	m			
掲示板枠	アルミ 20×3t	40.70	m			代価表 2 8
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
9 撤去工事						
フローリングブロック		3.10	m ²			
単層フローリング		17.80	m ²			
下地合板	床下地	10.30	m ²			
合板	下り壁	10.30	m ²			
天井下地	木組	845.60	m ²			
長尺塩ビシート	一般 アスベスト含有	559.10	m ²			
	階段 アスベスト含有	87.90	m ²			
同上接着剤除去	湿潤化 集塵機付ディスクサンダー	1.00	式			代価表29
下り壁見切り縁		13.00	m			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
化粧石膏ボード	天井 t=9.5下地石膏ボード共	845.60	㎡			
ビニールクロス	天井	7.70	㎡			
階段すべり止め		222.80	m			
廻り縁	塩ビ製	868.00	m			
シリンダー錠		5.00	個			
引戸錠	鋼製建具	3.00	個			
	木製建具	2.00	個			
引違い錠	鋼製建具	2.00	個			
戸車	木製建具	190.00	個			
戸棚		17.00	台			
小物掛け		18.00	個所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
掃除用具入れ扉		16.00	個所			
掲示板クロス		295.00	m ²			
カーテンレール		131.50	m			
室名札		17.00	個			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
D	発生材処分												
	除去石綿処理	密封処理		1.30		m ³							
	発生材運搬	木くず 4t車 5.0km以下		13.50		m ³							
		石膏ボード 4t車 5.0km以下		16.10		m ³							
		長尺塩ビシート 4t車 75km		1.00		台							
		混合廃棄物		6.30		m ³							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	発生材処分		木くず	13.50		m ³							
			石膏ボード	16.10		m ³							
			長尺塩ビシート糊	1.30		m ³							
			混合廃棄物	6.30		m ³							
	計												

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

別紙明細 1			1式当たり	
仮設材運搬費				

1式当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	成形鋼板 H=2.0m	76.20	m			
ガードフェンス	H=1.8m	47.70	m			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

別紙明細 2			1㎡当たり	
仮設材運搬費				

1㎡当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
枠組本足場	建枠900	1989.00	㎡			
	建枠600	110.20	㎡			
階段仕上足場		33.00	㎡			
単管抱き足場		191.40	㎡			
ネット状養生シート張り		1989.00	㎡			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

別紙明細 3			1式当たり
仮設材運搬費			

1式当たり							
名	称	摘 要 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	階段仕上足場		220.50	㎡			
	仮設間仕切		54.00	㎡			
	小計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 1			1m当たり
仮囲い	成形鋼板 H=2.0m		

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設置費	H=2.0	1.00	m			
撤去費	H=2.0	1.00	m			
共用賃料		120.00	日			
基本料		1.00	m			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 2			1m当たり
ガードフェンス	H=1.8m		

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掛け払い手間	H=1.8m	1.00	m			
共用賃料		120.00	日			
基本料		1.00	m			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表3			1個所当たり	
仮門	キャスターゲート W=3.6×H=2.0			

1個所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掛け払い		1.00	個所			
月額賃料		4.00	月			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

代価表 4			1㎡当たり	
仮設鉄板敷				

1㎡当たり							
	名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	設置費		1.00	m			
	撤去費		1.00	m			
	共用賃料		120.00	日			
	整備費		1.00	m			
	計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 5			1㎡当たり	
枠組本足場	建枠900			

1㎡当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掛け払い手間	12m未満	1.00	㎡			
共用賃料	12m未満	60.00	日			
基本料	12m未満	1.00	㎡			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

代価表 6			1㎡当たり	
枠組本足場	建枠600			

1㎡当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掛け払い手間	12m未満	1.00	㎡			
共用賃料	12m未満	60.00	日			
基本料	12m未満	1.00	㎡			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 7			1㎡当たり	
階段仕上足場				

1㎡当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掛け払い手間		1.00	㎡			
共用賃料		60.00	日			
基本料		1.00	㎡			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 8			1㎡当たり	
単管抱き足場				

1㎡当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掛け払い手間	10m未満	1.00	㎡			
共用賃料	10m未満	60.00	日			
基本料	10m未満	1.00	㎡			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 10			1㎡当たり	
階段仕上足場				

1㎡当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掛け払い手間		1.00	㎡			
共用賃料		60.00	日			
基本料		1.00	㎡			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 1 1			1㎡当たり	
単層フローリング				

1㎡当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
フローリングボード						
	t=15 プナ	1.00	㎡			
施工費						
	大工	0.12	人			
	普通作業員	0.016	人			
	釘	0.10	kg			
	その他	1.00	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 13			1m当たり	
見切縁	アルミ製 L-50×25			

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミアングル	L-50×25×2	1.00	m			
施工費	内装工 天井見切縁代用	0.035	人工			
	その他	1.00	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 16			1個所当たり	
引戸錠交換	木製建具			

1個所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
引戸錠		1.00	個			
施工費	建具工 ドアクローザー代用	0.09	人工			
	その他	1.00	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 17			1個所当たり	
引違い錠交換	鋼製建具			

1個所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
引違い錠		1.00	個			
施工費	サッシ工 ドアクローザー代用	0.08	人工			
	その他	1.00	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 18			1個所当たり	
ストッパー取付	鋼製建具			

1個所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ストッパー		1.00	個			
施工費	サッシ工 ドアクローザー代用	0.08	人工			
	その他	1.00	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 19			1個所当たり	
戸車交換	木製建具			

1個所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
戸車		2.00	個			
施工費	建具工 ドアクローザー代用	0.09	人工			
	その他	1.00	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 20			1㎡当たり	
長尺塩ビシート	t=2.0 一般			

1㎡当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
長尺塩ビシート	t=2.0 センターライン入り	1.05	㎡			
施工費	内装工	0.04	人工			
	その他	1.00	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 2 1			1㎡当たり	
長尺塩ビシート	t=2.0 階段			

1㎡当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
長尺塩ビシート	t=2.0 センターライン入り	1.08	㎡			
施工費	内装工	0.07	人工			
	その他	1.00	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 2 2			1㎡当たり	
ビニールクロス	天井			

1㎡当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニールクロス	プラスチック	1.05	㎡			
施工費		1.00	㎡			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 23			1個所当たり	
小荷物掛け	L=5040			

1個所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付板	米母 30×75×5040	0.011	m ³			
取付板施工費	大工 0.08×5.04=0.404	0.403	人工			
	普通 0.01×5.04=0.051	0.050	人工			
	その他	1.00	式			
あと施工アンカー	金属拡張アンカー SUS M8 横 標準B	6.00	本			
小物掛けフック	回転式 SUS	49.00	個			
フック取付施工費	内装工 0.014×5.04=0.071	0.071	人工			
	その他	1.00	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 24			1個所当たり
小荷物掛け	L=4860		

1個所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付板	米母 30×75×4860	0.011	m ³			
取付板施工費	大工 0.08×4.86=0.389	0.389	人工			
	普通 0.01×4.86=0.049	0.049	人工			
	その他	1.00	式			
あと施工アンカー	金属拡張アンカー SUS M8 横 標準B	6.00	本			
小物掛けフック	回転式 SUS	47.00	個			
フック取付施工費	内装工 0.014×5.04=0.071	0.071	人工			
	その他	1.00	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 25			1個所当たり	
小荷物掛け	L=3600			

1個所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付板	米母 30×75×3600	0.008	m ³			
取付板施工費	大工 0.08×3.60=0.288	0.288	人工			
	普通 0.01×3.60=0.036	0.036	人工			
	その他	1.00	式			
あと施工アンカー	金属拡張アンカー SUS M8 横 標準B	5.00	本			
小物掛けフック	回転式 SUS	36.00	個			
フック取付施工費	内装工 0.014×3.60=0.050	0.050	人工			
	その他	1.00	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 26			1個所当たり	
掃除用具入れ扉	しな合板 t=24 W450 H1750			

1個所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
しな合板	t=24	0.80	m ²			
施工費		1.00	個所			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 27			1㎡当たり	
掲示板クロス				

1㎡当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掲示板クロス		1.00	㎡			
施工費		1.00	㎡			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 28			1 m 当たり	
掲示板枠	アルミ 20×3t			

1 m 当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミ平角棒	20×3t	1.00	m			
施工手間	天井見切縁代用					
	内装工	0.035	人工			
	その他	1.00	式			
計						

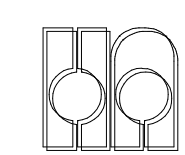
単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

代価表 29			1 式当たり
長尺シート接着剤除去	湿潤化 集塵機付テイスクランダー		

1 式当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
飛散防止剤吹付		647.00	m ²			
器具賃料	集塵機付テイスクランダー	10.00	日			
施工費		647.00	m ²			
計						

市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)




ハナガタ建築設計事務所

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A- 1	改修建築工事特記仕様書 (1)		A-15	北校舎1階平面図	S=1/100	A-29	外階段平面詳細図	S=1/30	A-43	廊下1階展開図 (A棟)	S=1/50
A- 2	改修建築工事特記仕様書 (2)		A-16	北校舎2階平面図	S=1/100	A-30	外階段断面詳細図	S=1/30	A-44	廊下2階展開図 (A棟)	S=1/50
A- 3	改修建築工事特記仕様書 (3)		A-17	北校舎3階平面図	S=1/100	A-31	北校舎1階天井伏図	S=1/100	A-45	廊下3階展開図 (A棟)	S=1/50
A- 4	改修建築工事特記仕様書 (4)		A-18	北校舎塔屋・屋上平面図	S=1/100	A-32	北校舎2階天井伏図	S=1/100	A-46	廊下1階展開図 (B棟)	S=1/50
A- 5	改修建築工事特記仕様書 (5)		A-19	南・東立面図	S=1/100	A-33	北校舎3階・塔屋天井伏図 (既存)	S=1/100	A-47	廊下2階展開図 (B棟)	S=1/50
A- 6	改修建築工事特記仕様書 (6)		A-20	北・西立面図	S=1/100	A-34	北校舎3階・塔屋天井伏図 (改修)	S=1/100	A-48	廊下3階展開図 (B棟)	S=1/50
A- 7	改修建築工事特記仕様書 (7)		A-21	矩 形 図 (A棟既存)	S=1/30	A-35	普通教室平面詳細図・展開図 (A棟1・2階)	S=1/50	A-49	家具詳細図 (1)	S=1/20
A- 8	改修建築工事特記仕様書 (8)		A-22	矩 形 図 (A棟改修)	S=1/30	A-36	普通教室平面詳細図・展開図 (A棟3階)	S=1/50	A-50	家具詳細図 (2)	S=1/20
A- 9	案内図・配置図 (仮設計画)	S=1/500	A-23	矩 形 図 (B棟既存)	S=1/30	A-37	普通教室平面詳細図・展開図 (A棟耐震補強室)	S=1/50	A-51	1・2階建具キープラン	S=1/100
A-10	仕 上 表		A-24	矩 形 図 (B棟改修)	S=1/30	A-38	普通教室平面詳細図・展開図 (B棟1・2階)	S=1/50	A-52	3階・塔屋建具キープラン	S=1/100
A-11	1階平面図 (仮設計画)	S=1/200	A-25	階段詳細図 (A棟既存)	S=1/50	A-39	普通教室平面詳細図・展開図 (B棟クローバー)	S=1/50	A-53	建 具 表 (1)	S=1/50
A-12	2階平面図	S=1/200	A-26	階段詳細図 (A棟改修)	S=1/50	A-40	普通教室平面詳細図・展開図 (B棟たいよう)	S=1/50	A-54	建 具 表 (2)	S=1/50
A-13	3階平面図	S=1/200	A-27	階段詳細図 (B棟既存)	S=1/50	A-41	普通教室平面詳細図・展開図 (B棟3階)	S=1/50	A-55	外壁調査結果	
A-14	塔屋・屋上平面図 (仮設計画)	S=1/200	A-28	階段詳細図 (B棟改修)	S=1/50	A-42	普通教室平面詳細図・展開図 (B棟耐震補強室)	S=1/50			

摘 要


ハナガタ建築設計事務所
一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2023/02/28	承認	担当	製 図	工 事 名 称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事 (ゼロ債務)	図面番号
変更年月日		N.S	T.S	T.S	図 面 名 称	図 面 リ ス ト	縮尺

⑥ 改質アスファルトシート防水
⑦ 合成高分子系ルーフィングシート防水
⑧ 塗膜防水
⑨ シーリング
⑩ とい
11 アルミニウム製笠木
⑫ 防水工事施工票
4 ① 施工数量調査
外壁改修工事
4-1 1 ひび割れ部改修工法
コンクリート打放し仕上げ外壁

高日射反射率防水の適用
脱気装置の種類及び設置数量
ゴムアスファルト系塗膜防水工法
シーリング改修工法の種類
シーリング材の目地寸法
といその他の材質等
ルーフトレんの種類及び呼び
表面処理
既存笠木等の撤去
調査範囲
ひび割れ部改修工法
樹脂注入工法
Uカットシール材充填工法
シール工法

2 欠損部改修工法
4-2 モルタル塗り仕上げ外壁
3 タイル張り仕上げ外壁
3 ひび割れ部改修工法
4-3 タイル張り仕上げ外壁
4 欠損部改修工法

5 浮き部改修工法
6 目地改修工法
4-4 塗り仕上げ外壁等
3 マスチック塗材塗り
4-5 外壁用塗膜防水材塗り

5	1 改修工法	[5. 1. 3]
		性能値等 [5. 2. 2~5]
		新規格に建具を設ける場合
		適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
		2 防火戸
		3 見本の製作等
		4 防犯建物部品
アルミニウム製建具	性能値等 [5. 2. 2~5][5. 2. 1、2]	
	新規格に建具を設ける場合	
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]	
	2 防火戸	
	3 見本の製作等	
	4 防犯建物部品	
	5 アルミニウム製建具	
6 網戸等	性能値等 [5. 2. 2~5][5. 2. 1、2]	
	新規格に建具を設ける場合	
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]	
	2 防火戸	
	3 見本の製作等	
	4 防犯建物部品	
	5 アルミニウム製建具	
7 樹脂製建具	性能値等 [5. 2. 2][5. 3. 2~5]	
	新規格に建具を設ける場合	
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]	
	2 防火戸	
	3 見本の製作等	
	4 防犯建物部品	
	5 アルミニウム製建具	
8 鋼製建具	性能値等 [5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]	
	新規格に建具を設ける場合	
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]	
	2 防火戸	
	3 見本の製作等	
	4 防犯建物部品	
	5 アルミニウム製建具	

10 ステンレス製建具	性能値等 [5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~5]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具
11 木製建具	性能値等 [5. 7. 2~4]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具
⑫ 建具用金物	性能値等 [5. 8. 1~3]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具
14 自動ドア開閉装置	性能値等 [5. 9. 2、3]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具
15 自閉式上吊り引戸装置	性能値等 [5. 10. 3]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具
16 重量シャッター	性能値等 [5. 11. 2、3]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具

17 軽量シャッター	性能値等 [5. 12. 2~4]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具
18 オーバーヘッドドア	性能値等 [5. 13. 2、3]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具
⑬ ガラス	性能値等 [3. 7][5. 14. 2~4]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具
20 ガラスブロック	性能値等 [5. 14. 5]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具
21 ガラス用フィルム	性能値等 [5. 15. 2]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具

6 内装改修工事	① 改修範囲 [6. 1. 3]
	② 既存床の撤去及び下地補修 [6. 2. 2]
	③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6. 3. 2]
	④ 施工一般 [6. 5. 2]
	⑤ 製材 ㊦ [6. 5. 2]
	⑥ 造作用集成材 ㊧ [6. 5. 2]
	⑦ 造作用単板積層材 ㊨ [6. 5. 2]
⑧ 集成材	性能値等 [6. 5. 2]
	新規格に建具を設ける場合
	適用箇所 ※建具表による [5. 1. 4]
	2 防火戸
	3 見本の製作等
	4 防犯建物部品
	5 アルミニウム製建具

⑧ 合板等	<p>①「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>床下地</td> <td>※5.5 ①12</td> <td>ラワン</td> <td>※1類 ・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※0-D以上</td> <td>○適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table>							施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用	床下地	※5.5 ①12	ラワン	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※0-D以上	○適用する ・適用しない	・				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用																		
	床下地	※5.5 ①12	ラワン	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※0-D以上	○適用する ・適用しない	・																		
	<p>・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※2級以上 ・1級</td> <td></td> <td>※1類 ・特類</td> <td>※0-D以上</td> <td>※12</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table>							施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用		※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※0-D以上	※12	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																
		※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※0-D以上	※12	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・																
	<p>・「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板 [G]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・特類 ・1類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table>							施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用				・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・						
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用																			
				・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・																			
	<p>・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table>							施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない								
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用																					
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない																					
<p>・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table>							施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない							
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用																				
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																				
<p>・パーティクルボード [G]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※F又はM</td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </table>							施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)			※13タイプ	※F又はM		※15							
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																				
		※13タイプ	※F又はM		※15																				
<p>・JAS 0360 に基づく構造用パネ</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>							施工箇所	寸法 (mm)																	
施工箇所	寸法 (mm)																								
<p>・MDF [G]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分													
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																				
<p>9 接合具等 [6.5.3]</p> <p>造作材の化粧面の釘打ち ※返し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度) (形状: 寸法: 材質:)</p>																									
<p>10 接着剤 [6.5.3.4]</p> <p>接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆</p>																									
<p>11 防虫・防蟻処理 [6.5.5]</p> <p>・薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </table> <p>・薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※薬剤の製造所の仕様による</td> <td>※JIS K 15711に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>・薬剤の接着剤への混入による防虫・防蟻処理</p> <p>適用部位 ()</p> <p>・合板等の加圧注入処理等の適用</p> <p>適用部位 ()</p>							適用部材	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 15711に適合又は同等品									
適用部材	保存処理性能区分																								
	・K2 ・K3 ・K4																								
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																							
	※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 15711に適合又は同等品																							
<p>12 内部間仕切軸組及び床組み [6.5.6]</p> <p>間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松 床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松</p>																									
<p>13 窓、出入口その他 [6.5.7]</p> <p>窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき その他 ※松又は杉</p>																									
<p>⑭ 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2～4]</p> <p>野縁等の種類 屋外 (※25形 ・19形) 屋内 (※19形 ・25形) 屋外の形式及び寸法 野縁梁、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 周辺部の端からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・図示 既存の埋込みインサート あと施工アンカーの施工後の確認試験 ○行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 () 箇所 引張試験にて確認する強度 ※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400mm程度 () ・行わない</p> <p>・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井のみとところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示</p>																									

⑮ 軽量鉄骨壁下地	<p>スタッド、ランナーの種類 [6.7.3.4][表6.7.1]</p> <p>※表6.7.1により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)による</p>																																																		
	<p>⑯ ビニル床シート [6.8.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS(複層ビニル床シート)</td> <td>・無地 ・マーブル柄 ・柄物</td> <td>※2.0 ・450×450</td> <td>センターライン入り</td> </tr> </table> <p>接合部の処理 ※熱溶接工法</p>				種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考	※FS(複層ビニル床シート)	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・450×450	センターライン入り																																							
	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考																																															
	※FS(複層ビニル床シート)	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・450×450	センターライン入り																																															
	<p>17 ビニル床タイル [6.8.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※KT(コブ シンクビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>※2.0 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT(単層ビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・2.5 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FT(複層ビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・2.5 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA(置敷きビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・500×500</td> <td>・4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT(コブ シンクビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0		・TT(単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0		・FT(複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0		・FOA(置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0		・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物																				
	種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																														
	※KT(コブ シンクビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0																																															
	・TT(単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0																																															
	・FT(複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0																																															
	・FOA(置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0																																															
・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物																																																		
<p>18 特殊機能床材 [6.8.2]</p> <p>・帯電防止床シート 種類 () 性能 () 厚さ (mm) ()</p> <p>・帯電防止床タイル 種類 () 性能 () 寸法 (mm) (×) 厚さ (mm) ()</p> <p>・視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。種類 形状 ()</p> <p>・耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ (mm) ()</p> <p>・防滑性床シート 種類 () 厚さ (mm) ()</p> <p>・防滑性床タイル 種類 () 寸法 (mm) (×) 厚さ (mm) ()</p>																																																			
<p>19 ビニル幅木 [6.8.2]</p> <p>材質の種類 ・軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による) 高さ (mm) ※60 ・75 ・100 厚さ (mm) ※1.5以上</p>																																																			
<p>20 ゴム床タイル [6.8.2]</p> <p>種類 ・単層品 ・積層品 色柄 () 厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法 (mm) () × ()</p>																																																			
<p>21 カーベツト敷き [6.9.2.3][表6.9.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>繰り方</th> <th>バイル形状</th> </tr> <tr> <td>・ウィルトンカーベツト ・ダブルフェースカーベツト ・アキスミンスターカーベツト</td> <td>・カットバイル ・ループバイル ・カットループバイル</td> </tr> </table> <p>色柄 ※模様のない無地 バイル糸の繊維種等 ※無地の繰りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種) 帯電性 適用する 適用しない 繰りじゅうたんの検査方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり織り 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p> <p>・タフテッドカーベツト</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>巾(長さ) (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・5～7</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>・4～6</td> <td>・全面接着工法</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>下敷き材(グリーンパーエツトの場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm タフテッドカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・タイルカーベツト</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> </table>				繰り方	バイル形状	・ウィルトンカーベツト ・ダブルフェースカーベツト ・アキスミンスターカーベツト	・カットバイル ・ループバイル ・カットループバイル	バイル形状	巾(長さ) (mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル	・5～7	・	・	・	・ループバイル	・4～6	・全面接着工法	・適用する	・適用しない	・カット、ループ併用		・	・	・	バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考	※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	
繰り方	バイル形状																																																		
・ウィルトンカーベツト ・ダブルフェースカーベツト ・アキスミンスターカーベツト	・カットバイル ・ループバイル ・カットループバイル																																																		
バイル形状	巾(長さ) (mm)	工法	帯電性	備考																																															
・カットバイル	・5～7	・	・	・																																															
・ループバイル	・4～6	・全面接着工法	・適用する	・適用しない																																															
・カット、ループ併用		・	・	・																																															
バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考																																														
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																															
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																															
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																															
<p>22 合成樹脂塗床 [6.10.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 (弾性ポリウレタン系塗床)</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 (※ウレタン樹脂系塗床)</td> <td></td> <td>・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材 (※ウレタン樹脂系塗床)</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・ポリウレタン塗床 (防塵塗料塗り)</td> <td></td> <td>※製造所の指定による</td> <td>表面仕上げ ※平滑 滑剤 ※水性</td> </tr> </table> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>				種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 (弾性ポリウレタン系塗床)			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 (※ウレタン樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・薄膜型塗床材 (※ウレタン樹脂系塗床)			※平滑仕上げ	・ポリウレタン塗床 (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	表面仕上げ ※平滑 滑剤 ※水性																												
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																
・厚膜型塗床材 (弾性ポリウレタン系塗床)			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ																																																
・厚膜型塗床材 (※ウレタン樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ																																																
・薄膜型塗床材 (※ウレタン樹脂系塗床)			※平滑仕上げ																																																
・ポリウレタン塗床 (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	表面仕上げ ※平滑 滑剤 ※水性																																																
<p>⑲ フローリング張り [6.11.2～6]</p> <p>フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ※改修標準仕様書6.11.2(2)による 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 単層フローリング(フローリングボード1等) 工法 ・釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ○接着工法 樹種 ※なら 間伐材等の適用 ・する ・しない 単層フローリング(フローリングブロック1等) 樹種 ○図示 厚さ (mm) ○図示 大きさ ○図示 間伐材等の適用 ・する ・しない 複合フローリング 工法 ・釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら 種類 ・A種 ・B種 ・C種 間伐材等の適用 ・する ・しない 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ○現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り</p>																																																			
<p>⑳ 壁紙張り [6.14.2.3]</p> <p>壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>壁紙の種類</th> <th>防火種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>紙 織物 強化繊維 無機質その他</td> <td>・不燃 ・準不燃 ・難燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル及びせつこうプラスチック一面の素地ごしらの種別 ※B種 ・A種 コンクリート面の素地ごしらの種別 ※B種 ・A種 せつこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらの種別 ※B種 ・A種</p>				施工箇所	壁紙の種類	防火種別	備考	天井	紙 織物 強化繊維 無機質その他	・不燃 ・準不燃 ・難燃																																									
施工箇所	壁紙の種類	防火種別	備考																																																
天井	紙 織物 強化繊維 無機質その他	・不燃 ・準不燃 ・難燃																																																	

24 量敷き	<p>②1 モルタル塗り [6.15.3.5.6]</p> <p>モルタル ○現場調合材料 ・既調合材料 既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示) 床目地 ・設けない 種類 ※押し目地 ・設けない 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ※図示による</p> <p>伸縮調整目地の位置 [6.16.2～4] 床タイル (※縦、横とも4m以内ごと ・図示) 床タイル以外 (・図示)</p> <p>伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改訂記仕様書第3章による 試験張り ・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない 見本焼き ・行う (施工箇所) ・行わない ・セメントモルタルによる目地 (セラミックタイル) 張り</p> <p>タイルの形状・寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法</th> <th>再生材料の吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐震性能</th> <th>耐滑性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>形状/寸法</td> <td>1類 Ⅱ類 Ⅲ類</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 既調合目地材</p> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り タイルの形状・寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法</th> <th>再生材料の吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐震性能</th> <th>耐滑性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>形状/寸法</td> <td>1類 Ⅱ類 Ⅲ類</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>塗厚 (mm) ・</p>		施工箇所	種類	形状/寸法	再生材料の吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐震性能	耐滑性	備考			形状/寸法	1類 Ⅱ類 Ⅲ類	有	有	有	有	有	有	施工箇所	種類	形状/寸法	再生材料の吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐震性能	耐滑性	備考			形状/寸法	1類 Ⅱ類 Ⅲ類	有	有	有	有	有	有
	施工箇所	種類	形状/寸法	再生材料の吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐震性能	耐滑性	備考																																
			形状/寸法	1類 Ⅱ類 Ⅲ類	有	有	有	有	有	有																																
	施工箇所	種類	形状/寸法	再生材料の吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐震性能	耐滑性	備考																																
			形状/寸法	1類 Ⅱ類 Ⅲ類	有	有	有	有	有	有																																
	<p>29 セルフレベリング材塗り [6.17.2.3]</p> <p>塗厚 (mm) ・</p>																																									
	<p>30 フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重 (N)</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3,000 ・5,000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3,000 ・5,000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト</td> <td></td> </tr> </table> <p>フリーアクセスフロア施工の試験方法 ※標準仕様書20.2.2(2)(イ)～(d)による 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(イ)～(d)による ・以下による パネルの長さの寸法精度 () パネルの平面形状(角度)の寸法精度 () フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 ()</p> <p>帯電防止性能 ・評価値 (U) ≥0.6以上 ・評価値 (U) ≥1.2以上 感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁸ Ω</p>		施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面仕上げ材	備考		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト			・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト																	
	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面仕上げ材	備考																																		
		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト																																			
		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト																																			
<p>31 移動間仕切 (20.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>構成部材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式</td> <td>・メタリウム樹脂張付又は ・アクリル樹脂張付 ・壁紙張り</td> <td></td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取り付ける建具 ・あり (※図示) パネル内に取り付ける建具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。</p>		構造形式	構成部材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式	・メタリウム樹脂張付又は ・アクリル樹脂張付 ・壁紙張り		・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																															
構造形式	構成部材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																																						
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式	・メタリウム樹脂張付又は ・アクリル樹脂張付 ・壁紙張り		・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																						
<p>32 移動間仕切 (20.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>操作方法</th> <th>圧接装置の操作方法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>パネル表面材</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向移動式 ・二方向移動式</td> <td>・手動式 ・電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td></td> <td>・鋼板 ・鉄付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 図示 パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーで除した値に 対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの</p>		構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)	・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・鉄付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																													
構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)																																					
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・鉄付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																																					
<p>33 トイレブース (20.2.5)</p> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の種類</th> <th>脚部種類</th> <th>ドアエッジの材質</th> <th>ドアエッジの形状</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>・鋼板 ・ステンレス製</td> <td>・標準 ・Rタイプ</td> </tr> </table>		表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・鋼板 ・ステンレス製	・標準 ・Rタイプ																																	
表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状																																							
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・鋼板 ・ステンレス製	・標準 ・Rタイプ																																							
<p>⑳ 手すり (20.2.6)</p> <p>材料の種類及び仕上げ ・SUS304 表面処理 ※H種程度 ・アルミニウム 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書 表14.2.2による種別 (種)) ・色合等 ・標準色 () ・特注色 ()</p> <p>手すりの握り部分</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・集成材(材種:) ・鋼製</td> <td>・クリフカ ・</td> <td>・30程度 ・35程度 ・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鋼製 ・樹脂被覆材</td> <td>・</td> <td>・30程度 ・35程度 ・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考	・集成材(材種:) ・鋼製	・クリフカ ・	・30程度 ・35程度 ・45程度			・鋼製 ・樹脂被覆材	・	・30程度 ・35程度 ・45程度																												
材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考																																						
・集成材(材種:) ・鋼製	・クリフカ ・	・30程度 ・35程度 ・45程度																																								
・鋼製 ・樹脂被覆材	・	・30程度 ・35程度 ・45程度																																								

35 階段滑り止め	材種 ○ステンレス製 ・黄銅製押出型材 (20.2.7) 形状 ※タイヤ型(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等) ・タイヤレス製 端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし 寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度 取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法
36 黒板及びホワイトボード	・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・ほうろう ・鋼製 色 ※緑 ・ホワイトボード ()
37 表示	衝突防止表示 (20.2.11) ・設置場所 ※図示による 形状・寸法 (・30Φ) 材質 (・ステンレス製 ・塩ビシート) ・設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用記号はJIS Z 5210による) ※図示による
38 タラップ	材質及び仕上げ (20.2.12) ・SUS304(スリッパ止め加工 ※あり ・なし) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表 14.2.2による種別(※C種 ・種))
39 ブラインド	(20.2.14) 形式 操作 操作方法的の種類 スラットの材種 幅(mm) 幅・高さ 取得箇所 ・横形 ・手動 ※ギヤ式 ※アルミニウム合金製 G ※25 ※鋼製 ・図示 ・コード式 ・操作棒式 ・電動 — ・縦形 ・手動 ※2本操作コード式 ・アルミスラット ・80 ※7mm以上 ・1本操作コード式 ・クロススラット ・100 合金製 ・図示 ・電動 — 縦型ブラインドのスラットの材質 アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 G とする
40 ロールスクリーン	操作方法 (20.2.15) 幅・高さ、取得箇所 ・図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 品質等 ・ガス繊維製 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする
41 カーテン	(20.2.16) 形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取得箇所 備考 ・シングル ・片引き ・手引き ・つまみひだ ・ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ、片ひだ ・電動 ・アレーひだ 生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、G とする 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上
42 カーテンレール	材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 (20.2.16) ・ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形
43 ブラインドボックス及びカーテンボックス	横幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材種 集成材(仕上げ) ・アルミニウム製 押出し型材(市販品) 種別(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色() ・特注色() ・鋼製(仕上げ)
44 天井点検口	材種 寸法 形式 外枠 内枠 ※アルミニウム製 ・450×450 ○一般形 ○屋内外用 ○隠縁タイプ ○隠縁タイプ ・600×600 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ ・気密形
45 床点検口	材種 寸法 形式 備考 ・アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・鍵付き ・ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ・屋内用 ・鋼製
46 くつふきマット	横幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材種 集成材(仕上げ) ・アルミニウム製 押出し型材(市販品) 種別(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色() ・特注色() ・鋼製(仕上げ)
47 流し台ユニット	材種 寸法(mm) 備考 W D H ・流し台 ・1200 ・550 ・800 市販品 ・1500 ・600 ・850 トラップ付き ・1800 ・650 天板ステンレス製 ・コンロ台 ・600 ・550 ・620 市販品 ・600 ・670 バックガード有り ・650 天板ステンレス製 ・つり戸棚 ・1200 ・450 ・500 市販品 ・900 ・700 ・水切り ・1200 — — 市販品 ・900 ステンレス製 ・600 ・1段式
48 鋼製書架及び物品棚	品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示 種別 規格等 JISによる種類 ・鋼製書架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種 ・鋼製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種

49 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 ○既存掲示板のクロス貼替 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り
50 洗面カウンター	材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600
51 防煙垂れ壁	・固定式 材 質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考 ※網入り磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き ・線入り磨板ガラス
52 収納家具	・可動式 種 類 材 質 高さ(mm) 備 考 ・垂直降下式 ※不燃布(不燃認定品) ※500 ガイドレール (巻取り型) ※900 ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型) ・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 表面仕上げ ※天井張り ※天井張り
7 塗装改修工事	7.1 材料 7.2 下地調整 7.3 下地調整の種類 7.4 下地調整の種類 7.5 下地調整の種類 7.6 下地調整の種類 7.7 下地調整の種類 7.8 下地調整の種類 7.9 下地調整の種類 7.10 下地調整の種類 7.11 下地調整の種類 7.12 下地調整の種類 7.13 下地調整の種類 7.14 下地調整の種類 7.15 下地調整の種類 7.16 下地調整の種類 7.17 下地調整の種類 7.18 下地調整の種類 7.19 下地調整の種類 7.20 下地調整の種類 7.21 下地調整の種類 7.22 下地調整の種類 7.23 下地調整の種類 7.24 下地調整の種類 7.25 下地調整の種類 7.26 下地調整の種類 7.27 下地調整の種類 7.28 下地調整の種類 7.29 下地調整の種類 7.30 下地調整の種類 7.31 下地調整の種類 7.32 下地調整の種類 7.33 下地調整の種類 7.34 下地調整の種類 7.35 下地調整の種類 7.36 下地調整の種類 7.37 下地調整の種類 7.38 下地調整の種類 7.39 下地調整の種類 7.40 下地調整の種類 7.41 下地調整の種類 7.42 下地調整の種類 7.43 下地調整の種類 7.44 下地調整の種類 7.45 下地調整の種類 7.46 下地調整の種類 7.47 下地調整の種類 7.48 下地調整の種類 7.49 下地調整の種類 7.50 下地調整の種類 7.51 下地調整の種類 7.52 下地調整の種類 7.53 下地調整の種類 7.54 下地調整の種類 7.55 下地調整の種類 7.56 下地調整の種類 7.57 下地調整の種類 7.58 下地調整の種類 7.59 下地調整の種類 7.60 下地調整の種類 7.61 下地調整の種類 7.62 下地調整の種類 7.63 下地調整の種類 7.64 下地調整の種類 7.65 下地調整の種類 7.66 下地調整の種類 7.67 下地調整の種類 7.68 下地調整の種類 7.69 下地調整の種類 7.70 下地調整の種類 7.71 下地調整の種類 7.72 下地調整の種類 7.73 下地調整の種類 7.74 下地調整の種類 7.75 下地調整の種類 7.76 下地調整の種類 7.77 下地調整の種類 7.78 下地調整の種類 7.79 下地調整の種類 7.80 下地調整の種類 7.81 下地調整の種類 7.82 下地調整の種類 7.83 下地調整の種類 7.84 下地調整の種類 7.85 下地調整の種類 7.86 下地調整の種類 7.87 下地調整の種類 7.88 下地調整の種類 7.89 下地調整の種類 7.90 下地調整の種類 7.91 下地調整の種類 7.92 下地調整の種類 7.93 下地調整の種類 7.94 下地調整の種類 7.95 下地調整の種類 7.96 下地調整の種類 7.97 下地調整の種類 7.98 下地調整の種類 7.99 下地調整の種類 7.100 下地調整の種類

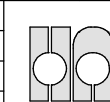
8 耐震改修工事	特記仕様書(改修その7~8)による
9 環境配慮改修工事	9.1 測定時期、場所及び測定点 9.2 測定方法 9.3 測定結果 9.4 測定結果の活用 9.5 測定結果の活用 9.6 測定結果の活用 9.7 測定結果の活用 9.8 測定結果の活用 9.9 測定結果の活用 9.10 測定結果の活用 9.11 測定結果の活用 9.12 測定結果の活用 9.13 測定結果の活用 9.14 測定結果の活用 9.15 測定結果の活用 9.16 測定結果の活用 9.17 測定結果の活用 9.18 測定結果の活用 9.19 測定結果の活用 9.20 測定結果の活用 9.21 測定結果の活用 9.22 測定結果の活用 9.23 測定結果の活用 9.24 測定結果の活用 9.25 測定結果の活用 9.26 測定結果の活用 9.27 測定結果の活用 9.28 測定結果の活用 9.29 測定結果の活用 9.30 測定結果の活用 9.31 測定結果の活用 9.32 測定結果の活用 9.33 測定結果の活用 9.34 測定結果の活用 9.35 測定結果の活用 9.36 測定結果の活用 9.37 測定結果の活用 9.38 測定結果の活用 9.39 測定結果の活用 9.40 測定結果の活用 9.41 測定結果の活用 9.42 測定結果の活用 9.43 測定結果の活用 9.44 測定結果の活用 9.45 測定結果の活用 9.46 測定結果の活用 9.47 測定結果の活用 9.48 測定結果の活用 9.49 測定結果の活用 9.50 測定結果の活用 9.51 測定結果の活用 9.52 測定結果の活用 9.53 測定結果の活用 9.54 測定結果の活用 9.55 測定結果の活用 9.56 測定結果の活用 9.57 測定結果の活用 9.58 測定結果の活用 9.59 測定結果の活用 9.60 測定結果の活用 9.61 測定結果の活用 9.62 測定結果の活用 9.63 測定結果の活用 9.64 測定結果の活用 9.65 測定結果の活用 9.66 測定結果の活用 9.67 測定結果の活用 9.68 測定結果の活用 9.69 測定結果の活用 9.70 測定結果の活用 9.71 測定結果の活用 9.72 測定結果の活用 9.73 測定結果の活用 9.74 測定結果の活用 9.75 測定結果の活用 9.76 測定結果の活用 9.77 測定結果の活用 9.78 測定結果の活用 9.79 測定結果の活用 9.80 測定結果の活用 9.81 測定結果の活用 9.82 測定結果の活用 9.83 測定結果の活用 9.84 測定結果の活用 9.85 測定結果の活用 9.86 測定結果の活用 9.87 測定結果の活用 9.88 測定結果の活用 9.89 測定結果の活用 9.90 測定結果の活用 9.91 測定結果の活用 9.92 測定結果の活用 9.93 測定結果の活用 9.94 測定結果の活用 9.95 測定結果の活用 9.96 測定結果の活用 9.97 測定結果の活用 9.98 測定結果の活用 9.99 測定結果の活用 9.100 測定結果の活用

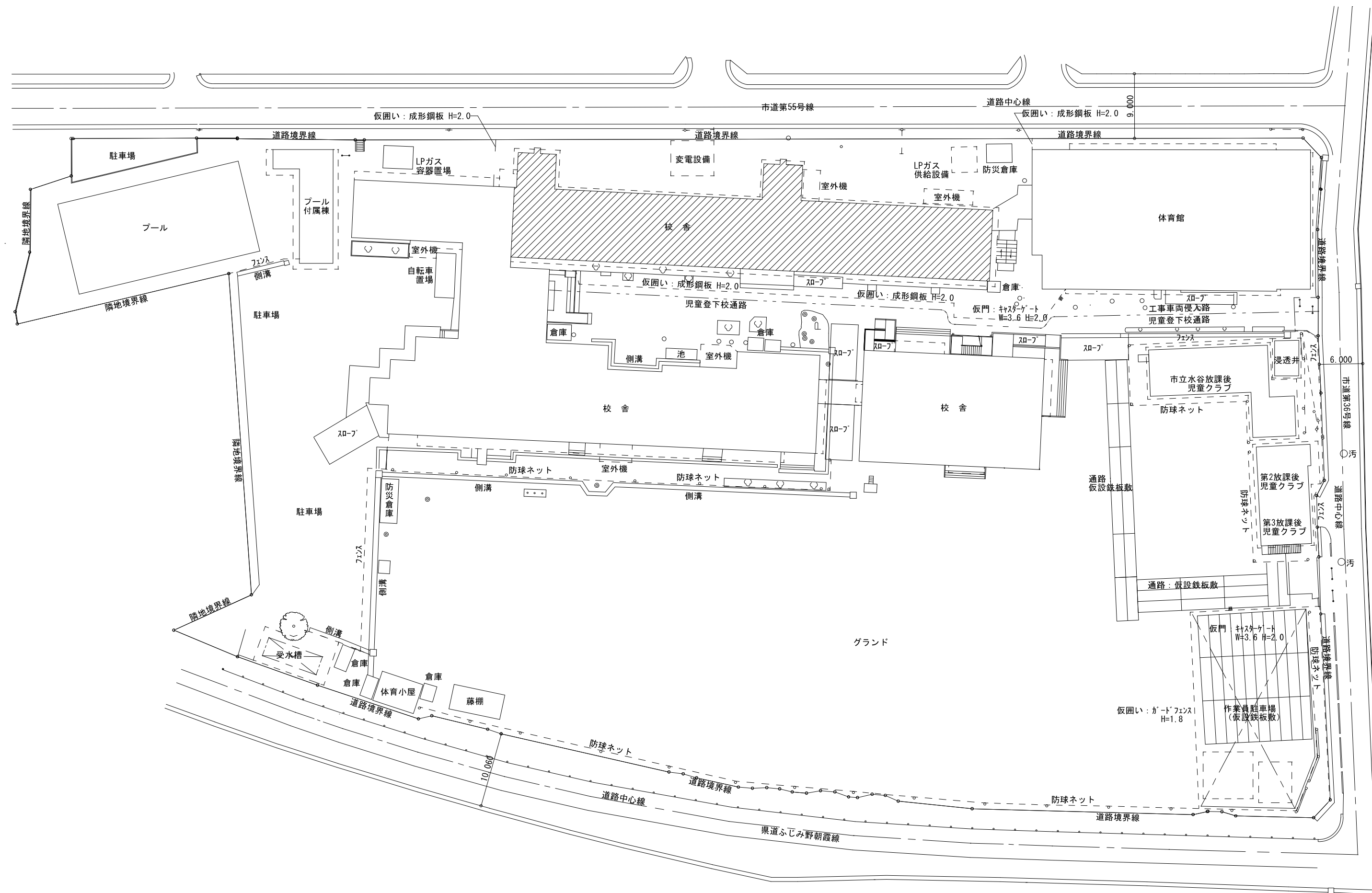
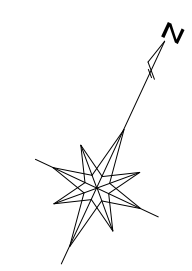
8 断熱・防露改修工事	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 [9.3.2~4] ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・断熱材埋め込み工法 断熱材の種類 ※A種I ・A種IH 厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示 ・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード等張り付けたパネルを使用 材質 厚さ(mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法
9 屋上緑化改修工事	植栽基盤及び材料 (9.4.2~4) 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被類の根株並びに種類等 ※図示 ・芝切り機、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・行う(行わない) 新植した芝及び地被類の枯損後の期間 ※引き渡しの日から1年
10 透水性アスファルト舗装改修工事	適用範囲:歩道 (9.5.2~5.9) 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 路床の材料 種 別 材 料 厚さ(mm) ・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・普通コンクリート(再生)処理土 G ・凍上抑制層 ・再生クラッシュラン G ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂(改修標準仕様書表9.5.11による) ・フィルター層 ・改修標準仕様書表9.5.3(2)の(ウ)による ・図示 (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない ・路床安定処理 ・適用する ・適用しない 安定処理の方法 ・置き換え工法() ・安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 普通コンクリート(再生)セメント 高炉セメントB種 G ・再生クラッシュラン G ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂(改修標準仕様書表9.5.11による) ・目録CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10 ⁻⁶ cm ² /sec以上 試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない 路盤 路盤の構成及び厚さ ・図示 路盤材料(改修標準仕様書表9.7.3による種別) ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン G ・再生粒度調整砕石 G ・クラッシュラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G 舗装の構成 図示 舗装の平坦性 ※著しく不陸がないもの 開口部アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
11 舗装版切断時に発生する濁水の処理	濁水の処理 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 ・図示による 処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に供せず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入(処理に供せず) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 共通事項 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理業(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。 提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 その他 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

10 鉄筋工事	1 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類の種類 呼び径 (mm) 備考 ・SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上	施工完了後の溶接部の試験 ・外観試験 ※全数 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜き取り ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置	11 寒中コンクリート	適用期間 (月日～月日) (6.11.1, 2) ※普通コンクリート 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による ()、S=()	12 暑中コンクリート 適用期間 (月日～月日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² ・図示による ()、S=()	13 マスコンクリート 適用箇所 ・図示による () セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による) ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による	14 無筋コンクリート コンクリートの種類 (6.14.1) セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による ()	15 コンクリートの 単位水量測定 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	
	2 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類の種類 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 ・溶接金網 ・鉄筋格子		11 コンクリートの種類等 (6.2.1) 種類 ※I類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1～6.2.4) 設計基準強度 (N/mm ²) 気乾単位容積 (t/m ³) スラブ 適用箇所 ・24 2.3程度 ・15又は18・18 ・ ・ ・ ・	15 コンクリートの単位水量測定					実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	3 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋 () ・重ね継手		2 セメント (6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・1Fより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ()	15 コンクリートの単位水量測定					実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	4 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ (5.3.4) 図示による () 機械式定着工法 適用場所 ・図示による () 種類 ・摩擦圧接結合 ・嵌合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による		3 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)	15 コンクリートの単位水量測定					実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図 (配筋標準図) による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) (5.3.5) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm		4 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による	15 コンクリートの単位水量測定					実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	6 各部配筋	※図示による (5.3.7)		5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スラブの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()	15 コンクリートの単位水量測定					実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	7 ガス圧接	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う (全ての圧接部) 抜き取り試験 ※超音波探傷試験 (試験方法 標準仕様書5.4.10(4)による) ・引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(4)(b)による		6 温潤養生 (6.7.2) 温潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日	15 コンクリートの単位水量測定					実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	8 機械式継手	適用箇所 (5.5.3.5) ・図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜き取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置		7 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ 種別 適用箇所 ・A種 ※図示による () ・B種 ※図示による () ・C種 ※図示による () コンクリートの仕上りの平坦さ 種別 適用箇所 ・a種 ※図示による () ・b種 ※図示による () ・c種 ※図示による ()	15 コンクリートの単位水量測定					実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	9 溶接継手	適用箇所 (5.5.3.5) ・図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による () 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による ()		8 打直し厚さ (打直し仕上げ部) (6.8.1) 打直し厚さ ・打直し仕上げの打直し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打直し仕上げの打直し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打直し処理 ・20mm 打直し範囲 ・図示による ()	15 コンクリートの単位水量測定					実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
				9 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ・合板 (※12mm) [G] コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による () 打直し厚さ ・20mm 打直し範囲 ・図示による () スリーブの材種・規格等 ・図示による () 存置期間及び取り外し ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合 (※図示による ())	15 コンクリートの単位水量測定					実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
		10 軽量コンクリート (6.10.1.2) 適用箇所 ・図示による () 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.1による スラブ ※21cm	15 コンクリートの単位水量測定	実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。						

<p>8 耐震改修工事</p> <p>(一般事項) 1 適用範囲</p> <p>・改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事 ・改修標準仕様書における第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分</p> <p>工事内容 ・現場打ち鉄骨コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨ブレースの設置工事 ・柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き工法) ・柱補強工事 (連続繊維補強工法) ・耐震スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事 ・土工事及び地業工事</p> <p>2 既存部分の処理等</p> <p>既存構造体の撤去 [8.21.2][8.22.2][8.24.4][8.25.2] 撤去範囲 ・図示による () ・はつり出した鉄筋及び鉄骨の位置 ・図示による ()</p> <p>[8.21.3][8.22.3][8.23.3][8.26.6][8.27.3] 既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲 ・既存柱、梁面 ・打継ぎ面の15~30%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</p> <p>・既存壁 ・打継ぎ面の10~15%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</p> <p>3 撤去工事の施工内容</p> <p>※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構面内既存仕上げ・躯体の撤去と土留等の一部を撤去する。 ※増設部材と接する既存コンクリート面は充分に目荒らしを行う。 ※はり仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。 ※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。</p> <p>4 撤去工事における注意事項</p> <p>※コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構面内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。 ※増設する部材に接する既存コンクリートは、充分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ0mm程度の凹凸で全体を荒らすようにする。はつり工事は構造躯体に悪影響を与えない方法で丁寧に行うこと。(電気ビックを用いる等) ※コンクリート打設前に粉塵、はつりがら等を清掃し、数日前から充分に水湿めを行う。 ※既存の躯体状態の確認及び補修 ・石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型集塵処分場で処分すること。 ・石綿スレート、フレキシブルボード等石綿製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないようにはずすで行い、原形のまま運搬処分すること。 ・以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずで行うこと。 ・床：ビニース系タイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないように湿潤後、手はずで行い、原形のまま飛散防止をし運搬処分すること。</p>	<p>2 セメント</p> <p>種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) ・普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g以下、かつ28日目で402 J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・IFより下部 (立ち上がり部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ()</p> <p>3 骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下) [8.2.5]</p> <p>4 混和材料</p> <p>・混和剤 種類 ※[8.2.5](4)(a)による ・混和材 種類 ※[8.2.5](4)(b)による [8.2.5]</p> <p>5 構造体用モルタル</p> <p>圧縮強度 ()、フロー値 () [8.2.6]</p> <p>6 ひび割れ誘発目地、打継目地</p> <p>目地寸法 標準仕様書9.7.3(1)(7)~(9)による (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による () ひび割れ誘発目地の位置 ・図示による ()</p> <p>7 コンクリートの仕上り</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ [8.1.4][8.2.7]</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・A種</td><td>※図示による ()</td></tr> <tr><td>・B種</td><td>※図示による ()</td></tr> <tr><td>・C種</td><td>※図示による ()</td></tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・a種</td><td>※図示による ()</td></tr> <tr><td>・b種</td><td>※図示による ()</td></tr> <tr><td>・c種</td><td>※図示による ()</td></tr> </table> <p>8 打増し厚さ (打直し仕上げ部)</p> <p>打増し厚さ [8.7.8] ・打直し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・打直し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm・20mm</p> <p>打増し範囲 ・図示による ()</p> <p>9 型枠</p> <p>せき板の材料及び厚さ (6.8.2)[8.2.7] ・合板 (※12mm) [G] コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による () ・MOC工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による () 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による () スリーブの材質・規格等 ・図示による ()</p> <p>10 型枠の加工及び組立</p> <p>シアコネクタをセパレーターとして使用 適用箇所 ・図示による () [8.7.8]</p> <p>11 無筋コンクリート</p> <p>コンクリートの種類 [8.11.1] ※普通コンクリート セメントの種類 [8.2.5] ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G]</p> <p>適用箇所 (6.14.1) ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による ()</p> <p>設計基準強度 [8.11.1] ※18 (N/mm²) スランブ ※15cm又は18cm</p> <p>12 コンクリートの打込み工法等</p> <table border="1"> <tr><th>補強工事</th><th>工法の種類</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・現場打ちコンクリート壁の増設工事</td><td>・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)・(2) ・圧入工法9.21.8(1)(4)・(3)</td><td>・全ての増設壁 ・図示による () ・全ての増設壁 ・図示による () ・全ての増設壁 ・図示による ()</td></tr> <tr><td>・柱補強工事 (溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</td><td>・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)・(2) ・圧入工法8.21.8(1)(4)・(3)</td><td>・全ての柱補強部分 ・図示による () ・全ての柱補強部分 ・図示による () ・全ての柱補強部分 ・図示による ()</td></tr> <tr><td>・</td><td>・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)・(2) ・圧入工法8.21.8(1)(4)・(3)</td><td>・</td></tr> </table>	種別	適用箇所	・A種	※図示による ()	・B種	※図示による ()	・C種	※図示による ()	種別	適用箇所	・a種	※図示による ()	・b種	※図示による ()	・c種	※図示による ()	補強工事	工法の種類	適用箇所	・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)・(2) ・圧入工法9.21.8(1)(4)・(3)	・全ての増設壁 ・図示による () ・全ての増設壁 ・図示による () ・全ての増設壁 ・図示による ()	・柱補強工事 (溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)・(2) ・圧入工法8.21.8(1)(4)・(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による () ・全ての柱補強部分 ・図示による () ・全ての柱補強部分 ・図示による ()	・	・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)・(2) ・圧入工法8.21.8(1)(4)・(3)	・	<p>5 普通ボルト</p> <p>ボルト及びナットの材料 (7.2.9) ・標準仕様書表7.2.3(JIS附属書B)又は次による ボルトの規格はJIS B 1180とする。 (ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット-0とし、材料は鋼とする。)</p> <p>ボルトのねじの呼び ・図示による () 屋上金 鋼金 鋼金 取止め ※JIS B 1256による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔) [8.13.2]</p> <p>6 アンカーボルト</p> <p>・構造用アンカーボルト (JIS B 1220) (7.2.4)(7.10.3) 種類 ・ABR400 ・ABR490 ・建方用アンカーボルト (JIS G 3101) 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7.2.3による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)</p> <p>7 溶接材料</p> <p>・[8.2.10](1)、(2)による [8.2.10] ・[8.2.10](1)、(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による ()</p> <p>8 ターンバックル</p> <p>種類 建築用ターンバックル ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル鋼 ※割枠式 ねじの呼び ・図示による ()</p> <p>9 スタッド</p> <p>頭付きスタッド (JIS B 1198) の種類等 [8.2.11][8.16.6]</p> <table border="1"> <tr><th>呼び名</th><th>呼び長さ (mm)</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・16</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・19</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・22</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃ゆげ試験を行う。</p> <p>10 製作精度</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6 鉄骨精度検査基準に加えて、次による。 [8.13.3] 通しダイヤル等の安全せき継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せき継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</p> <p>11 溶接作業者の技量付加試験</p> <p>試験の要領 ・図示による () [8.15.3]</p> <p>12 溶接接合</p> <p>開先の形状 [8.15.4] ・図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準)</p> <p>エンドタブの切除する部分 [8.15.7] 切除する場所 ・図示による () 切除範囲 ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切除する。なお、切除線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切除面の仕上げ ・[8.15.7](1)(a)(b)(2)による スカラップの形状 ・図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図)1-4(4)改良型スカラップ)</p> <p>13 入熱、パス間温度の管理</p> <p>適用箇所 ・図示による () ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p> <p>H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8.15.12] ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ・抜き取り検査②</p> <p>JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する確認方法等 ・JASS 6 10.4 [受入検査] e 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶け込み溶接部の外観検査の採取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工事現場溶接の場合 ※半数</p> <p>15 錆止め塗装</p> <p>塗装の範囲 [8.17.2] 耐火被覆材の接着する面 ・図示による () 耐火被覆材の接着する面以外 ※[8.17.2](1)(7)~(9)以外の範囲 ・図示による () 塗料の種類 [7.4.3][8.17.4] ・鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ・[表7.4.1] A種 屋内 ・[表7.4.1] ()種 ・垂れつき鋼面の錆止め塗料 ・[表7.4.2] ()種 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) ※[表7.4.1] A種 ・耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料 ・[表7.4.1] ()種 ・[表7.4.2] ()種</p> <p>16 耐火被覆</p> <p>種類、材料、工法等 [8.18.2~8]</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材料・工法</th><th>性能 (耐火時間)</th><th>適用箇所 (部位・部分)</th></tr> <tr><td>・耐火材吹付け</td><td>・乾式吹付^{吹付}カール ・湿式ロックウール ・半乾式吹付^{吹付}カール</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・耐火板張り</td><td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・耐火材巻付け</td><td>・高断熱ロックウール</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ラス張りモルタル塗り</td><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・耐火塗料</td><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする ※JASS6 付則6 [鉄骨精度検査基準] 付表5 [工事現場]による (7.10.2)</p>	呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	・16			・19			・22			種類	材料・工法	性能 (耐火時間)	適用箇所 (部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付 ^{吹付} カール ・湿式ロックウール ・半乾式吹付 ^{吹付} カール			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール			・ラス張りモルタル塗り	—			・耐火塗料	—			<p>18 アンカーボルト等の設置</p> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3) ・図示による () 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による () ・建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (表7.10.1) 種別 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (表7.10.2) 厚さ 種別 ※A種 ・B種</p> <p>19 溶融垂鉛めつき (基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。)</p> <p>種類等 [8.20.4][表8.20.1]</p> <table border="1"> <tr><th>垂鉛めつきの種別</th><th>材料</th><th>適用部位</th></tr> <tr><td>・A種</td><td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</td><td></td></tr> <tr><td>・B種</td><td>最小板厚9.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td><td></td></tr> <tr><td>・C種</td><td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td><td></td></tr> </table> <p>外観検査 ※行方 ・行わない</p> <p>(あと施工アンカー) 1 あと施工アンカー</p> <p>仕様等 [8.2.4] ・金属系アンカー (耐震補強用) 引張耐力 ※図示による () せん断耐力 ※図示による () アンカー本体の径及び埋込み長さ 図示による () 接続方式 ※本種打込み改良型 接合筋の種類、径、長さ ・図示による () ・接着系アンカー 引張耐力 ※図示による () せん断耐力 ※図示による () アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 ・カプセル方式打込み型 接着剤の品質 ※有機系 ・無機系 アンカー筋の径及び埋込み深さ ・図示による (「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項) アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ・図示による (「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項)</p> <p>性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による ()</p> <p>2 あと施工アンカー工事</p> <p>穿孔機械 (金属検知により電源供給が停止出来る付属装置等を使用する) [8.12.4.7] ※ハンマードリル ・コアドリル 穿孔前の埋込み配管等の探査方法 ・JASS5 11.10.cに規定された非破壊検査を行う ・鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う 探査方式 ・電磁波レーザ法 (3D表示対応型) ・電磁波レーザ法又は電磁波誘導法 鉄筋探知器の性能 ・0.5mm及び非金属類の探査が可能である機器とする ・はつり出しによる</p> <p>施工確認試験 試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 ・図示による ()</p> <p>(グラウト工事) 1 柱底均しモルタル及びグラウト材</p> <p>・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び調合 ※[8.2.12](1)(7)から(8)による ・グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミオキサイド等によって調整する性質を利用するもの) とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンステンション Jルートによる落下時間 練混ぜ後から3分以内の値 : 8±2秒 ブリーディング 練り混ぜ2時間後のブリーディング率 : 2.0%以下 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 25.0N/mm² 以上 材齢 28日 45.0N/mm² 以上 塩化物量 0.30kg/m³ 以下 試験方法 1) NEN10試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形と同一とする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p> <p>(連続繊維補強工事) 1 連続繊維シート巻き</p> <p>連続繊維シート [8.2.13] 材料 ・図示による () 工法 ※(一財)日本建築防炎協会の評価を受けた工法 引張強度 (含浸硬化後) ・3000N/mm² 以上 ヤング係数 (含浸硬化後) ・2.35×10⁹ N/mm²程度 ・2.00×10⁹ N/mm²以上 下地調整 [8.24.6] ひび割れ部の工法の種類 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ※工法の評価内容による 連続繊維補強材の強度試験 引張強度試験 ※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法) による 試験数量 ・図示による () 付着強度試験 ※JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による 試験数量 ・図示による () 補強後の仕上げ ・図示による ()</p> <p>(耐震スリット新設工事) 1 施工前埋込み配管等の探査</p> <p>既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 [8.12.4] ・鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う 探査方式 ・電磁波レーザ法 (3D表示対応型) ・電磁波レーザ法又は電磁波誘導法 ・はつり出しによる</p> <p>2 耐震スリット</p> <p>幅及び深さ ・図示による () [8.25.2] 設置箇所 ・図示による ()</p> <p>3 充填材の挿入及び周囲補修等</p> <p>・耐火材 使用箇所及び仕様 ・図示による () [8.25.2] ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・図示による () 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修</p>	垂鉛めつきの種別	材料	適用部位	・A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板		・B種	最小板厚9.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板		・C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	
種別	適用箇所																																																																														
・A種	※図示による ()																																																																														
・B種	※図示による ()																																																																														
・C種	※図示による ()																																																																														
種別	適用箇所																																																																														
・a種	※図示による ()																																																																														
・b種	※図示による ()																																																																														
・c種	※図示による ()																																																																														
補強工事	工法の種類	適用箇所																																																																													
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)・(2) ・圧入工法9.21.8(1)(4)・(3)	・全ての増設壁 ・図示による () ・全ての増設壁 ・図示による () ・全ての増設壁 ・図示による ()																																																																													
・柱補強工事 (溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)・(2) ・圧入工法8.21.8(1)(4)・(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による () ・全ての柱補強部分 ・図示による () ・全ての柱補強部分 ・図示による ()																																																																													
・	・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)・(2) ・圧入工法8.21.8(1)(4)・(3)	・																																																																													
呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																																																																													
・16																																																																															
・19																																																																															
・22																																																																															
種類	材料・工法	性能 (耐火時間)	適用箇所 (部位・部分)																																																																												
・耐火材吹付け	・乾式吹付 ^{吹付} カール ・湿式ロックウール ・半乾式吹付 ^{吹付} カール																																																																														
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																														
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール																																																																														
・ラス張りモルタル塗り	—																																																																														
・耐火塗料	—																																																																														
垂鉛めつきの種別	材料	適用部位																																																																													
・A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板																																																																														
・B種	最小板厚9.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板																																																																														
・C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																																														
		<p>日付 2024.01.31</p> <p>改訂 R5.4(Ver. R5-1)</p> <p>工事名 市立水谷小学校北校舎建築改修工事 (ゼロ債務)</p> <p>図面No. A-7</p> <p>特記仕様書 (改修その7)</p>																																																																													

<p>〈免震改修工事〉</p>	<p>・別添の免震工事特記仕様書による</p>					
<p>〈制振改修工事〉</p>	<p>・別添の制振工事特記仕様書による</p>					
<p>〈土工事及び地業工事〉 1 既存杭の撤去等 2 土工事 3 地業工事</p>	<p>撤去範囲及び撤去方法 ・ 図示による () - [8.28.2] 杭頭部等の処理 ・ 図示による () - 既存杭の補強 ・ 図示による () - 健全性の確認試験 ・ 図示による () -</p> <p>埋戻し及び盛土の種別 [8.28.3] ・ A種 適用場所 () ・ B種 適用場所 () ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 () 品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。</p> <p>六価クロム溶出試験 ・ 行う 建設発生土の処理 ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷均し 鋼矢板等の抜き跡の処理 ※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる 山留め壁等の存置 ・ 行う(存置範囲 ※図示)</p> <p>杭地業 [8.2.15][8.28.4] 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) ・ 図示による () 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ・ 図示による () 試験杭の位置、本数、寸法、施工方法 ・ 図示による () 杭の載荷試験 ・ 適用(・鉛直・水平) 試験杭(位置、本数、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示) 地盤の載荷試験 ・ 適用(※平板) 試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示 杭の溶接継手 ・ あり(継手の箇所数、材料、工法等 ※図示) 技能資格者の技量及び溶接部の確認 ※図示 杭頭の処理等 ・ する(処理方法(切断にともなう補強方法含む)※図示・) 記録する施工状況等 ・ 図示による ()</p> <p>砂利地業 [8.2.15][8.28.4] 材料 ・ 再生クラッシャーラン [G] ・ 切込砂利又は切込砕石 施工範囲 ・ 図示による () 厚さ ※60mm</p> <p>砂地業 [8.2.15][8.28.4] 材料 ・ シルト ・ 有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂 施工範囲 ・ 図示による () 厚さ ※60mm</p> <p>捨コンクリート地業 [8.11.1~3][8.28.4] 材料 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm² スラブ ※15cm又は18cm 施工範囲 ・ 図示による () 厚さ ※50mm(※平たん仕上げ)</p>					



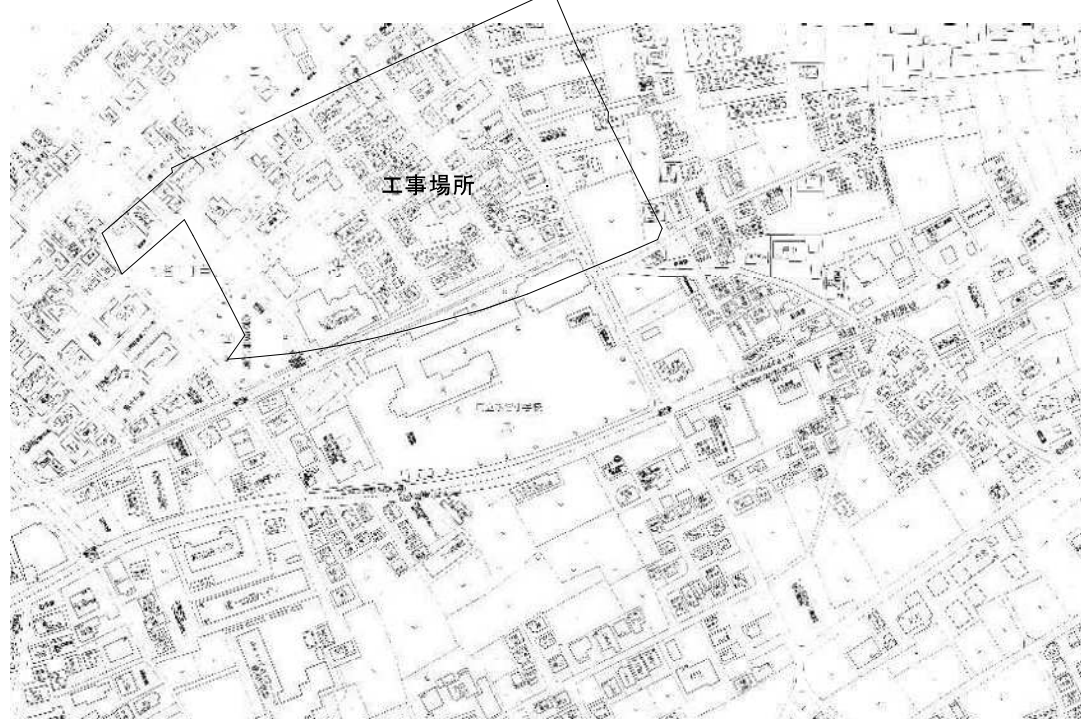


配置図 S=1/500

※仮囲い及びガードフェンス等は、施設・施設関係者と協議の上決定する。

※工事計画

大規模改修工事の内部改修工事は北校舎の2階を1学期後半から夏休み、1階及び階段室を夏休み、3階は夏休みから2学期前半の期間に行う。
 屋上防水工事は内部改修工事期間中に行う。
 外壁改修工事は内部改修工事期間中に行う。



案内図

摘要	設計年月日		2023/02/28		承認	担当	製図	工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）		図面番号
	変更年月日		N.S	T.S					T.S	図面名称	

ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆


外部仕上表 (上段：既存 下段：改修)

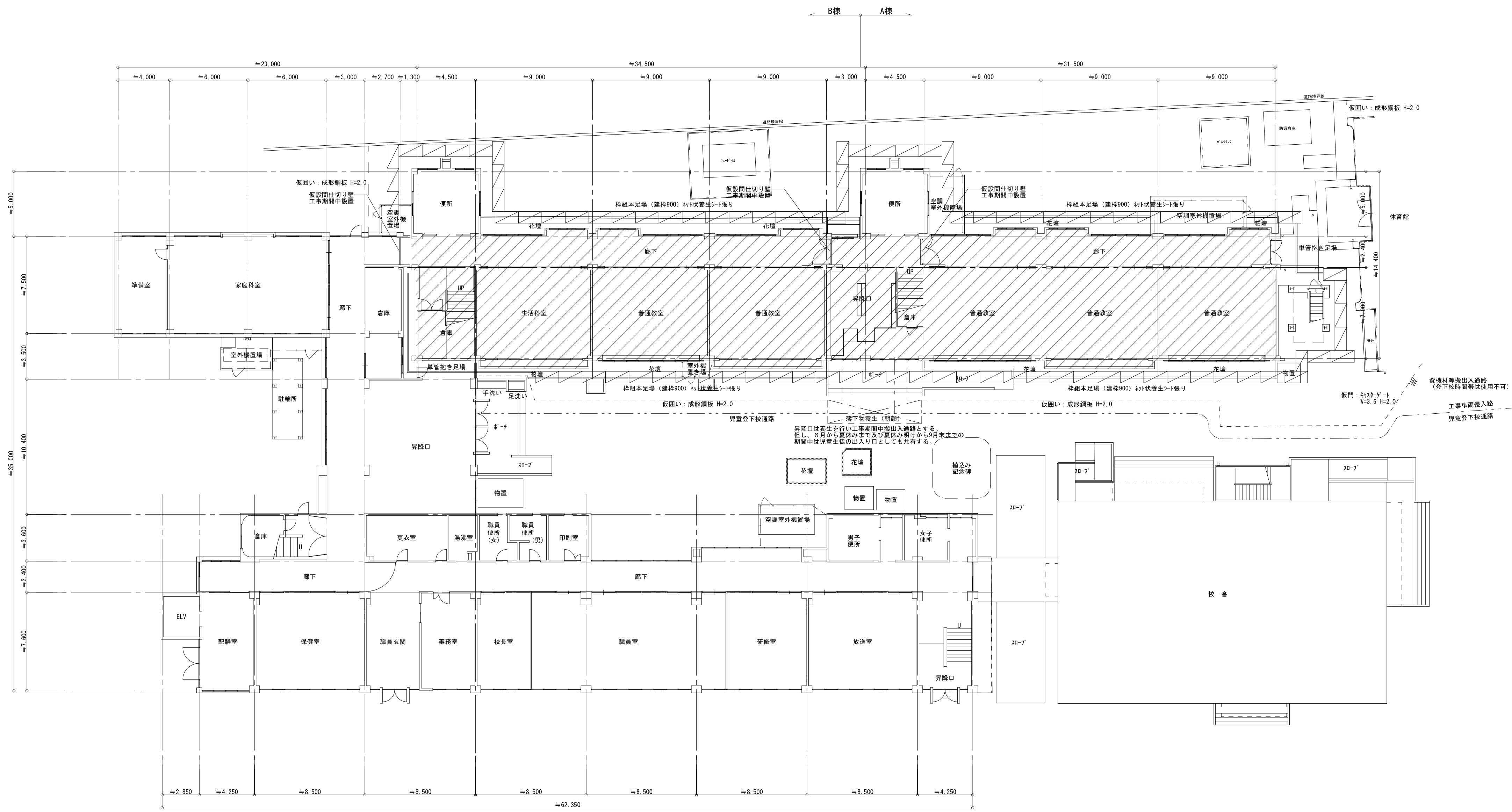
ポーチ・犬走り	外壁	屋上	屋根・庇	建具	外階段	エキスパンションジョイント	備考
	複層塗材E吹付け 下地モルタル剛毛引き	露出シート防水（絶縁工法）撤去 ルーフトレンφ100 Φ75撤去	樹脂系塗膜防水	アルミサッシ スチールサッシ 建具廻りコーキング 撤去	鉄骨造 柱、梁、削桁：耐候性塗料塗（※リフレッシュ樹脂） 段板、手摺：耐候性塗料塗（※リフレッシュ樹脂）	外壁：スチール製 屋根：スチール製取外し エキスパンションジョイント周りコーキング 撤去	整種：硬質ポリ塩化ビニル管φ100 Φ75 Φ50 撤去
	外壁：高圧洗浄下地処理後複層塗材E吹付 軒天：高圧洗浄下地処理後外装薄塗材E吹付 巾木：樹脂系薄塗	改質アスファルト系露出シート防水 常温密着工法 改修用ルーフトレン 立上り・架台：塗膜防水併用工法	高耐久性ウレタンゴム系塗膜防水 密着工法 高反射・高耐久シリコン系保護塗装 下地清掃：高圧洗浄	アルミサッシ：サッシゲージ（※5スル） スチールサッシ：SOP塗替え 建具廻りコーキング：変成シリコン系シリング 充填	鉄骨造 柱、梁、削桁：下地調整の上耐候性塗料塗替え（※リフレッシュ樹脂） 段板、手摺：下地調整の上耐候性塗料塗替え（※リフレッシュ樹脂）	外壁：スチール製 屋根：スチール製再取付 エキスパンションジョイント周りコーキング：変成シリコン系シリング 充填	整種：硬質ポリ塩化ビニル管φ100 Φ75 Φ50

内部仕上表 (上段：既存 下段：改修)

棟	階	室名	床	(下地)	巾木	壁	(下地)	天井	(下地)	天井高	廻り縁	その他塗装	備考		
A	1	昇降口	100角磁器質タイル貼、長尺塩ビシート t=2.0撤去		モルタル金鏝 H≒100 VP	モルタル金鏝 AEP		化粧石膏ボード t=9.5撤去、パーライト吹付	石膏ボード t=9.5撤去 木組天井下地撤去	≒2.500	塩ビ製撤去		下足入れ		
			既存タイル洗い、長尺塩ビシート t=2.0貼		モルタル面 H≒100 EP-G塗替え	モルタル面 EP-G塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.500	塩ビ製		下足入れ清掃		
		廊下	長尺塩ビシート t=2.0撤去		モルタル金鏝 H≒100 VP	モルタル金鏝 AEP		化粧石膏ボード t=9.5撤去	石膏ボード t=9.5撤去 木組天井下地撤去	≒2.500	塩ビ製撤去			小物掛け撤去、室名札撤去、掲示板加貼	
			長尺塩ビシート t=2.0貼		モルタル面 H≒100 EP-G塗替え	モルタル面 EP-G塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.500	塩ビ製			黒板、掲示板加貼撤去、カーテン撤去 教師用戸棚改修、全面戸棚撤去、背面ロッカ改修、掃除用具入れ改修	
			単層フローリング t=15貼 OS		木製 H≒100 SOP	モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP 一部リフレッシュ板 t=6 AEP		パーライト吹付		≒3.227				黒板（既存）、掲示板加貼、カーテン撤去、スチール製（S） 教師用戸棚SOP塗替え、背面ロッカSOP塗替え、掃除用具入れSOP塗替え	
			既存フローリングサンダー掛けの上ウレタン樹脂ワニス塗		木部 H≒100 SOP塗替え	モルタル面 EP-G塗替え 合板面 SOP塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.900	塩ビ製				
	2	廊下	長尺塩ビシート t=2.0撤去		モルタル金鏝 H≒100 VP	モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP		化粧石膏ボード t=9.5撤去	石膏ボード t=9.5撤去 木組天井下地撤去	≒2.500	塩ビ製撤去			小物掛け撤去、室名札撤去、掲示板加貼	
			長尺塩ビシート t=2.0貼		モルタル面 H≒100 EP-G塗替え	モルタル面 EP-G塗替え 一部合板面 SOP塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.900	塩ビ製			小物掛け、室名札、掲示板加貼	
		普通教室	単層フローリング t=15貼 OS		木製 H≒100 SOP	モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP 一部リフレッシュ板 t=6 AEP		パーライト吹付		≒3.227				黒板、掲示板加貼撤去、カーテン撤去 教師用戸棚改修、全面戸棚撤去、背面ロッカ改修、掃除用具入れ改修	
			既存フローリングサンダー掛けの上ウレタン樹脂ワニス塗		木部 H≒100 SOP塗替え	モルタル面 EP-G塗替え 合板面 SOP塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.900	塩ビ製			黒板（既存）、掲示板加貼、カーテン撤去、スチール製（S） 教師用戸棚SOP塗替え、背面ロッカSOP塗替え、掃除用具入れSOP塗替え	
			廊下	長尺塩ビシート t=2.0撤去		モルタル金鏝 H≒100 VP	モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP		化粧石膏ボード t=9.5撤去	石膏ボード t=9.5撤去 木組天井下地撤去	≒2.500	塩ビ製撤去			小物掛け撤去、室名札撤去、掲示板加貼
				長尺塩ビシート t=2.0貼		モルタル面 H≒100 EP-G塗替え	モルタル面 EP-G塗替え 一部合板面 SOP塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.500	塩ビ製			小物掛け、室名札、掲示板加貼
普通教室	単層フローリング t=15貼 OS		木製 H≒100 SOP	モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP		化粧石膏ボード t=9.5撤去	石膏ボード t=9.5撤去 木組天井下地撤去	≒3.000	塩ビ製撤去			黒板、掲示板加貼撤去、カーテン撤去 教師用戸棚改修、全面戸棚撤去、背面ロッカ改修、掃除用具入れ改修			
	既存フローリングサンダー掛けの上ウレタン樹脂ワニス塗		木部 H≒100 SOP塗替え	モルタル面 EP-G塗替え 一部合板面 SOP塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.900	塩ビ製			黒板（既存）、掲示板加貼、カーテン撤去、スチール製（S） 教師用戸棚SOP塗替え、背面ロッカSOP塗替え、掃除用具入れSOP塗替え			
1~PH	階段	長尺塩ビシート t=2.0撤去（踏み面、蹴込み共）		タタキ	モルタル金鏝 AEP		化粧石膏ボード t=9.5撤去、パーライト吹付	石膏ボード t=9.5撤去 木組天井下地撤去	≒3.330、3.230 2.670				手摺改修、ノズリアップ：真鍮製W=40撤去		
		長尺塩ビシート t=2.0貼（踏み面、蹴込み共）			モルタル面 EP-G塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼、パーライト吹替え	鋼製天井下地新設	≒3.330、3.230 2.670				手摺改修、手摺新設、ノズリアップ：スチール製W=40		
B	1	廊下	長尺塩ビシート t=2.0撤去		モルタル金鏝 H≒100 VP	モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP		化粧石膏ボード t=9.5撤去	石膏ボード t=9.5撤去 木組天井下地撤去	≒2.530	塩ビ製撤去		小物掛け撤去、室名札撤去、掲示板加貼		
			長尺塩ビシート t=2.0貼		モルタル面 H≒100 EP-G塗替え	モルタル面 EP-G塗替え 一部合板面 SOP塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.530	塩ビ製		小物掛け、室名札、掲示板加貼		
		普通教室	フローリングブロック t=15貼 OS		木製 H≒100 SOP	モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP 一部リフレッシュ板 t=6 AEP		パーライト吹付		≒3.327				黒板、掲示板加貼撤去、カーテン撤去 教師用戸棚改修、全面戸棚撤去、背面ロッカ改修、掃除用具入れ改修	
			既存フローリングサンダー掛けの上ウレタン樹脂ワニス塗		木部 H≒100 SOP塗替え	モルタル面 EP-G塗替え 合板面 SOP塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.900	塩ビ製			黒板（UD式）新設、掲示板加貼、カーテン撤去、スチール製（S） 教師用戸棚SOP塗替え、背面ロッカSOP塗替え、掃除用具入れSOP塗替え	
			倉庫	長尺塩ビシート t=2.0貼			モルタル金鏝 AEP 一部石膏ボード t=9.5 AEP		パーライト吹付						
	2	廊下	長尺塩ビシート t=2.0撤去		モルタル金鏝 H≒100 VP	モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP		化粧石膏ボード t=9.5撤去	石膏ボード t=9.5撤去 木組天井下地撤去	≒2.530	塩ビ製撤去			小物掛け撤去、室名札撤去、掲示板加貼	
			長尺塩ビシート t=2.0貼		モルタル面 H≒100 EP-G塗替え	モルタル面 EP-G塗替え 一部合板面 SOP塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.530	塩ビ製			小物掛け、室名札、掲示板加貼	
		普通教室	フローリングブロック t=15貼 OS		木製 H≒100 SOP	モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP		パーライト吹付		≒3.327				黒板、掲示板加貼撤去、カーテン撤去 教師用戸棚改修、全面戸棚撤去、背面ロッカ改修、掃除用具入れ改修	
			既存フローリングサンダー掛けの上ウレタン樹脂ワニス塗		木部 H≒100 SOP塗替え	モルタル面 EP-G塗替え 一部合板面 SOP塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	3.000	塩ビ製			黒板（UD式）新設、掲示板加貼、カーテン撤去、スチール製（S） 教師用戸棚SOP塗替え、背面ロッカSOP塗替え、掃除用具入れSOP塗替え	
			資料室	フローリングブロック t=15貼 OS		木製 H≒100 SOP	モルタル金鏝 AEP		化粧石膏ボード t=9.5貼	石膏ボード t=9.5 木組天井下地	≒2.500	塩ビ製			
3	廊下	長尺塩ビシート t=2.0撤去		モルタル金鏝 H≒100 VP	モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP		化粧石膏ボード t=9.5撤去	石膏ボード t=9.5撤去 木組天井下地撤去	≒2.530	塩ビ製撤去			小物掛け撤去、室名札撤去、掲示板加貼		
		長尺塩ビシート t=2.0貼		モルタル面 H≒100 EP-G塗替え	モルタル面 EP-G塗替え 一部合板面 SOP塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.530	塩ビ製			小物掛け、室名札、掲示板加貼		
	普通教室	フローリングブロック t=15貼 OS		木製 H≒100 SOP	モルタル金鏝 AEP 一部合板 SOP		化粧石膏ボード t=9.5撤去	石膏ボード t=9.5撤去 木組天井下地撤去	≒3.327	塩ビ製撤去			黒板、掲示板加貼撤去、カーテン撤去 教師用戸棚改修、全面戸棚撤去、背面ロッカ改修、掃除用具入れ改修		
		既存フローリングサンダー掛けの上ウレタン樹脂ワニス塗		木部 H≒100 SOP塗替え	モルタル面 EP-G塗替え 一部合板面 SOP塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼	鋼製天井下地新設	2.900	塩ビ製			黒板（既存）、掲示板加貼、カーテン撤去、スチール製（S） 教師用戸棚SOP塗替え、背面ロッカSOP塗替え、掃除用具入れSOP塗替え		
		資料室	フローリングブロック t=15貼 OS		木製 H≒100 SOP	モルタル金鏝 AEP		化粧石膏ボード t=9.5貼	石膏ボード t=9.5 木組天井下地	≒2.500	塩ビ製				
1~3	階段	長尺塩ビシート t=2.0撤去（踏み面、蹴込み共）		タタキ	モルタル金鏝 AEP		化粧石膏ボード t=9.5撤去、パーライト吹付	木組天井下地撤去					手摺改修、ノズリアップ：真鍮製W=40撤去		
		長尺塩ビシート t=2.0貼（踏み面、蹴込み共）			モルタル面 EP-G塗替え		化粧石膏ボード t=9.5貼、パーライト吹替え	鋼製天井下地新設	≒3.310、2.580				手摺改修、手摺新設、ノズリアップ：スチール製W=40		

※各階廊下及び階段室の床長尺塩ビシートは接着剤がアスベスト含有の為、適法な解体及び処分を行うこと。

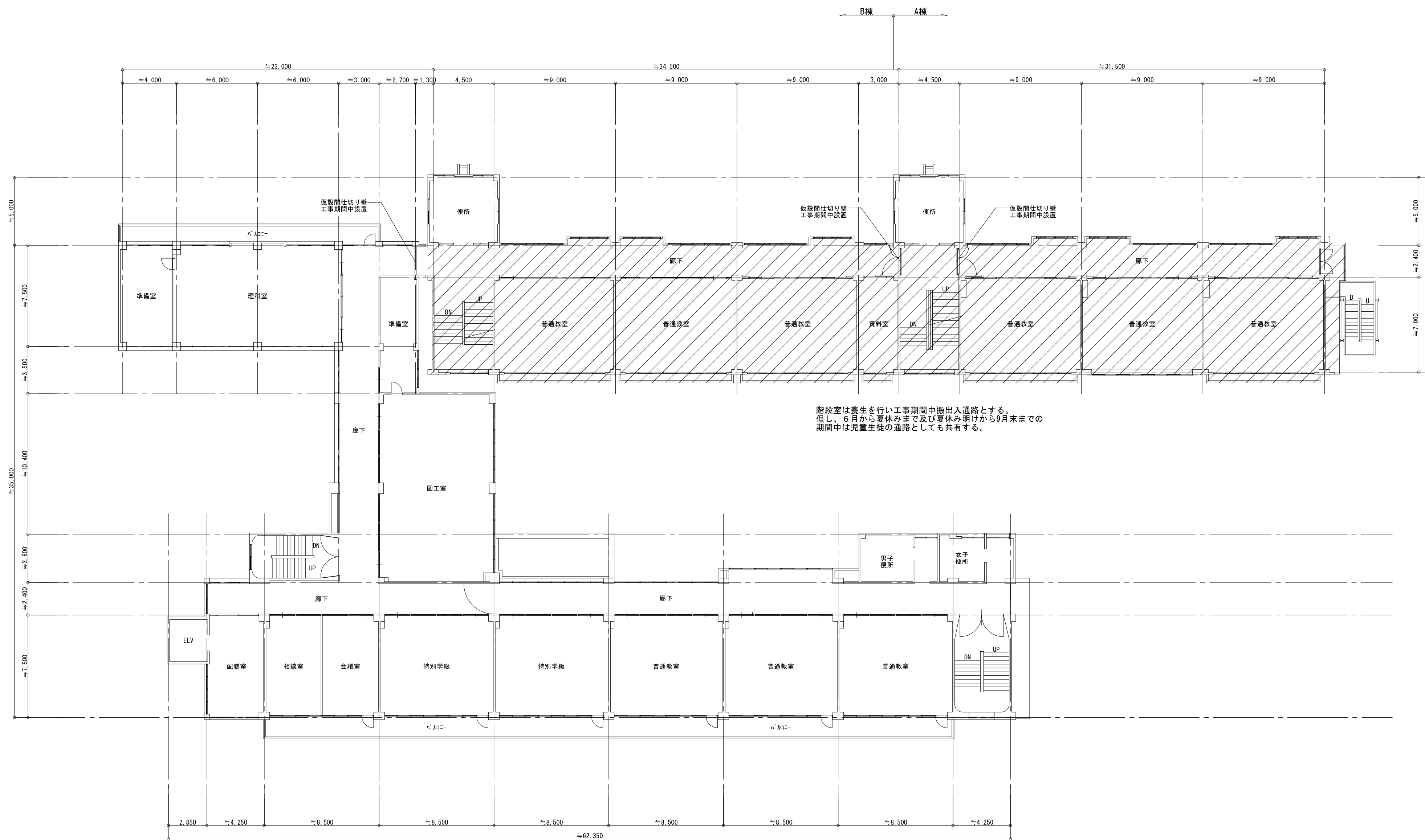
摘要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2023/02/28	承認担当製図工事名称			市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）		図面番号
		変更年月日		N.S	T.S	T.S	図面名称	仕上表	縮尺



※ガードフェンスは、施設・施設関係者と協議の上決定する。
 仮設階段の設置期間は、施設・施設関係者と協議のうえ決定する。

1階平面図 S=1/200 工事箇所を示す

摘要 <hr/> <hr/>	ハナガタ建築設計事務所 <small>一級建築士事務所 一級建築士No. 183598号 菅谷 隆</small>		設計年月日 2023/02/28	承認 担当 製図 N.S. T.S. T.S.	工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）	図面番号 A-11
			変更年月日	図面名称 1階平面図（仮設計画）	縮尺 S=1/200	




※仮設間仕切の設置期間は、施設・施設関係者と協議のうえ決定する。

2階平面図 S=1/200

工事箇所を示す

摘要	
----	--


ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

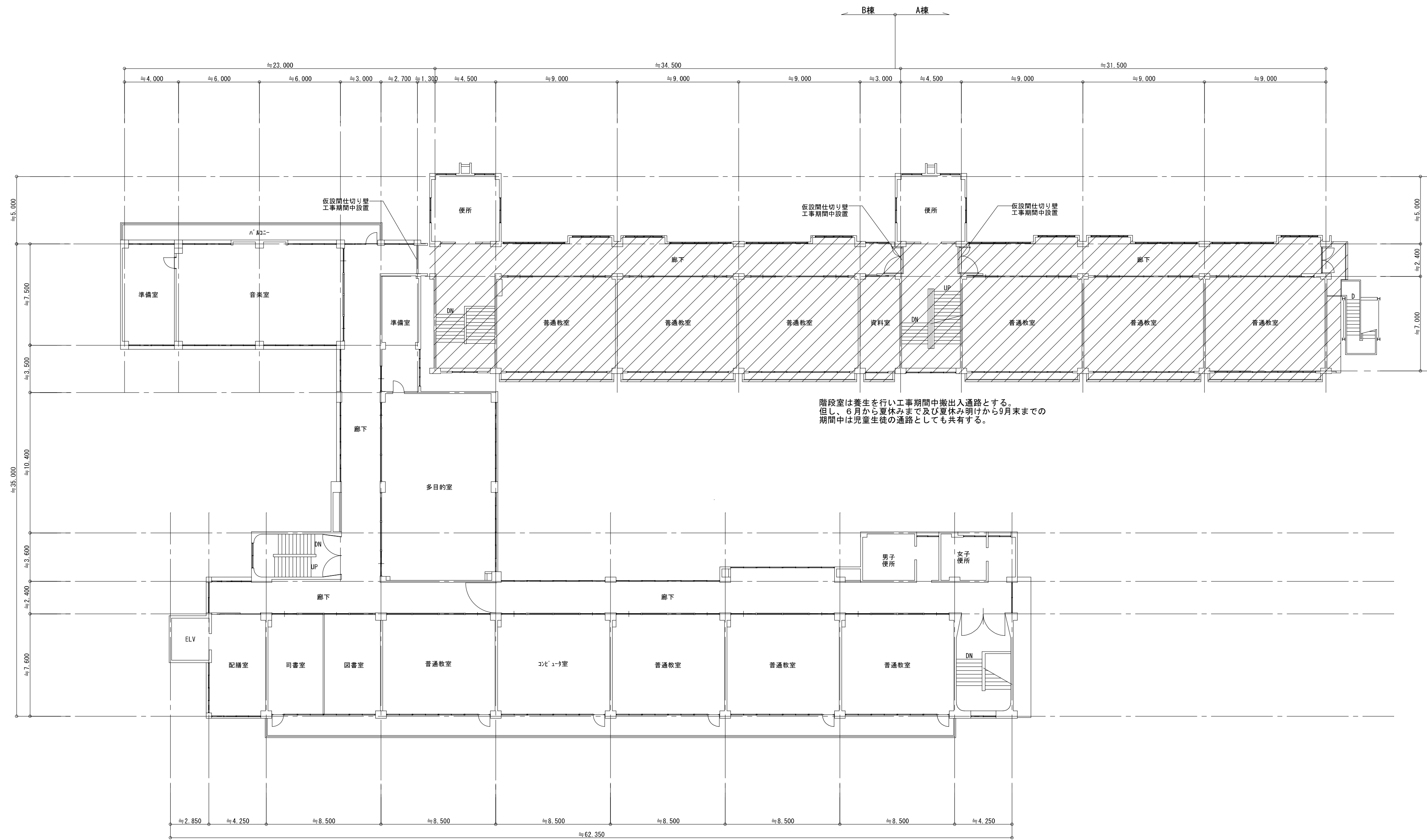
設計年月日	2023/02/28
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）
図面名称	2階平面図

縮尺	S=1/200
----	---------

図面番号 **A-12**



※仮設間仕切りの設置期間は、施設・施設関係者と協議のうえ決定する。

3階平面図 S=1/200 工事箇所を示す

摘要	

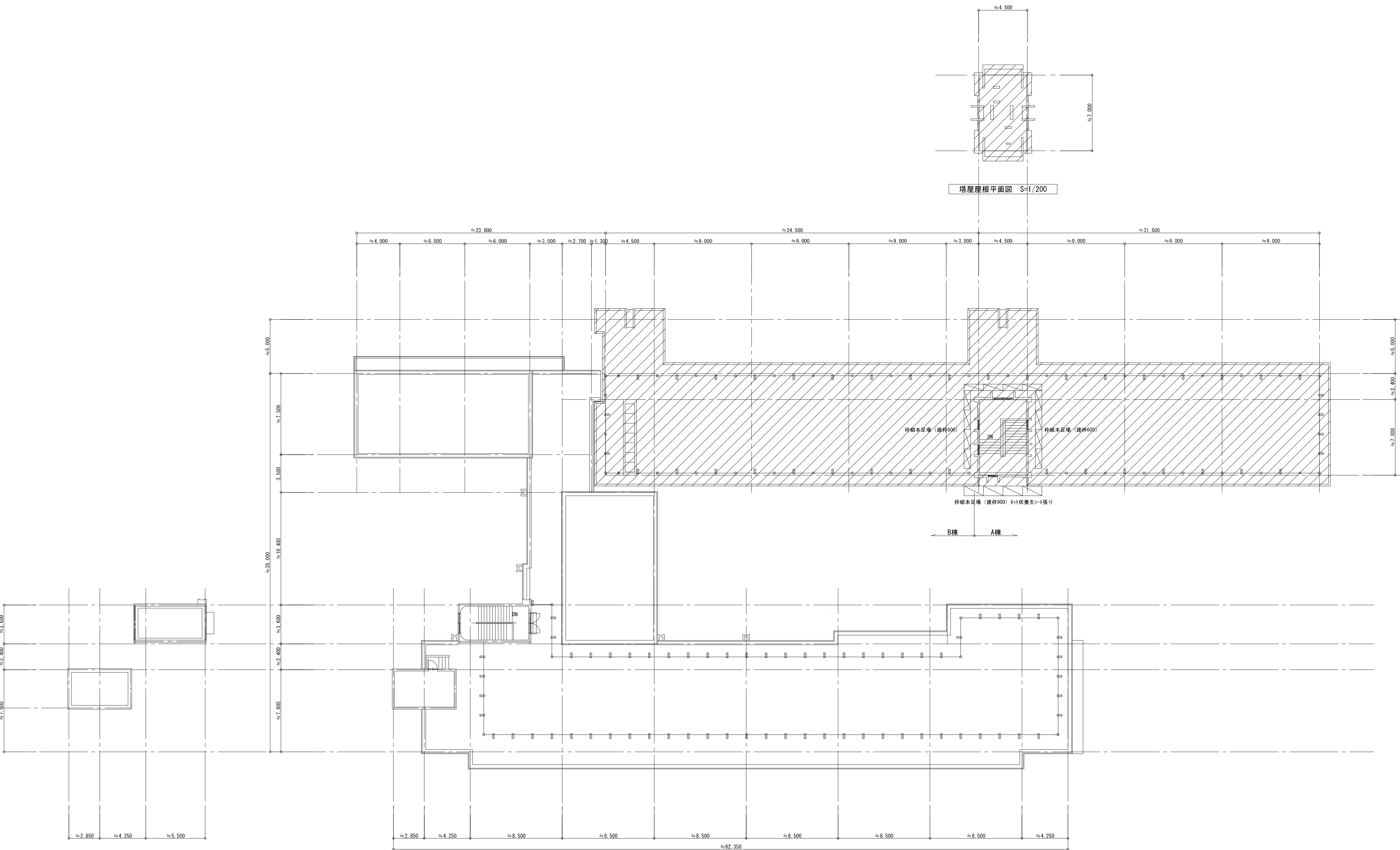
ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2023/02/28
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）
図面名称	3階平面図

図面番号	A-13
縮尺	S=1/200



塔屋根平面図 S=1/200

塔屋・屋上平面図 S=1/200

工事箇所を示す

摘要	
----	--



ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2023/02/28
変更年月日	

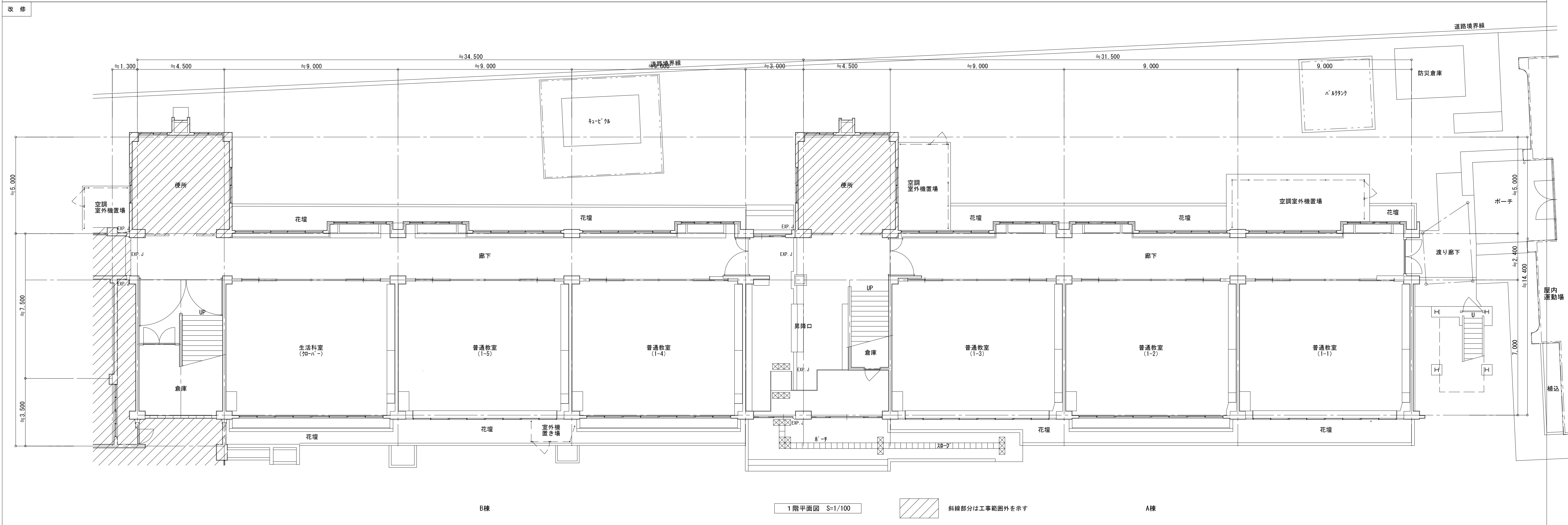
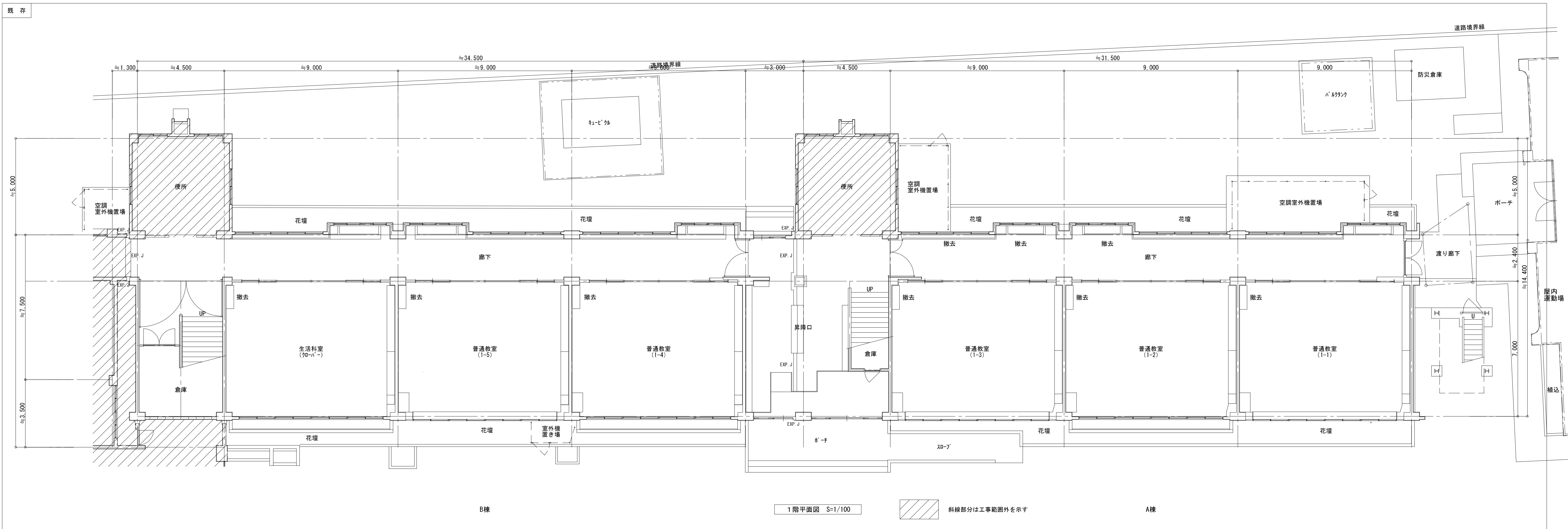
承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）
図面名称	塔屋・屋上平面図（仮設計画）

縮尺
S=1/200

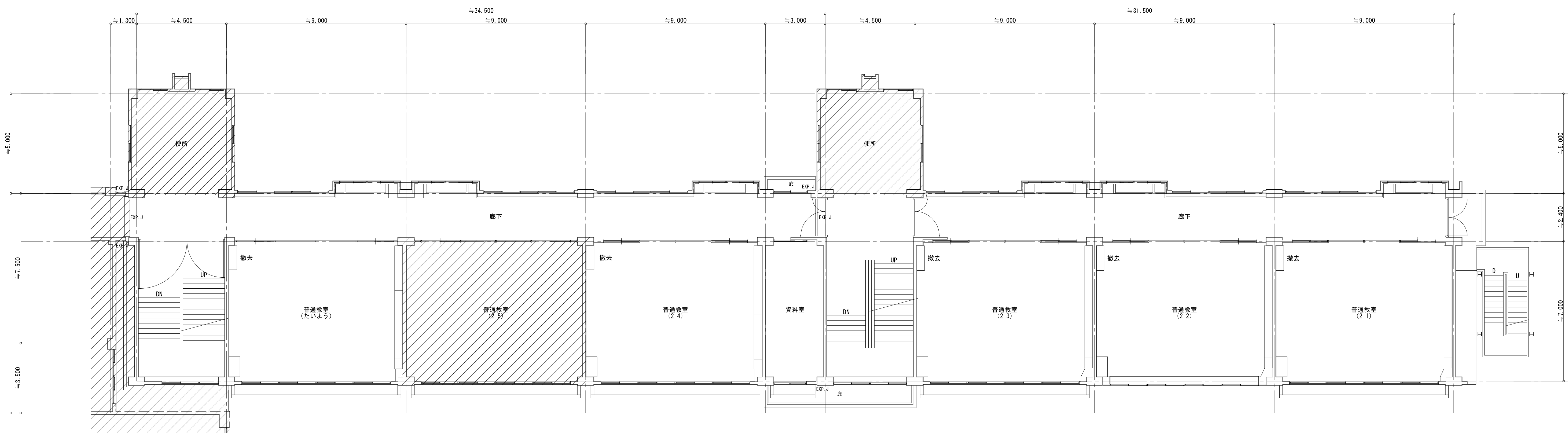
図面番号

A-14



摘要	ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所	設計年月日	2023/02/28	承認担当製図	N.S	T.S	T.S	工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)	図面番号	A-15
		変更年月日		図面名称	北校舎1階平面図			縮尺	S=1/100		

既存



B棟

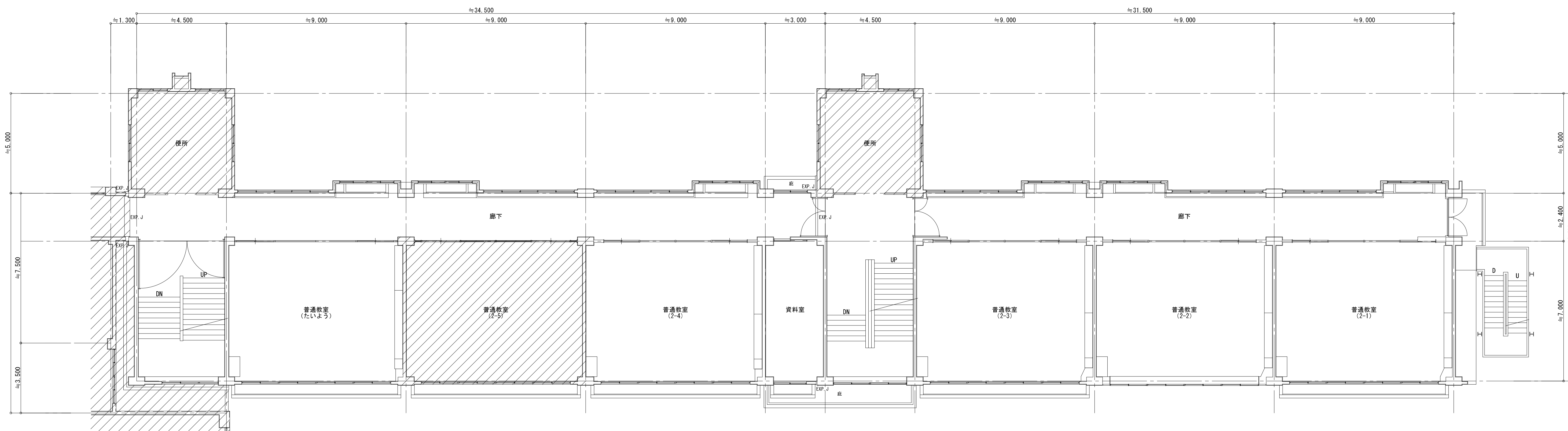
2階平面図 S=1/100



斜線部分は工事範囲外を示す

A棟

改修



B棟

2階平面図 S=1/100



斜線部分は工事範囲外を示す

A棟

摘要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日

2023/02/28

変更年月日

承認担当製図

N.S T.S T.S

工事名称

市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）

図面名称

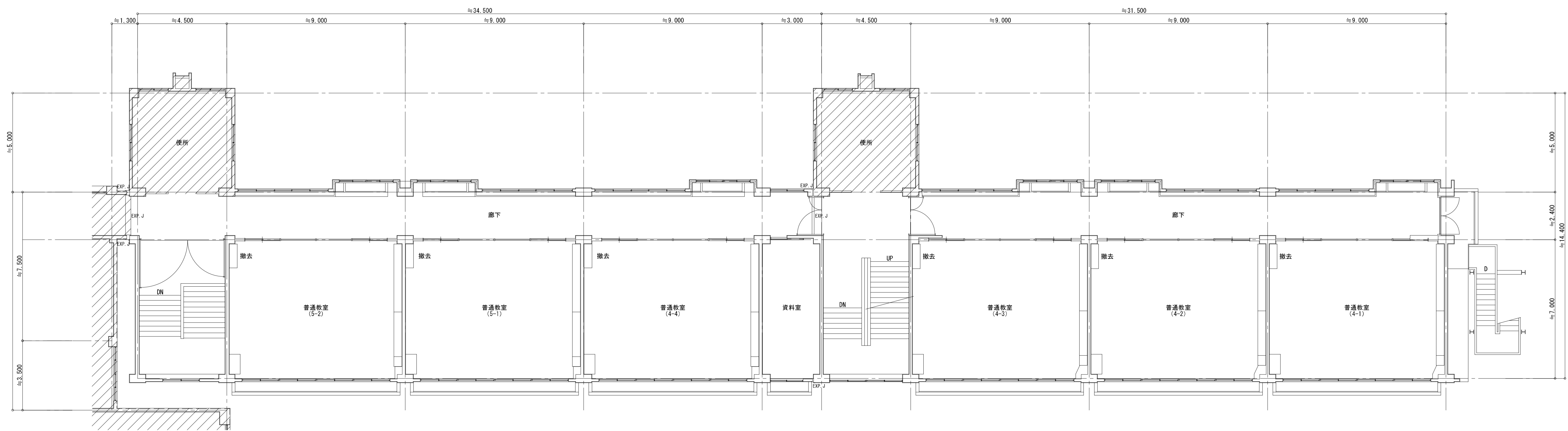
北校舎2階平面図

縮尺
S=1/100

図面番号

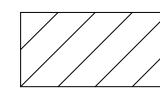
A-16

既存



B棟

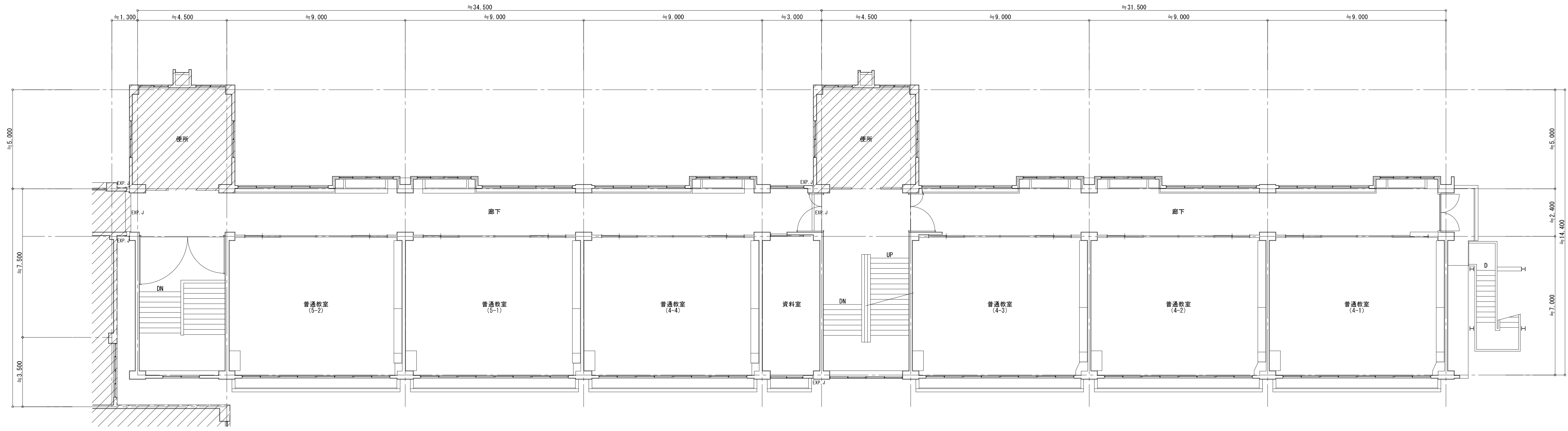
3階平面図 S=1/100



斜線部分は工事範囲外を示す

A棟

改修



B棟

3階平面図 S=1/100



斜線部分は工事範囲外を示す

A棟

摘要



ハナガタ建築設計事務所

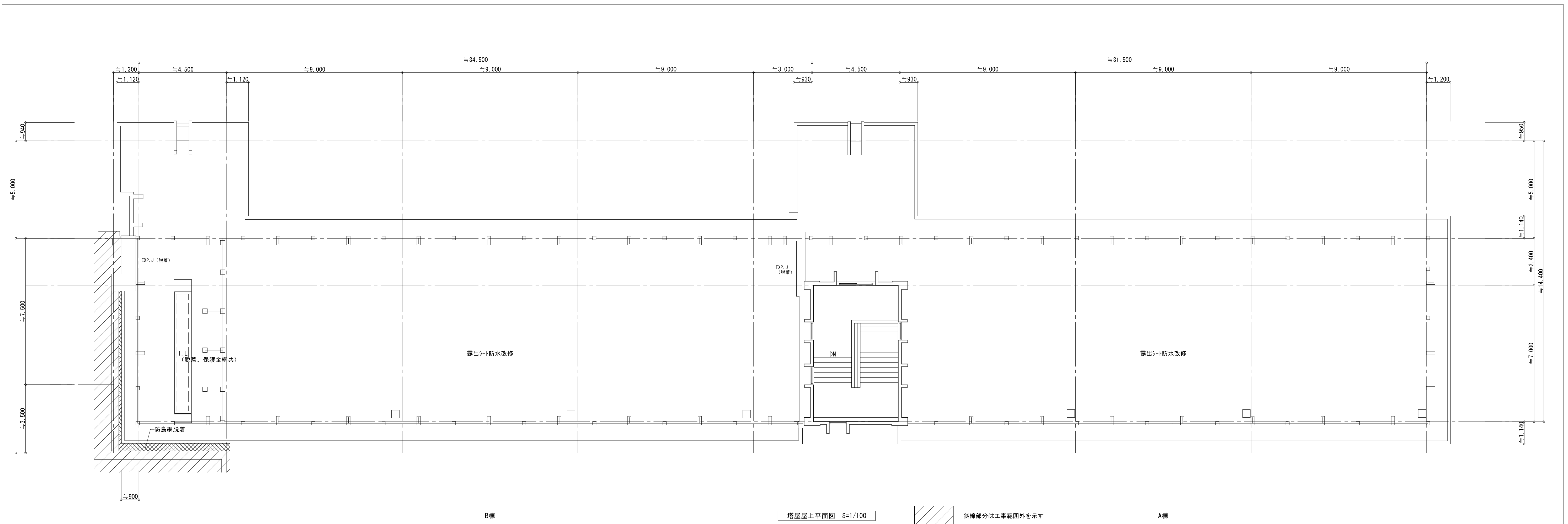
一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日 2023/02/28
変更年月日

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

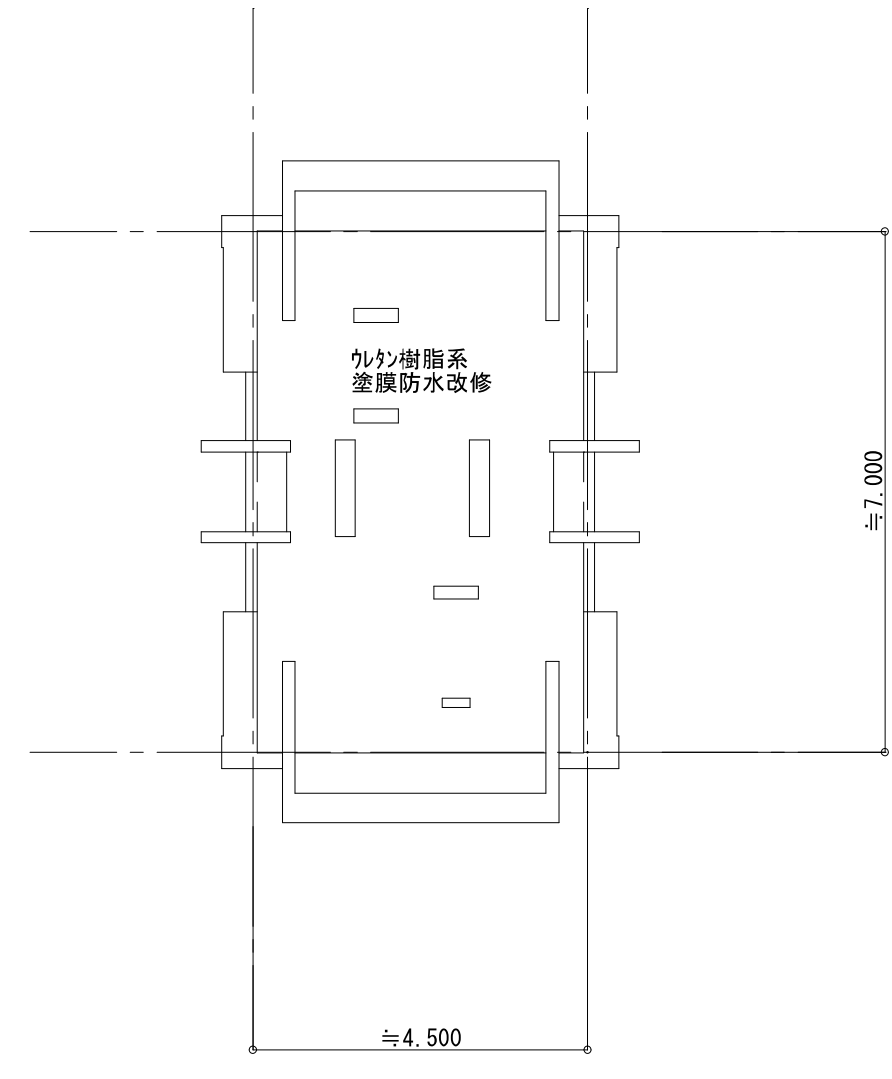
工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)
図面名称	北校舎3階平面図

図面番号	A-17
縮尺	S=1/100




塔屋屋上平面図 S=1/100

斜線部分は工事範囲外を示す



塔屋屋根平面図 S=1/100

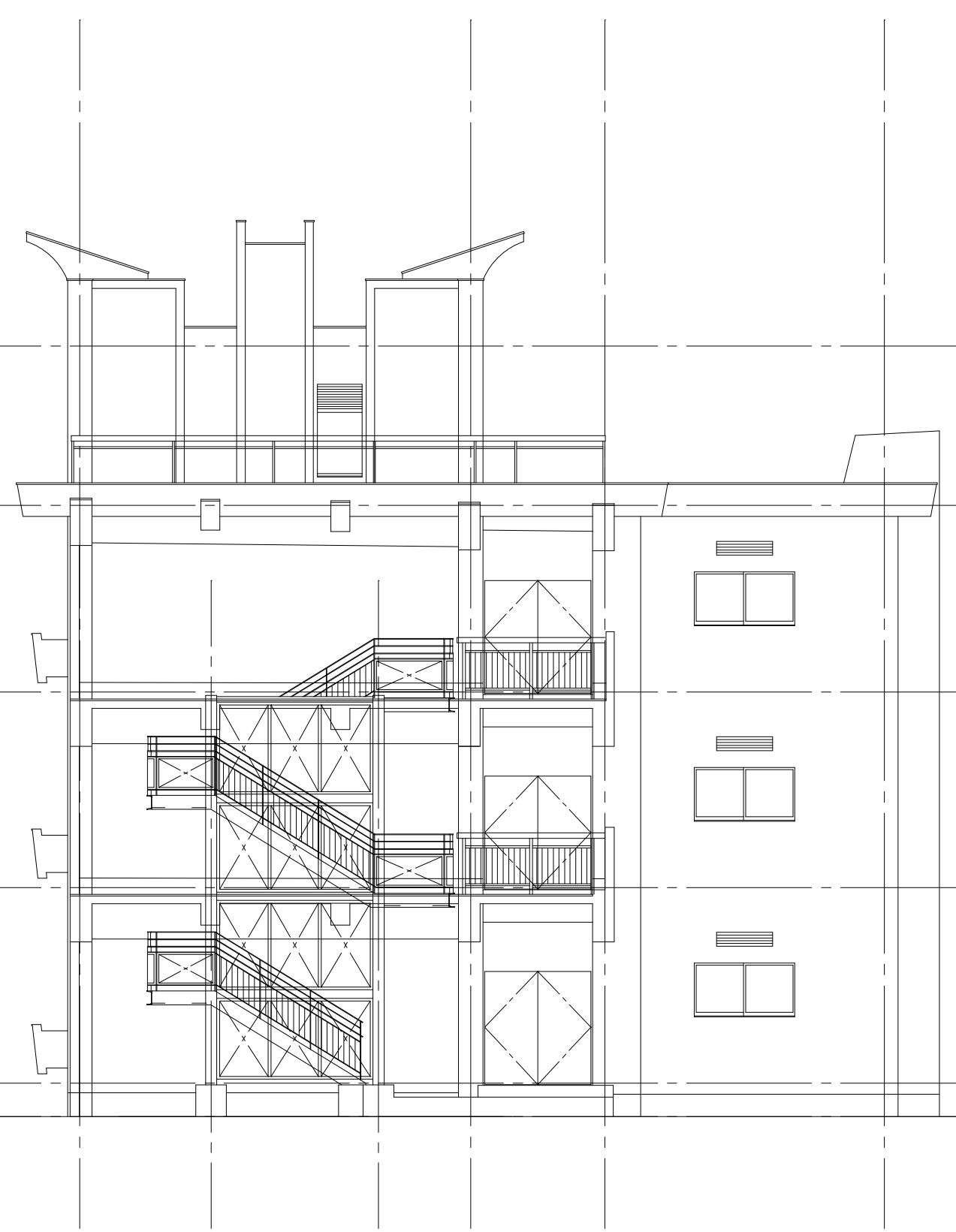
摘要	


ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

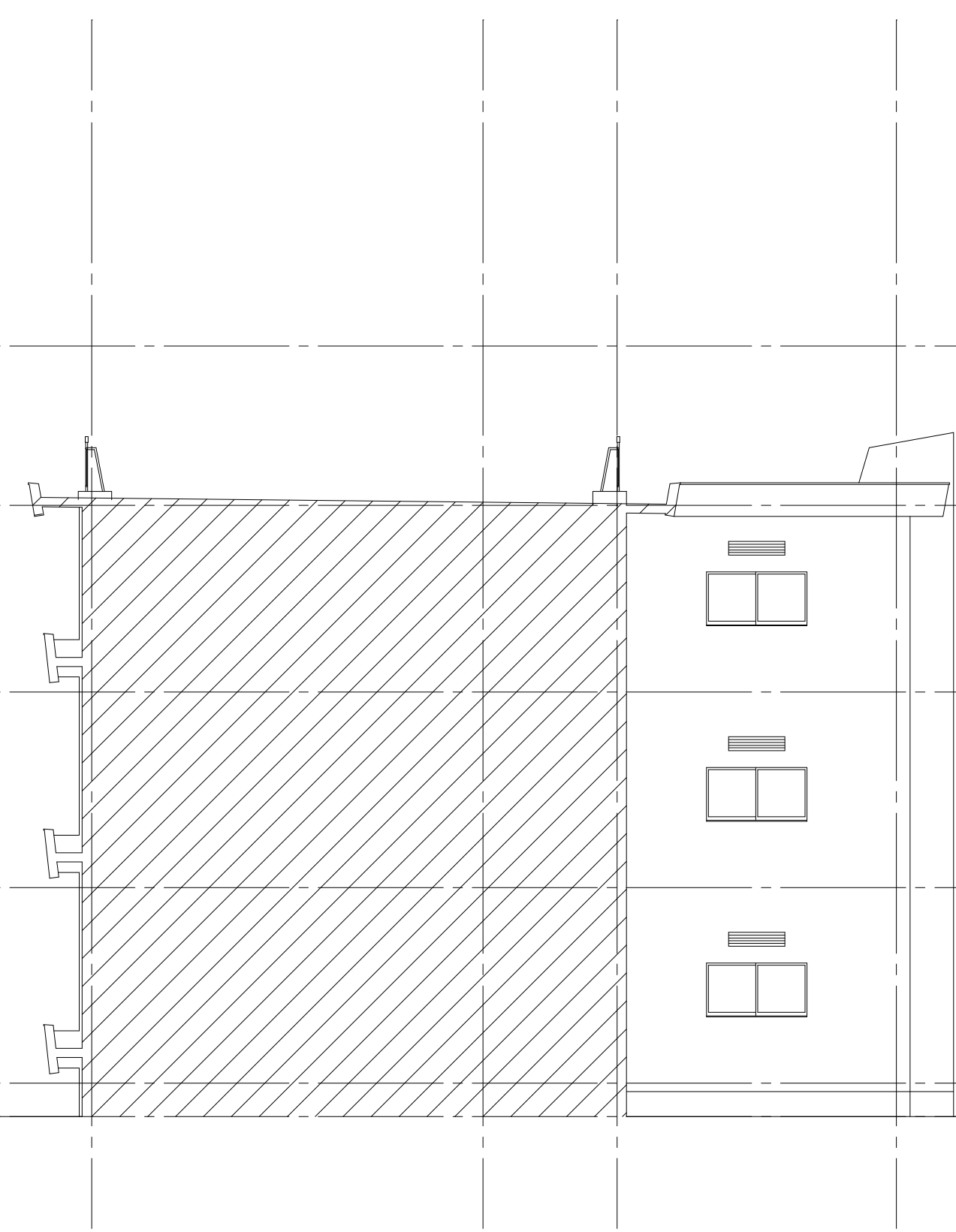
設計年月日	2023/02/28	承認担当製図	工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)	図面番号
変更年月日		N.S T.S T.S	図面名称	北校舎塔屋・屋上平面図	A-18
			縮尺	S=1/100	



南立面図 S=1/100



東立面図 S=1/100



東立面図 S=1/100

※外壁改修仕様

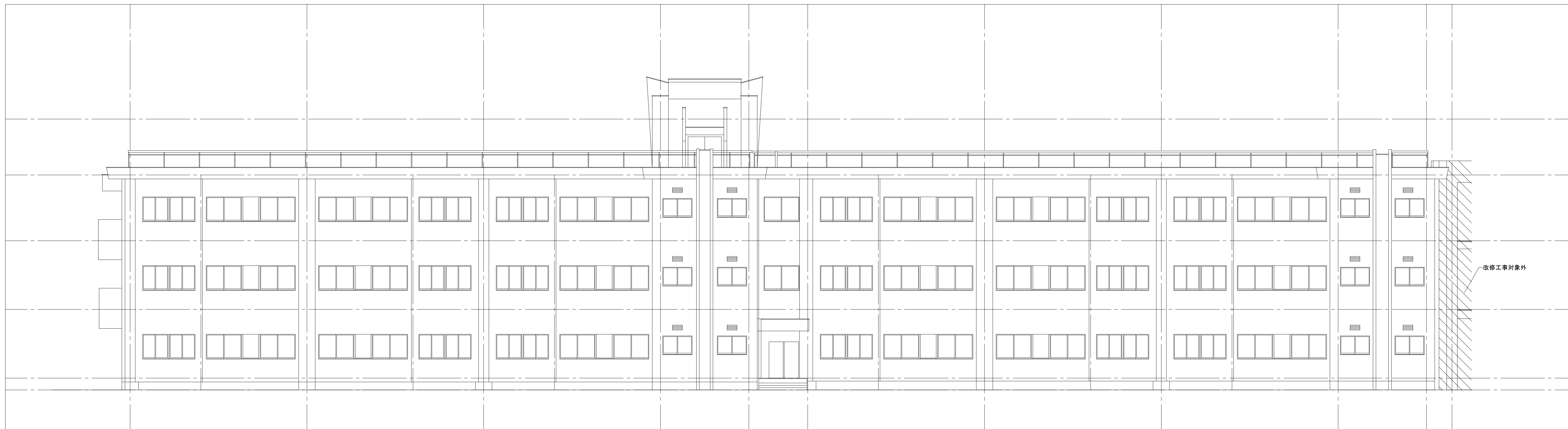
既存塗膜の除去 高圧水洗い工法 水圧30Mpa

下地処理
 ひび割れ部 ウレタン樹脂充填工法
 欠損部 エポキシ樹脂充填工法
 浮き部 フォーミング部分 樹脂注入工法

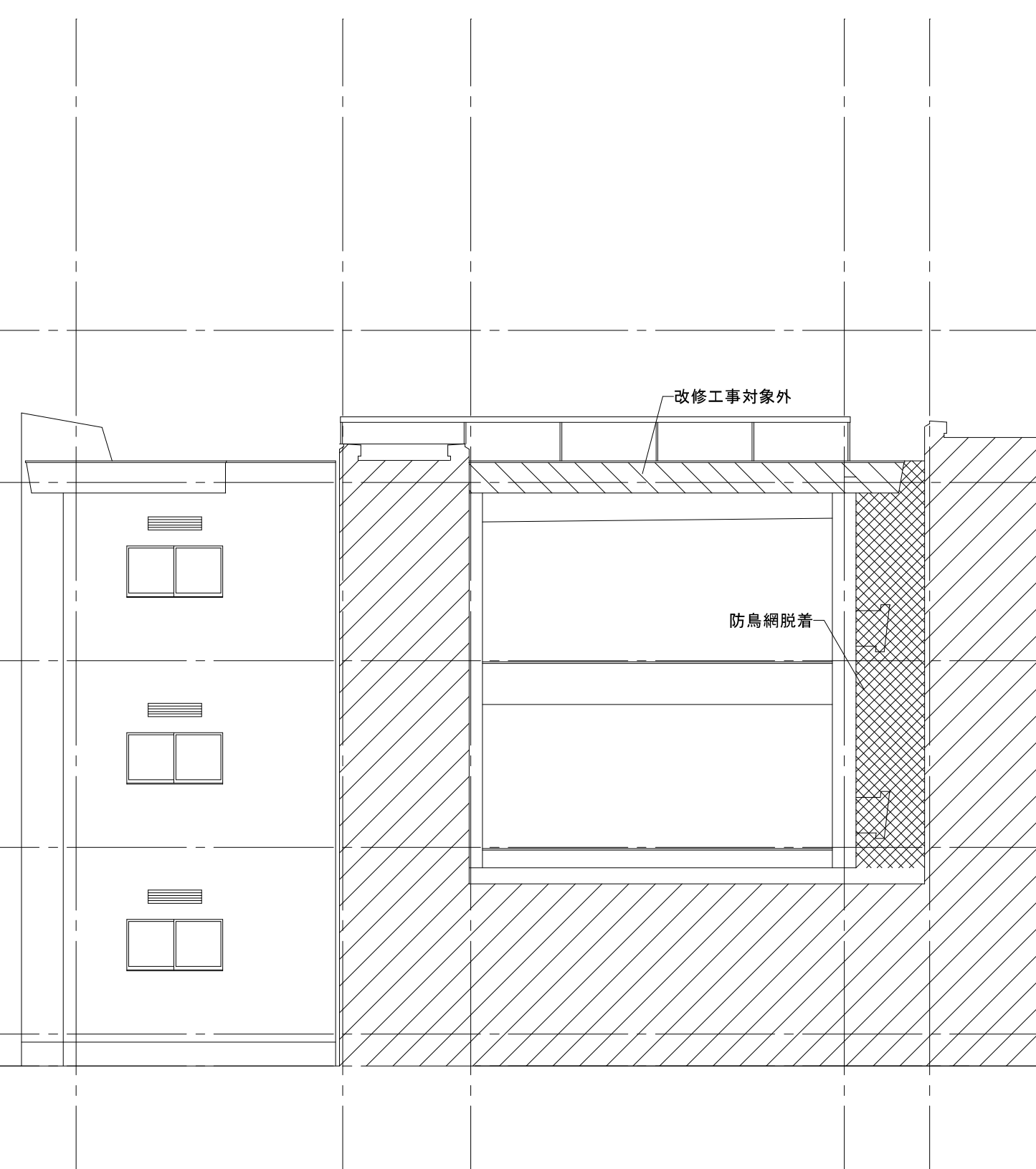
仕上
 外壁 複層塗材E付付 水系7% 艶有 凹凸模様 上塗2回
 軒天 外装薄塗材E付付 砂ず肌状 主剤塗2回
 巾木 樹脂樹脂薄塗

防水 (コーキング)
 鋼製建具廻り 既存撤去後 聚氨酯系シーリング 充填
 150mmコンクリート廻り 既存撤去後 聚氨酯系シーリング 充填
 その他目地 既存撤去後 聚氨酯系シーリング 充填

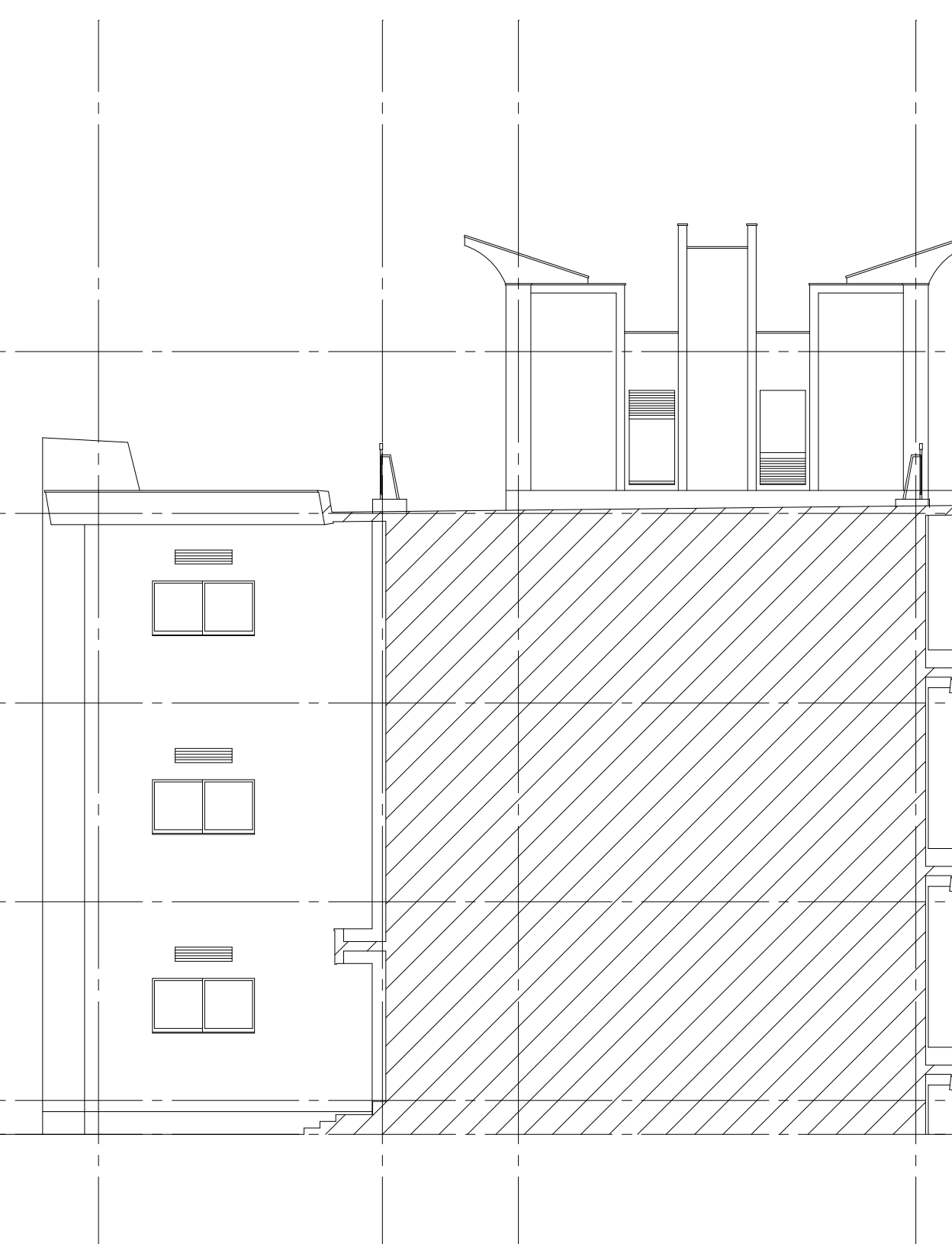
摘要	
----	--



北立面図 S=1/100



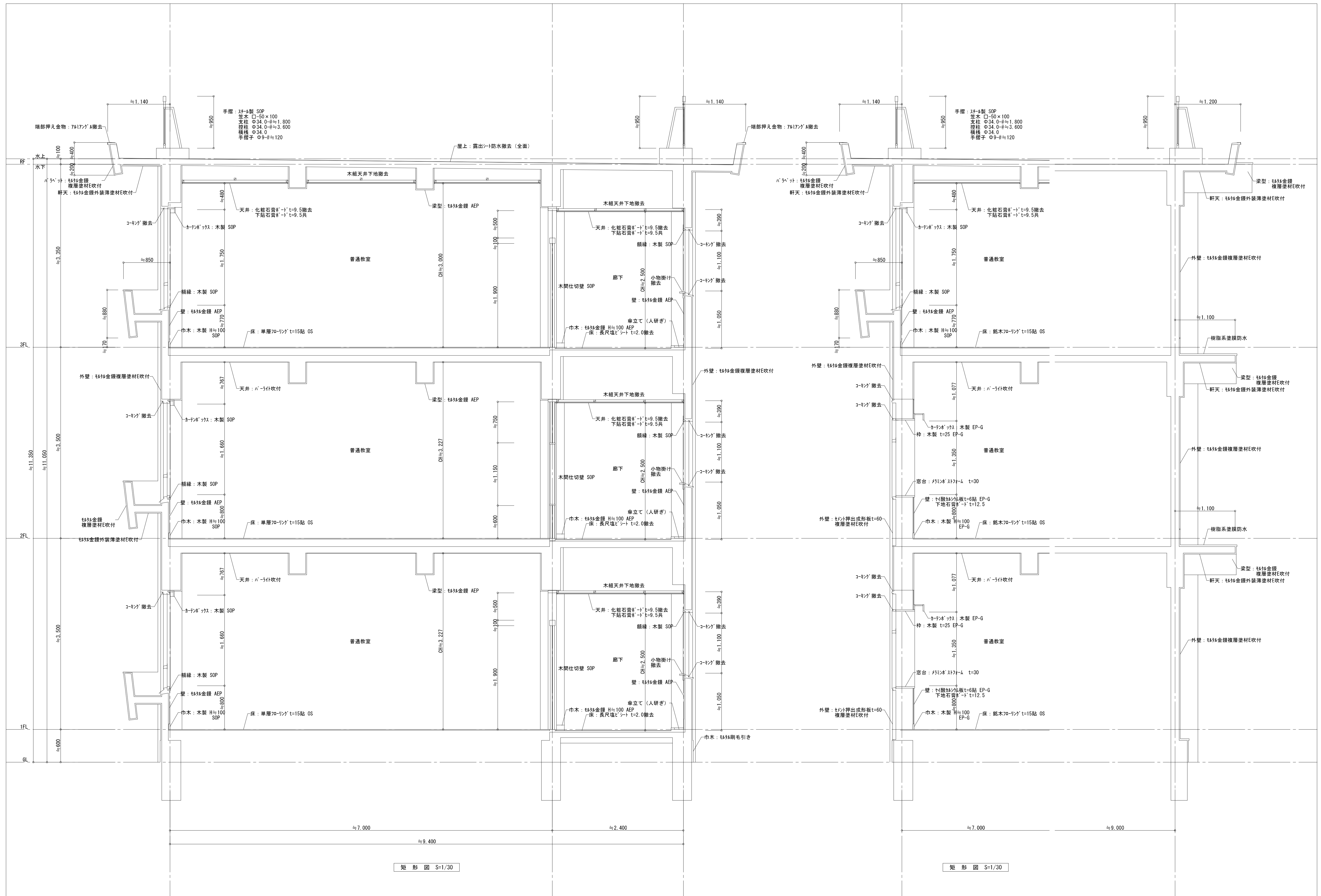
西立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100

※外壁改修仕様
 既存塗膜の除去 高圧水洗い工法 水圧30Mpa
 下地処理
 ひび割れ部 珪砂可とう性珪砂樹脂充填工法
 欠損部 珪砂樹脂充填工法
 浮き部 フォームレス部分珪砂樹脂注入工法
 仕上
 外壁 複層塗材E吹付 水系7714 艶有 凹凸模様 上塗2回
 軒天 外装薄塗材E吹付 ゆず肌状 主剥塗2回
 巾木 樹脂珪砂薄塗
 防水(ユキダケ)
 鋼製建具廻り 既存撤去後変成シリコン系シーリング充填
 エポキシ樹脂系 既存撤去後変成シリコン系シーリング充填
 その他目地 既存撤去後変成シリコン系シーリング充填

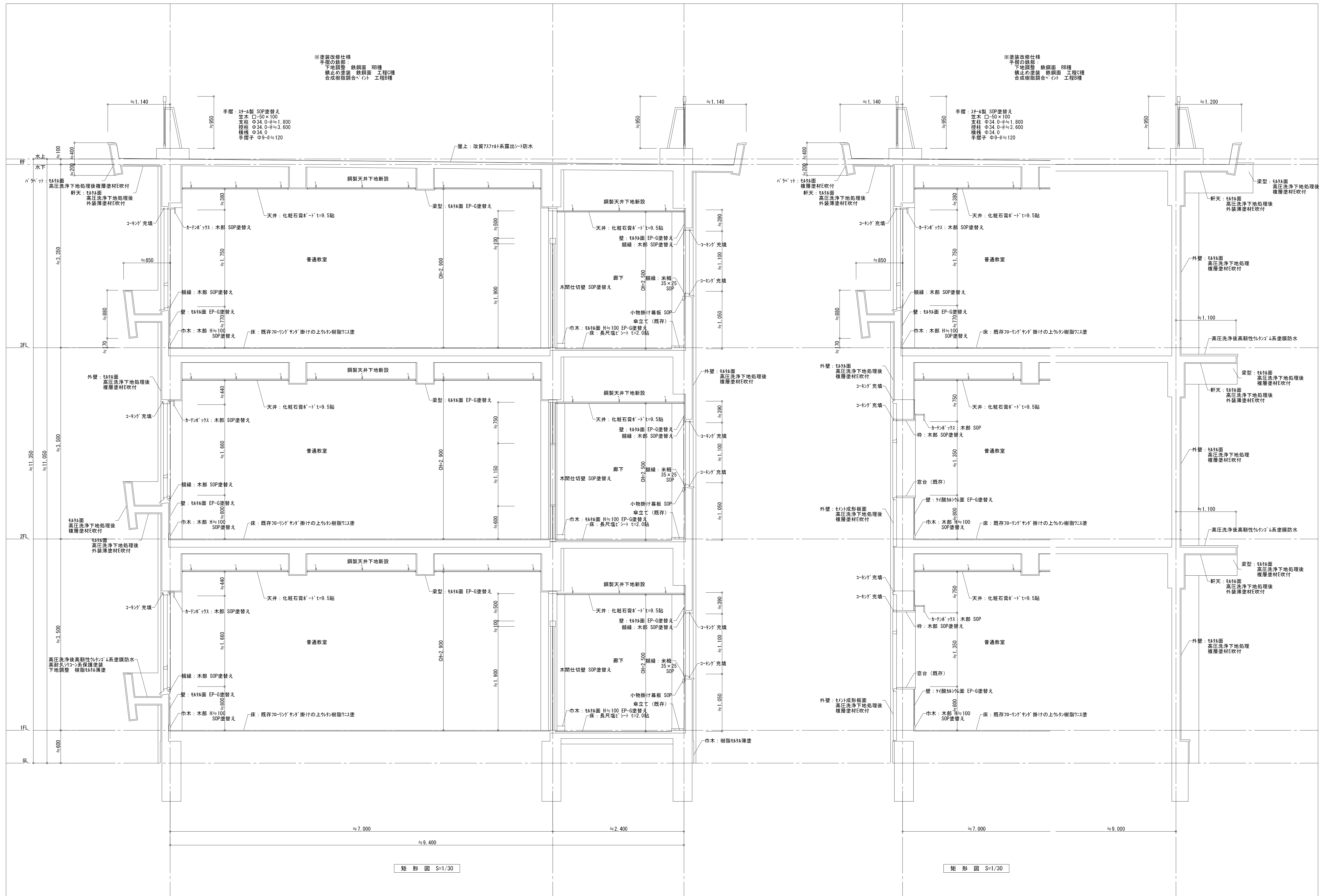
摘要



矩形図 S=1/30

矩形図 S=1/30

摘要	ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所	設計年月日 2023/02/28 変更年月日	承認担当製図 N.S. T.S. T.S.	工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)	図面名称 矩計図(A棟既存)	縮尺 S=1/30	図面番号 A-21



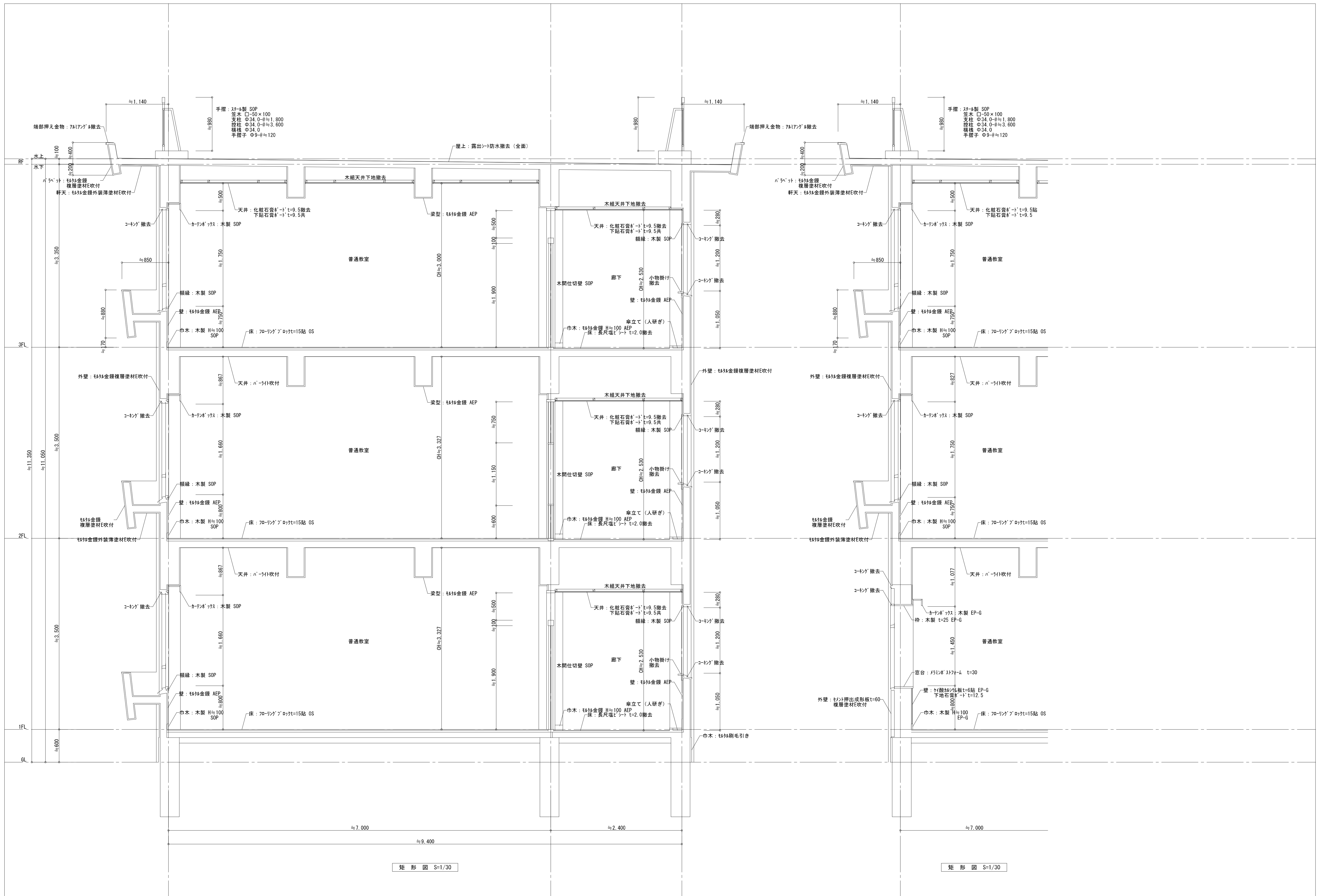
※塗装改修仕様
 手摺の鉄部：鉄鋼面 RB種
 下地調整：鉄鋼面 RB種
 錆止め塗装：鉄鋼面 工程C種
 合成樹脂調合ペイント 工程B種

※塗装改修仕様
 手摺の鉄部：鉄鋼面 RB種
 下地調整：鉄鋼面 RB種
 錆止め塗装：鉄鋼面 工程C種
 合成樹脂調合ペイント 工程B種

矩形図 S=1/30

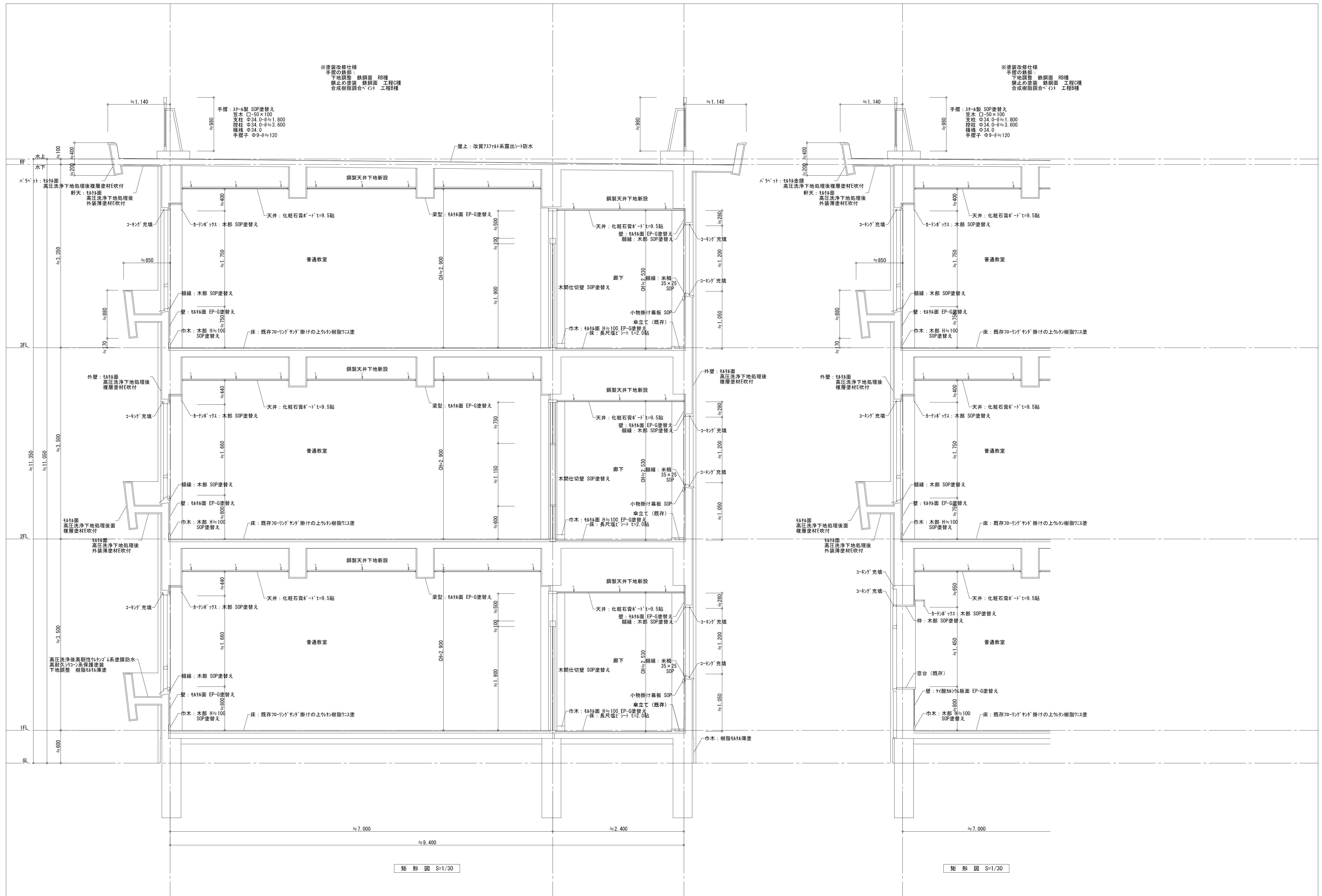
矩形図 S=1/30

摘要	設計年月日 2023/02/28	承認担当製図 N.S T.S T.S	工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）		図面番号 A-22
			図面名称 矩計図（A棟改修）	縮尺 S=1/30	

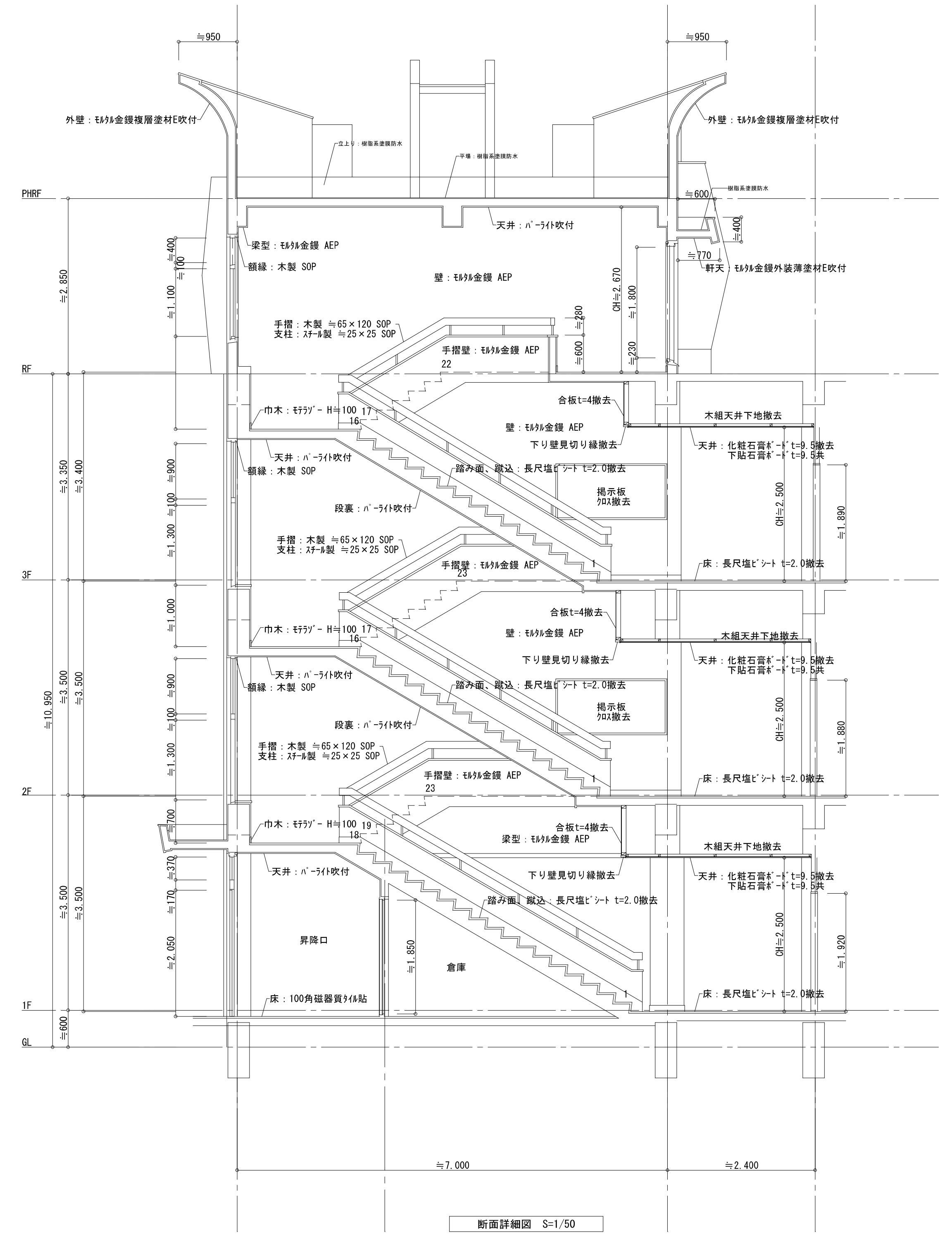
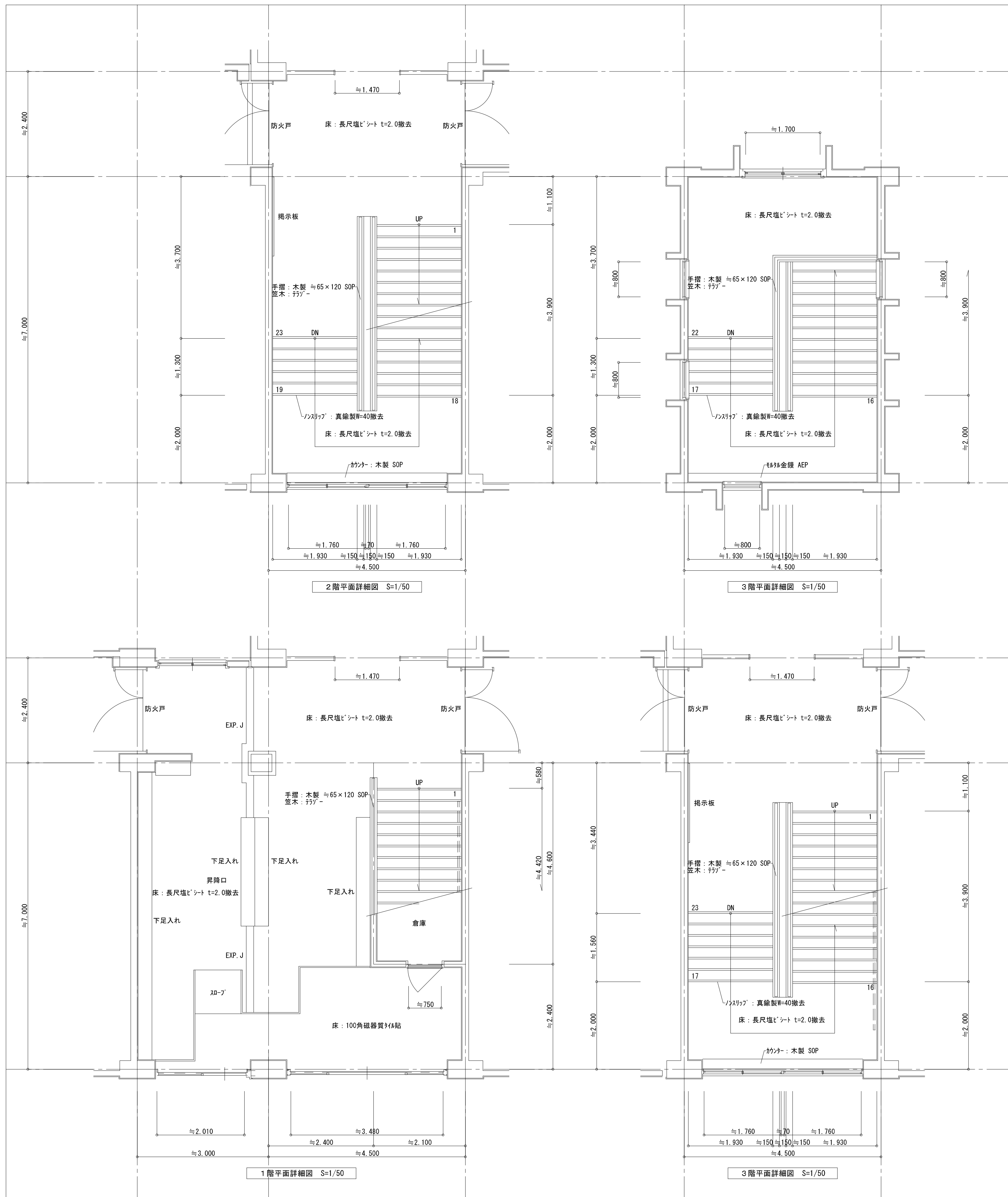


矩形図 S=1/30

矩形図 S=1/30

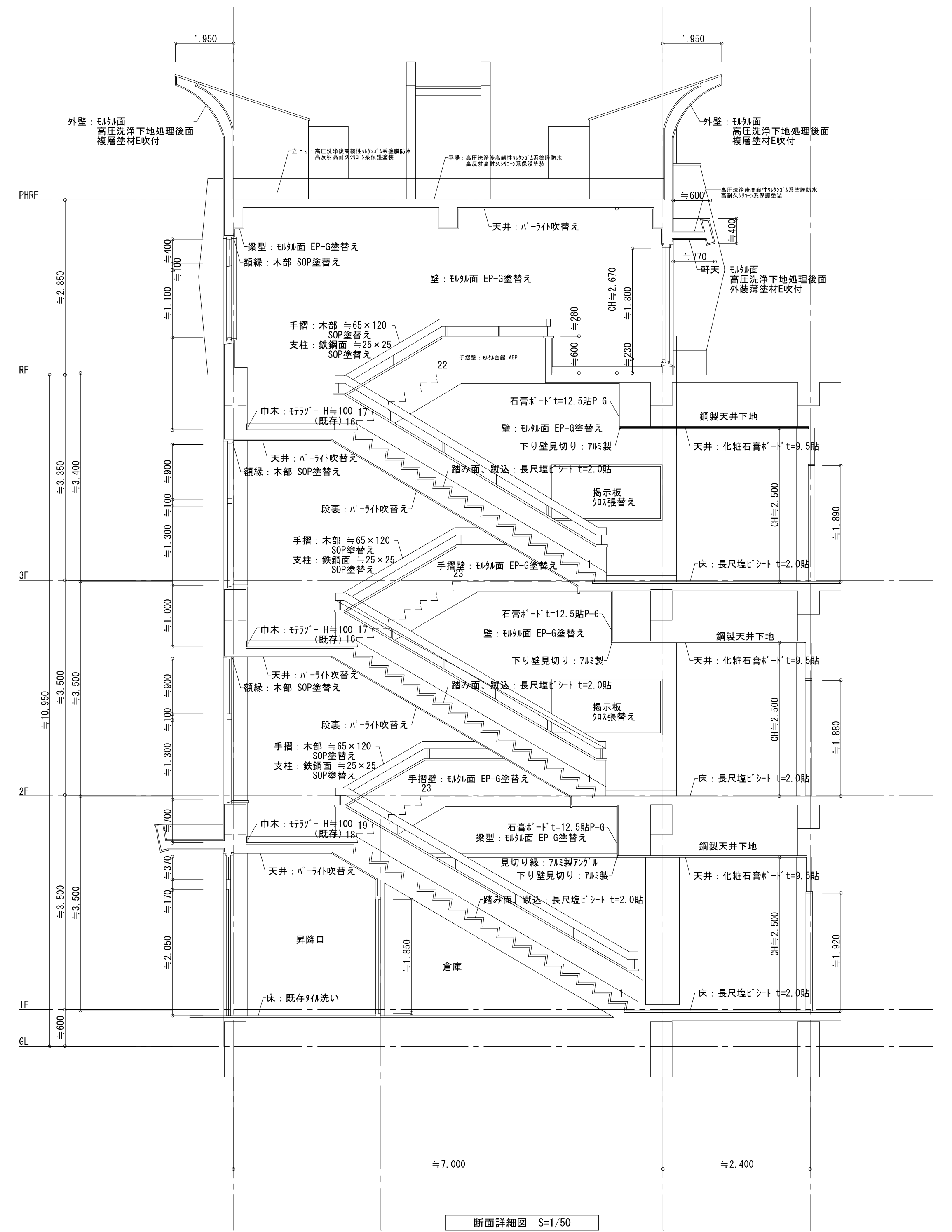
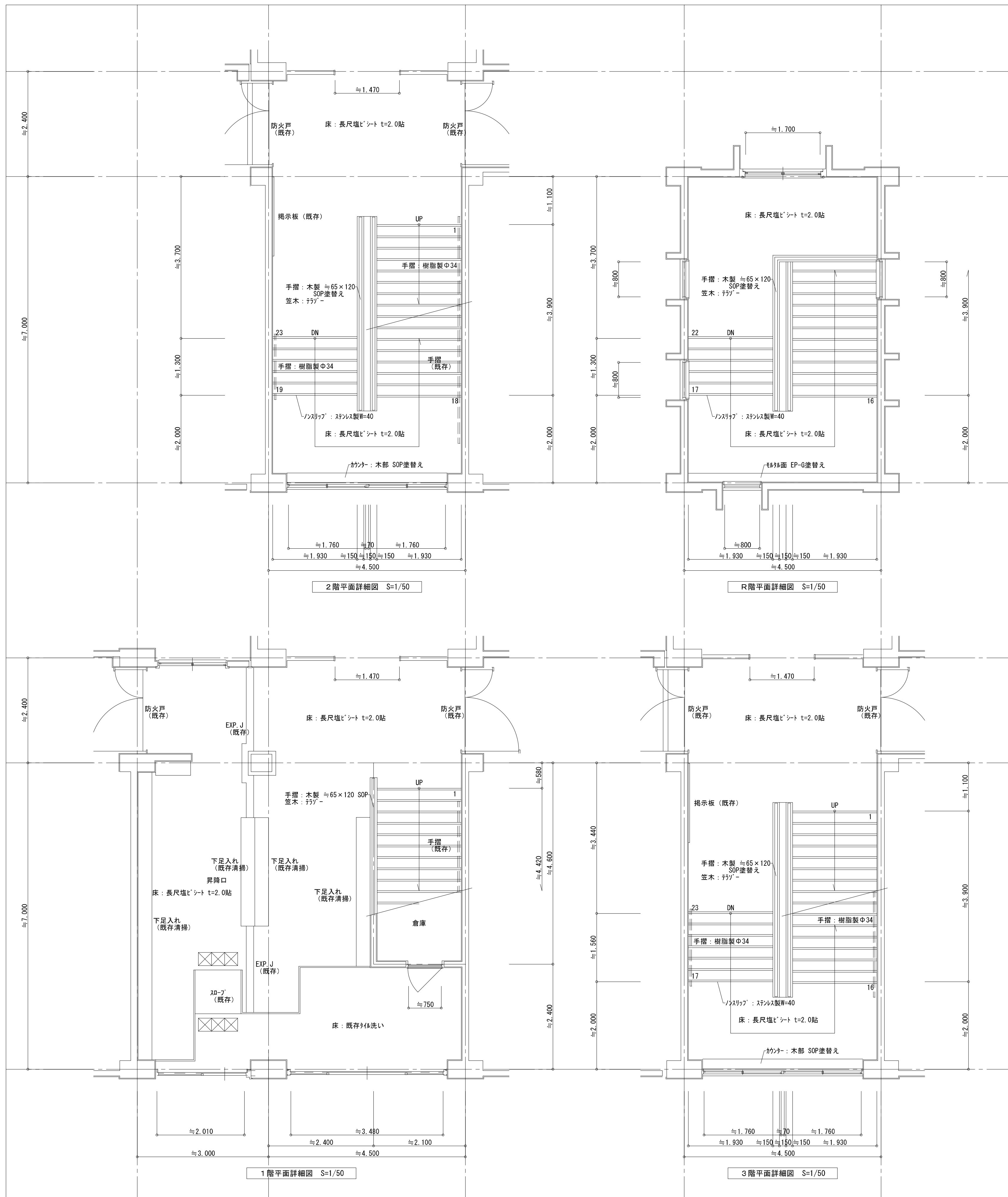


摘要 概要	ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆	設計年月日 2023/02/28	承認担当製図 N.S T.S T.S	工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)	図面番号 A-24
		変更年月日	図面名称 矩 形 図 (B棟改修)	縮尺 S=1/30	



摘要	
----	--

設計年月日	2023/02/28	承認担当	製図	工 事 名 称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)	図面番号	
変更年月日		N.S	T.S	図 面 名 称	階 段 詳 細 図 (A棟既存)	縮 尺	A-25
						S=1/50	



摘要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日

2023/02/28

変更年月日

承認担当製図

N.S T.S T.S

工事名称

市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)

図面名称

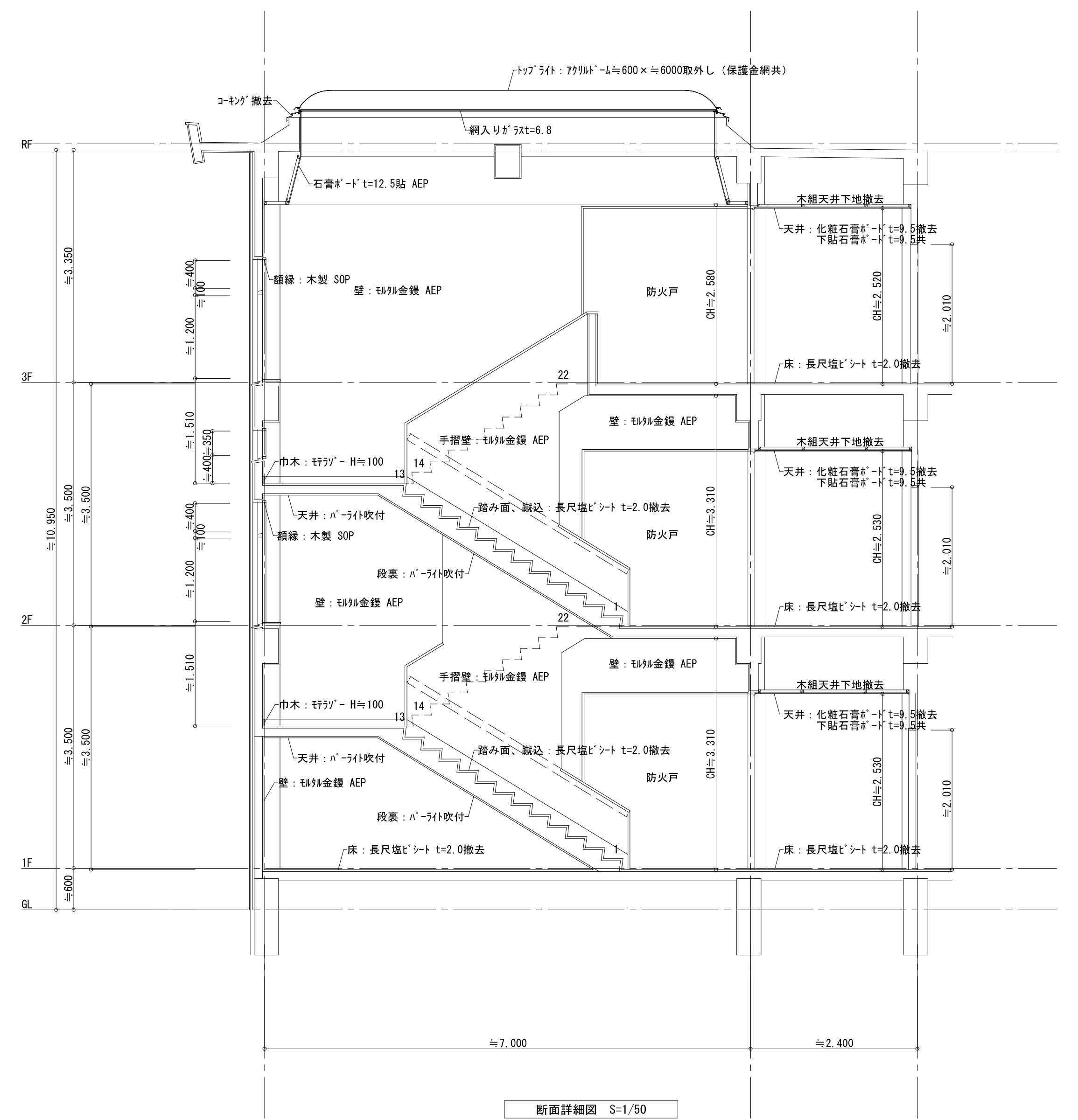
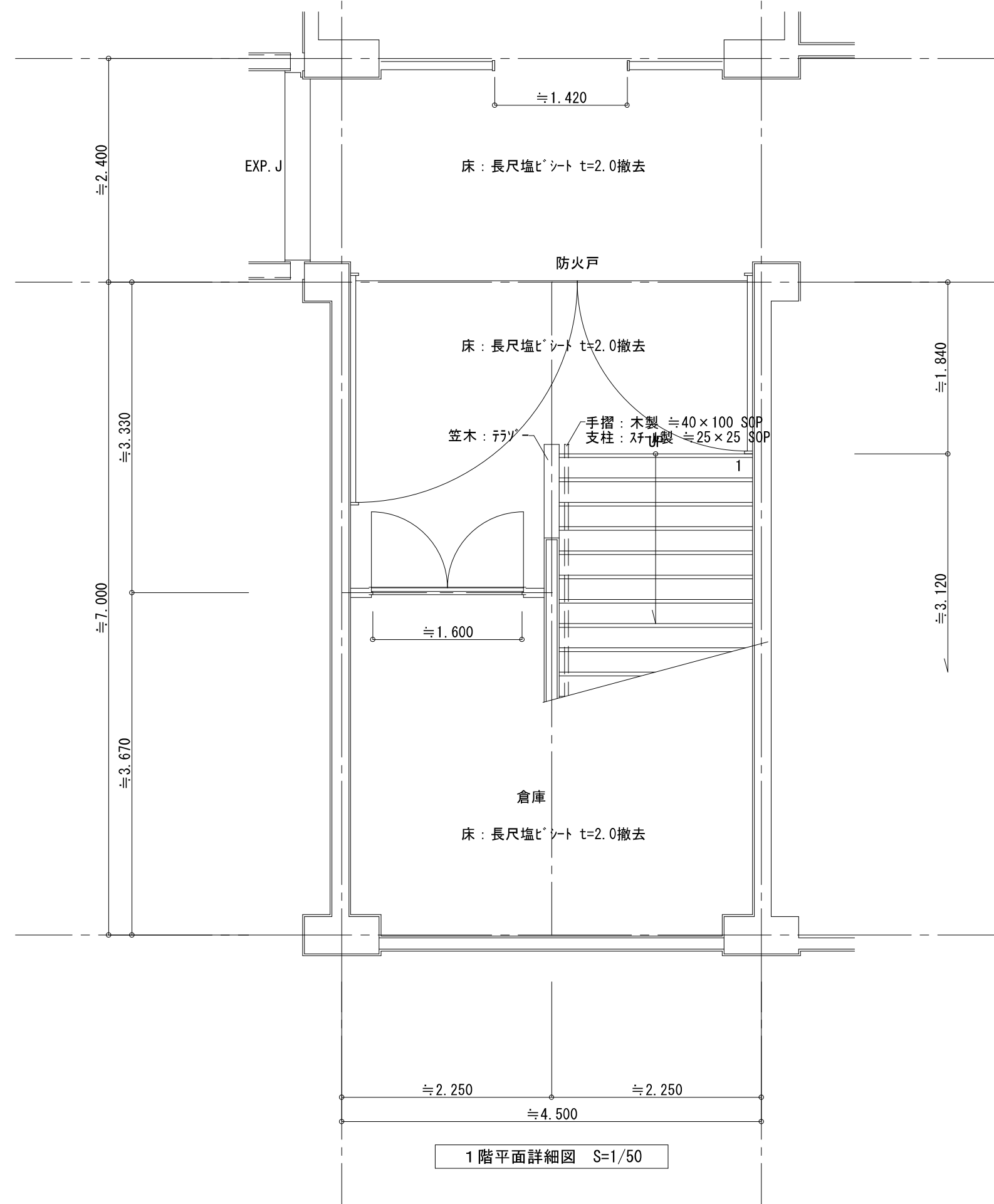
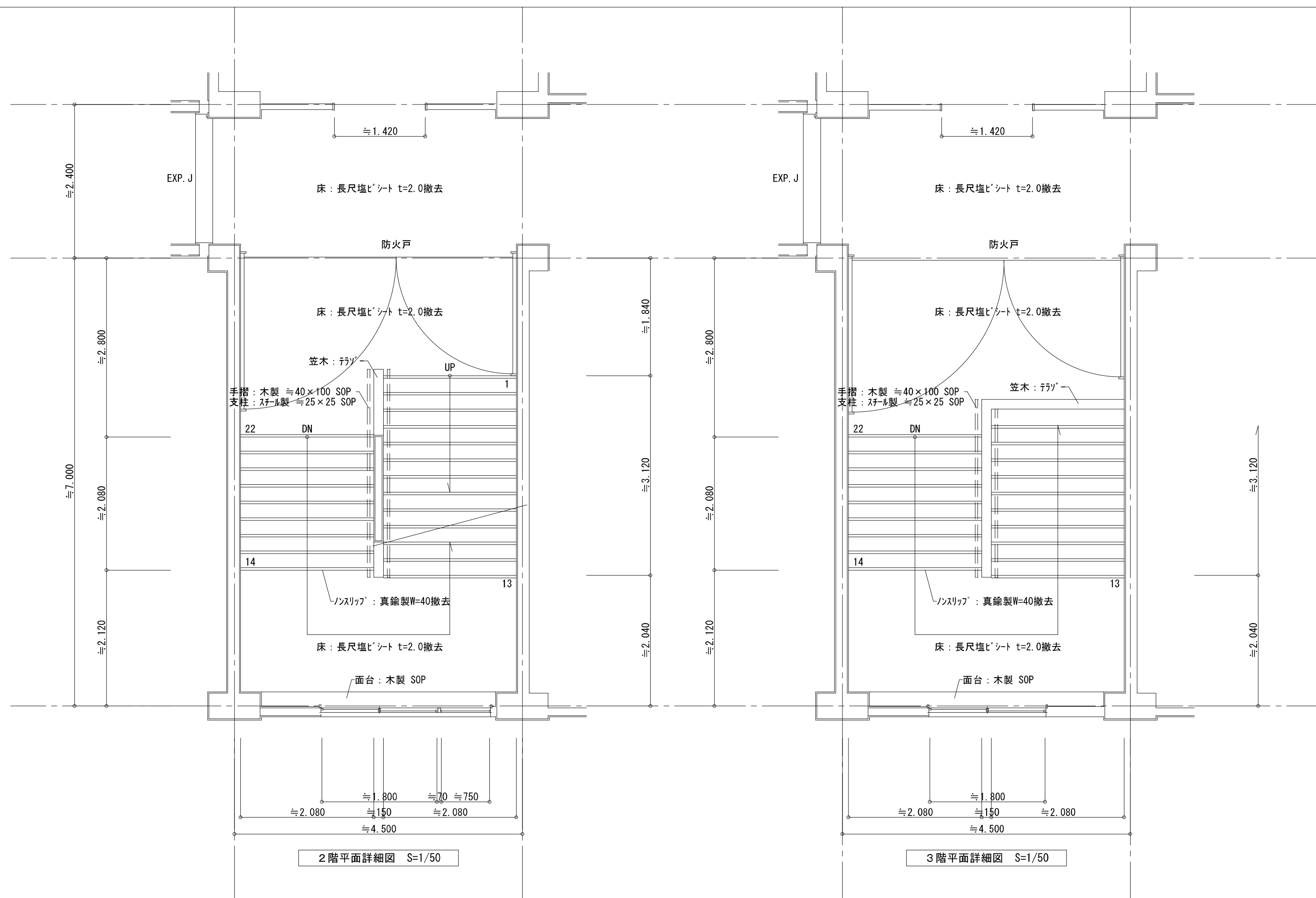
階段詳細図(A棟改修)

縮尺


S=1/50

図面番号

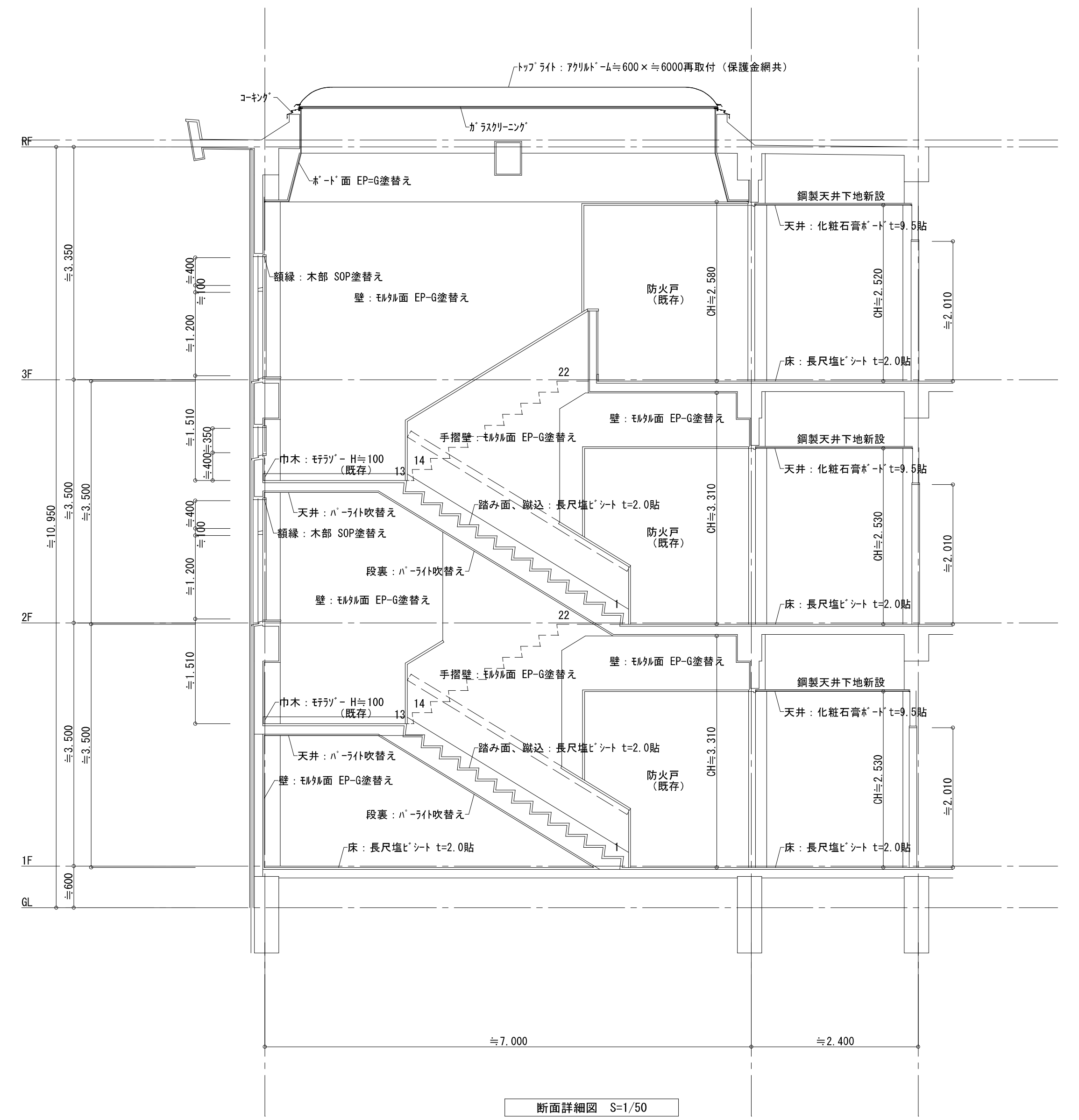
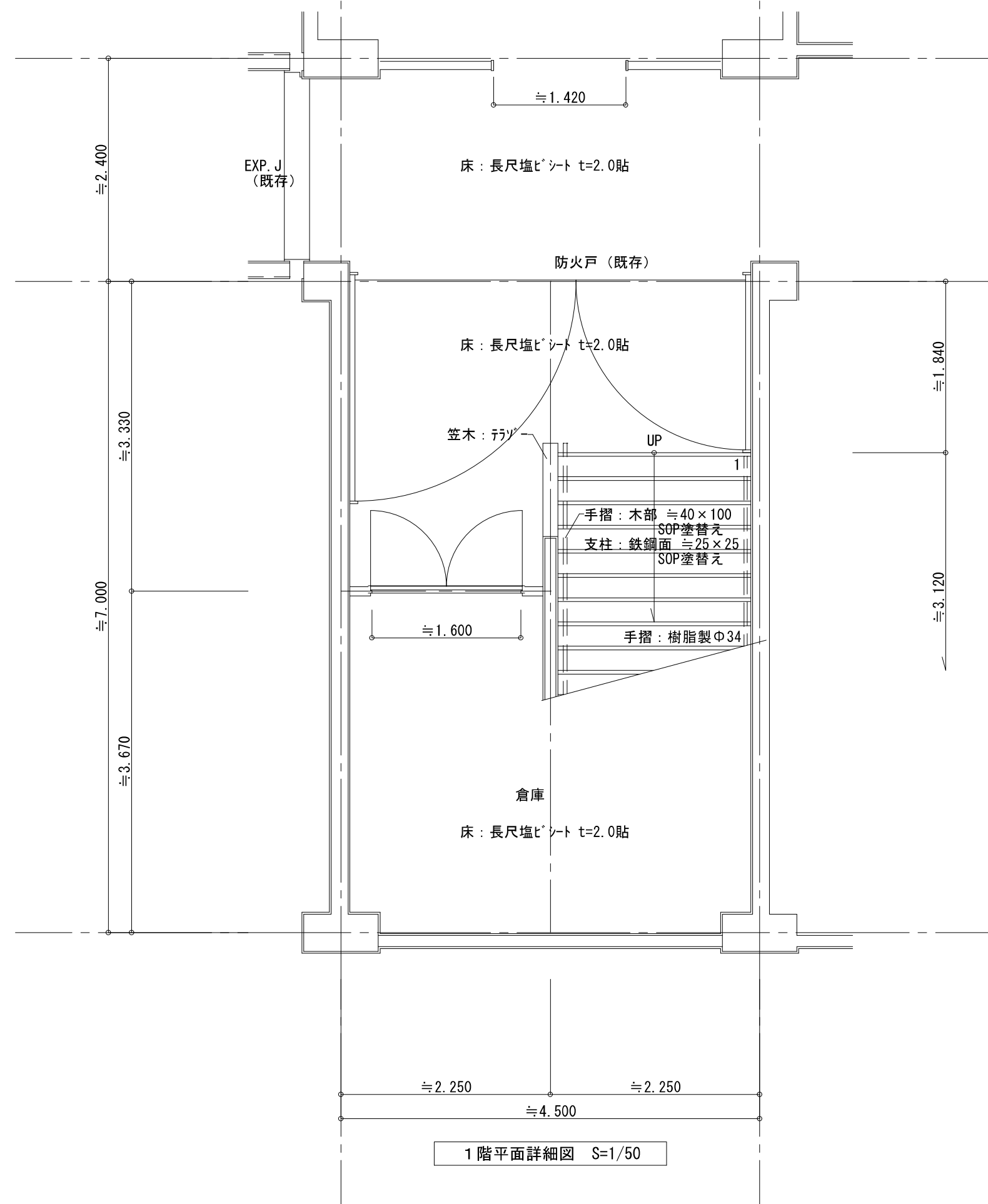
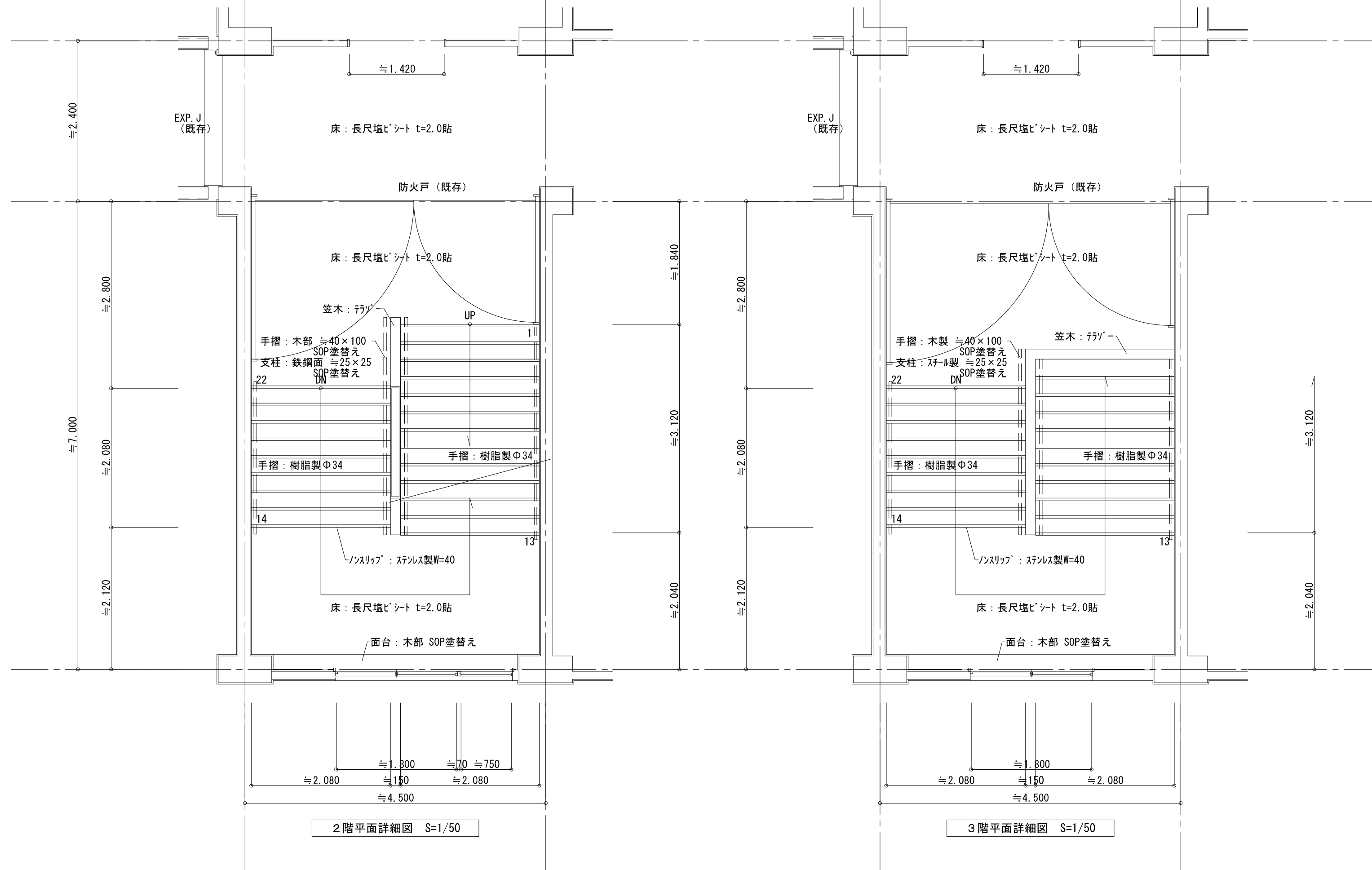
A-26



摘要


ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

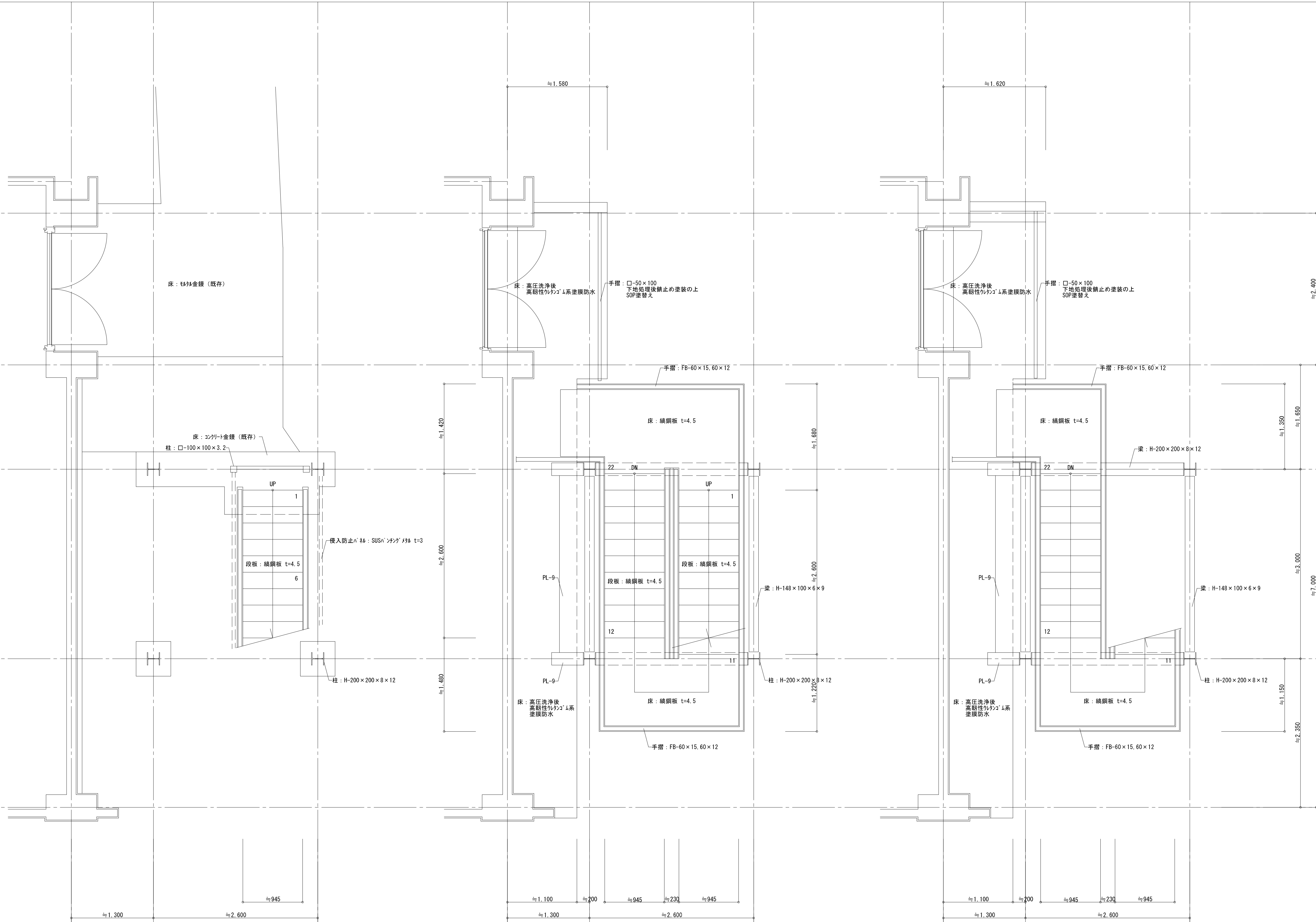
設計年月日	2023/02/28	承認担当	製図	工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)	図面番号	A-27
変更年月日		N.S	T.S	図面名称	階段詳細図(B棟既存)	縮尺	S=1/50



摘要	
----	--

ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2023/02/28	承認担当	製図	工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事 (ゼロ債務)	図面番号	A-28
変更年月日		N.S	T.S	図面名称	階段詳細図 (B棟改修)	縮尺	S=1/50



1階平面詳細図 S=1/30

2階平面詳細図 S=1/30

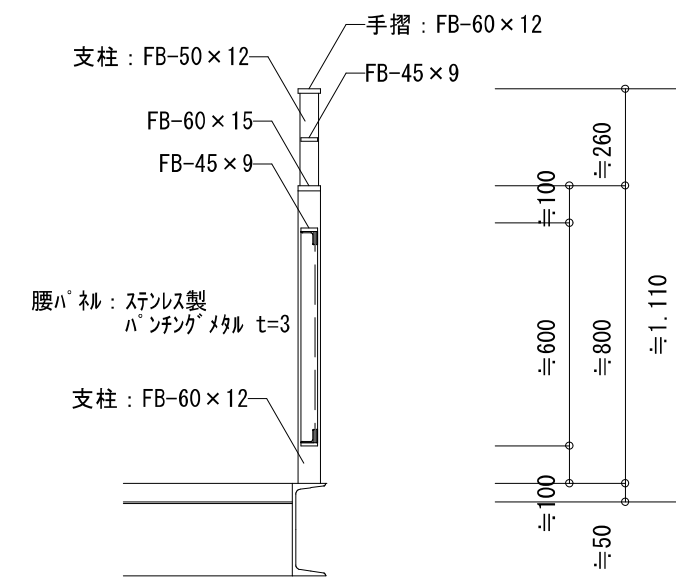
3階平面詳細図 S=1/30

※塗装改修仕様
柱、梁、中筋梁、ブレース
床板、段板、側桁
手摺等の鉄部
下地調整 鉄鋼面 RB種
耐候性塗料塗替え

摘要	

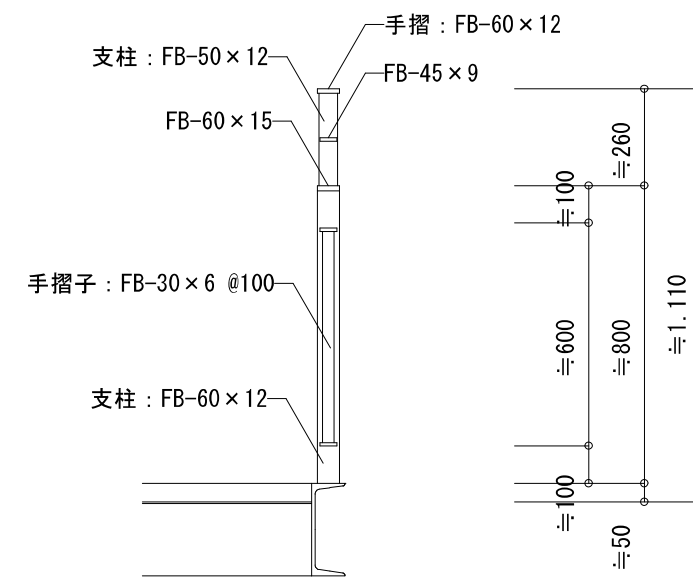
ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2023/02/28	承認担当	製図	工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）	図面番号	A-29
変更年月日		N.S	T.S	図面名称	外階段 平面詳細図	縮尺	S=1/30



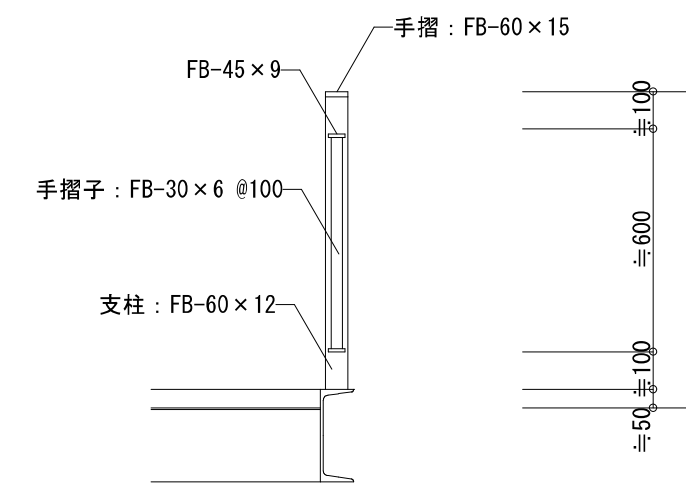
踊り場手摺詳細図 S=1/20

※塗装改修仕様
手摺等の鉄部
下地調整 鉄鋼面 RB種
耐候性塗料塗替え



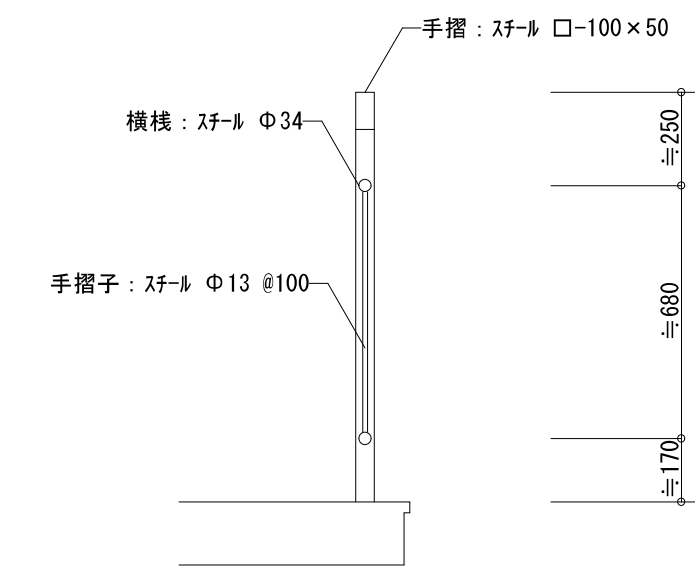
傾斜外手摺詳細図 S=1/20

※塗装改修仕様
手摺等の鉄部
下地調整 鉄鋼面 RB種
耐候性塗料塗替え



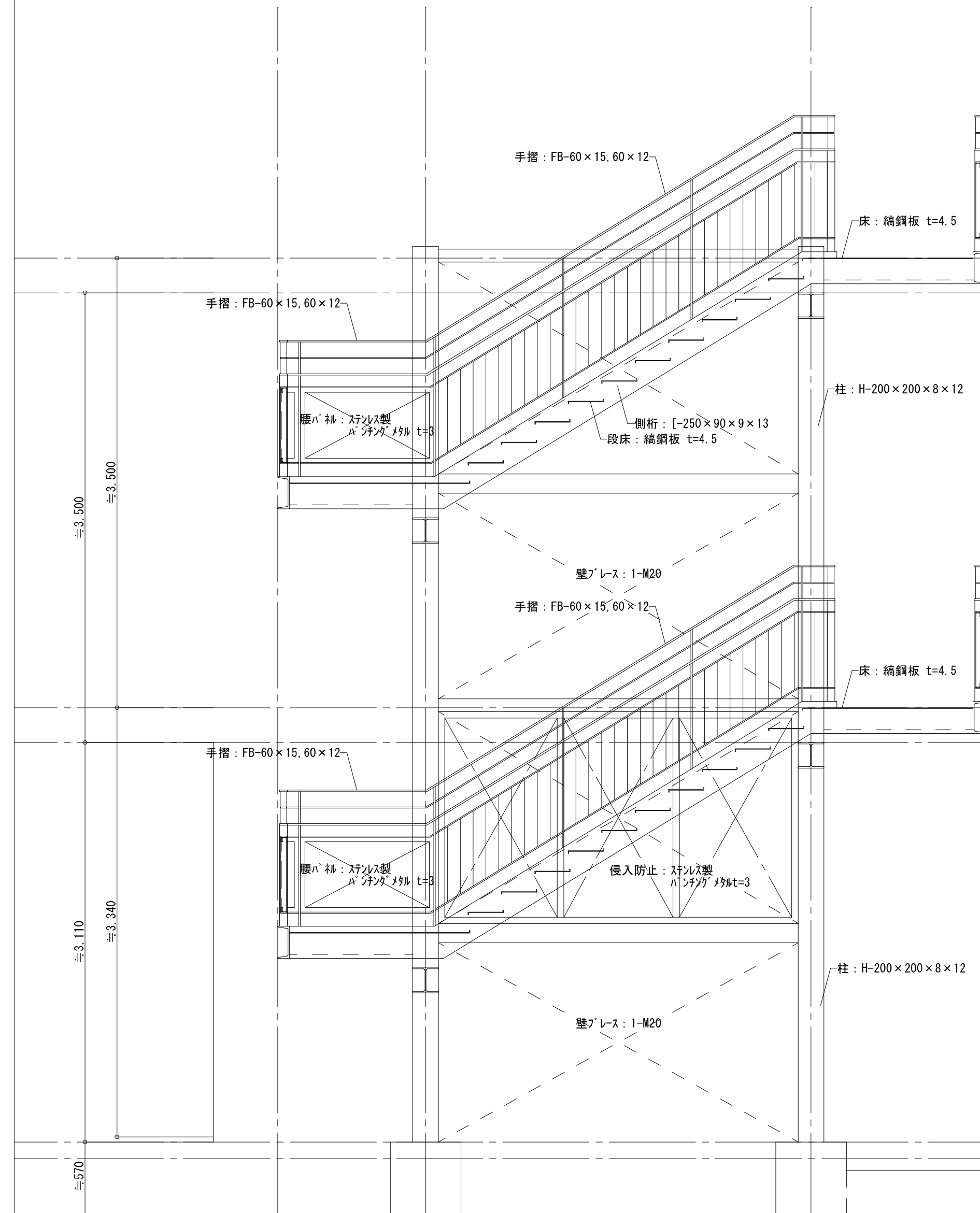
傾斜内手摺詳細図 S=1/20

※塗装改修仕様
手摺等の鉄部
下地調整 鉄鋼面 RB種
耐候性塗料塗替え



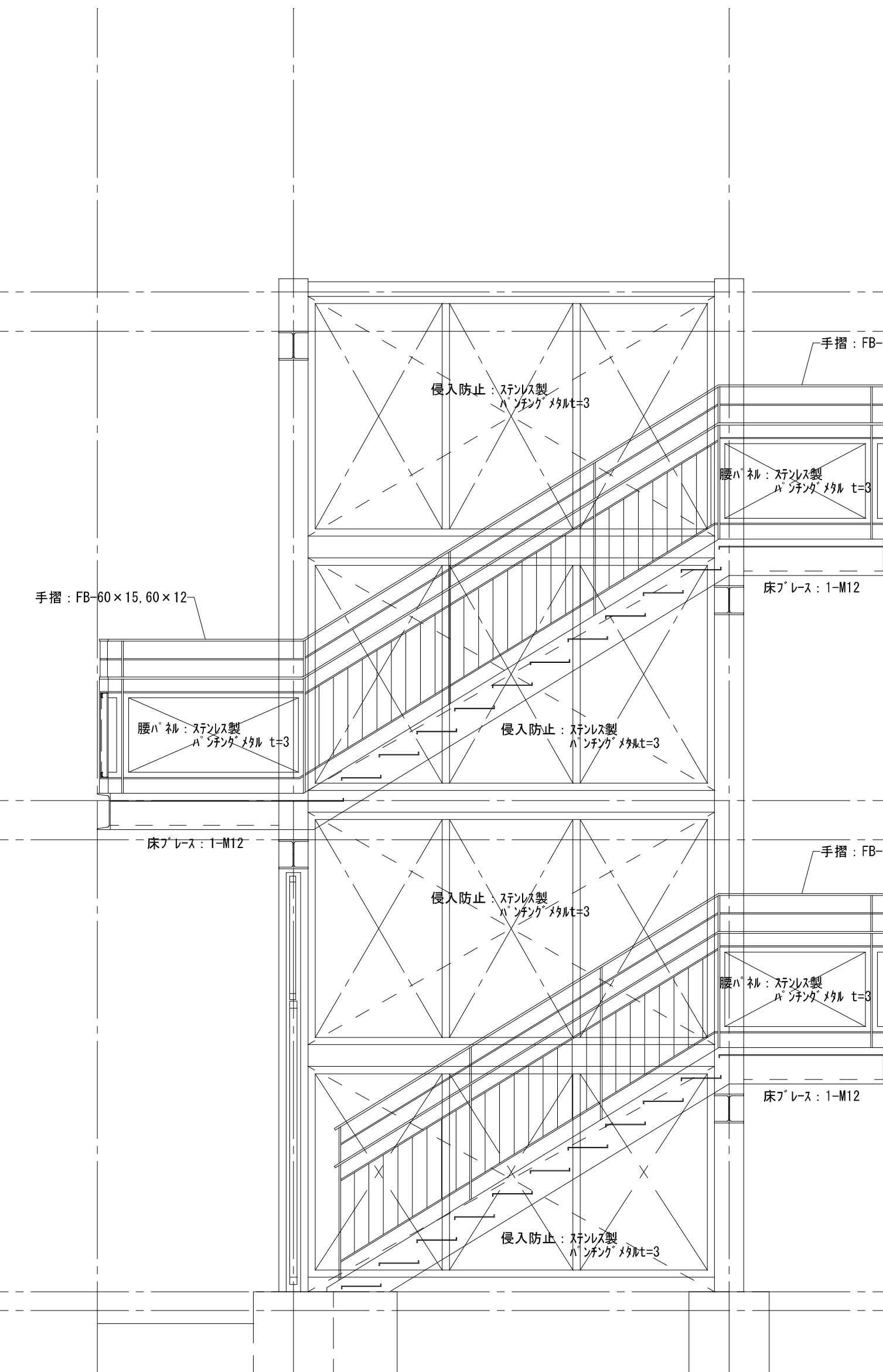
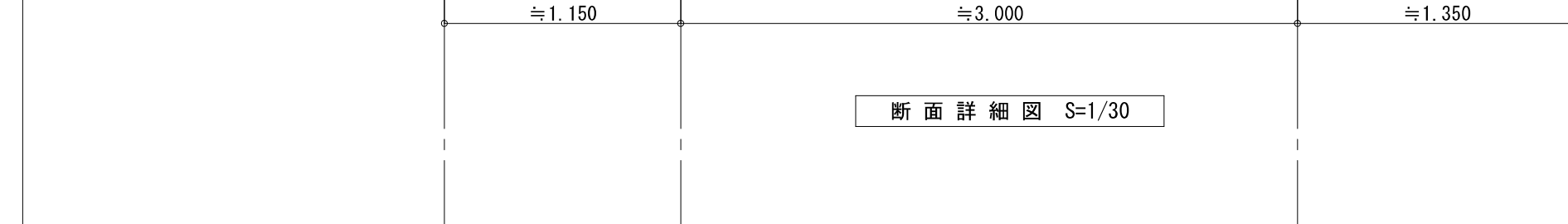
廊下外手摺詳細図 S=1/20

※塗装改修仕様
下地処理後錆止め塗装の上SOP塗替え

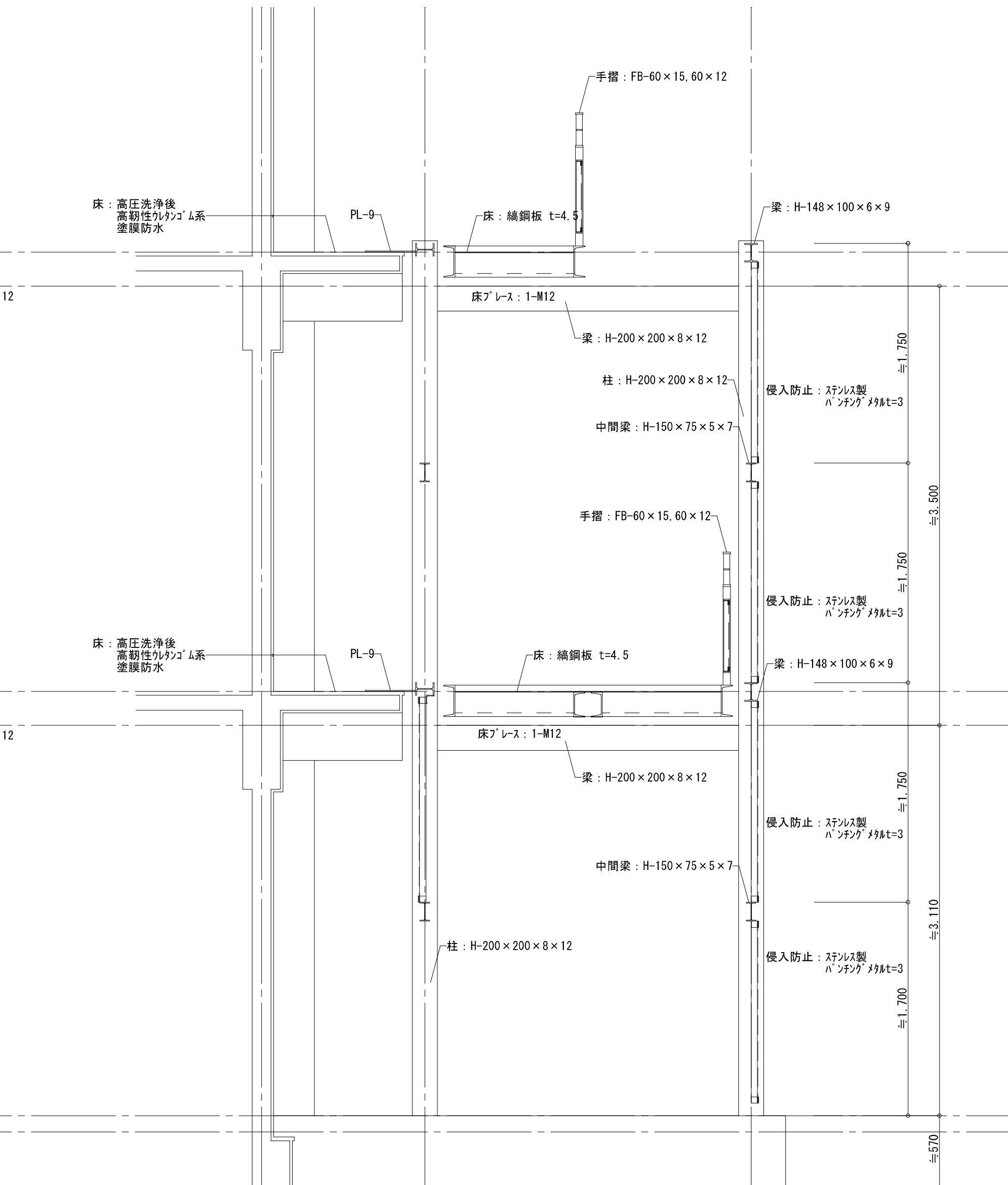


断面詳細図 S=1/30

※塗装改修仕様
柱、梁、中間梁、プレート
床板、段板、側桁
手摺等の鉄部
下地調整 鉄鋼面 RB種
耐候性塗料塗替え

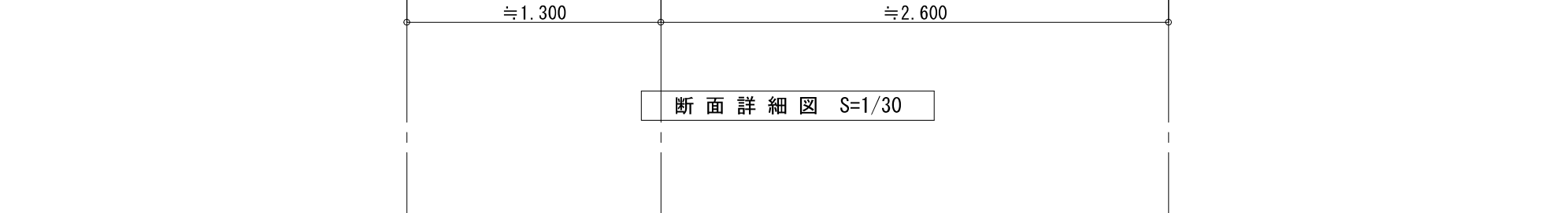


断面詳細図 S=1/30

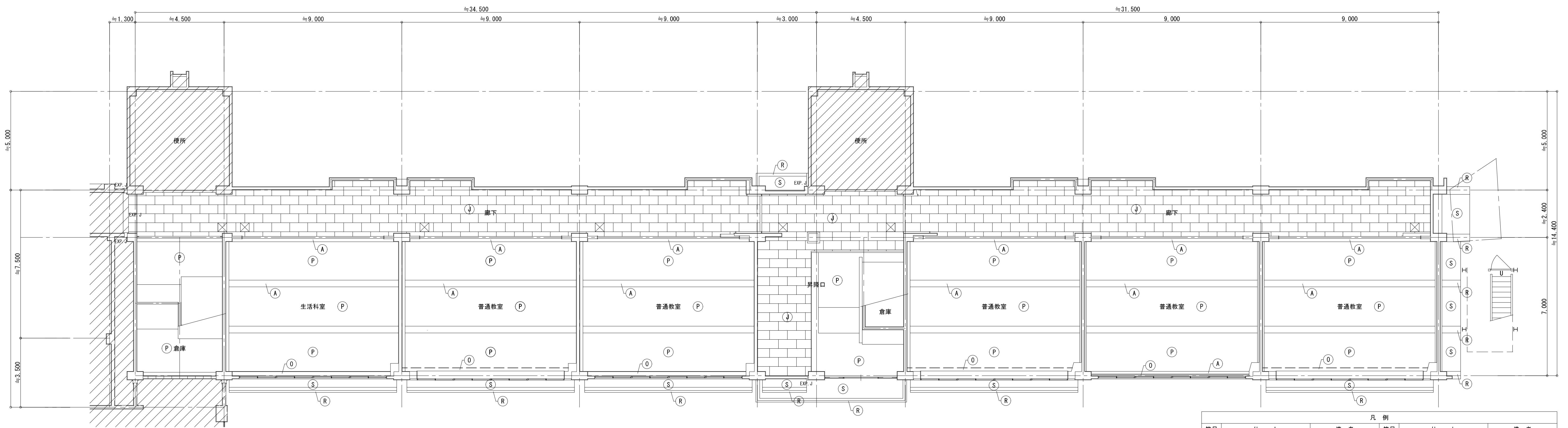


断面詳細図 S=1/30

※塗装改修仕様
柱、梁、中間梁、プレート
床板、段板、側桁
手摺等の鉄部
下地調整 鉄鋼面 RB種
耐候性塗料塗替え



既存



B棟

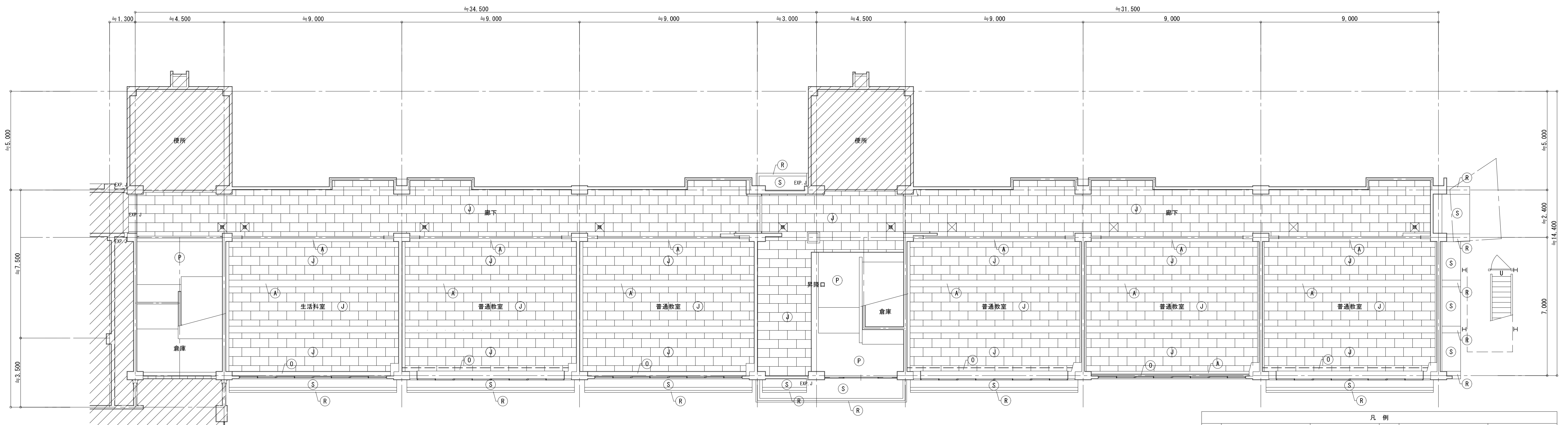
1階天井伏図 S=1/100

斜線部分は工事範囲外を示す

A棟

凡例				
符号	仕上	備考	符号	備考
(J)	化粧石膏板「D」t=9.5撤去	下貼石膏板「D」t=9.5撤去 木龍天井下地撤去	(A)	合成樹脂エポキシ樹脂系 ¹ 塗
(P)	h=54付吹付		(O)	合成樹脂鋼合 ¹ 付吹付
(X)	天井点検口	7A2製 450角	(S)	外装薄塗材E吹付
			(R)	複層塗材E吹付

改修



B棟

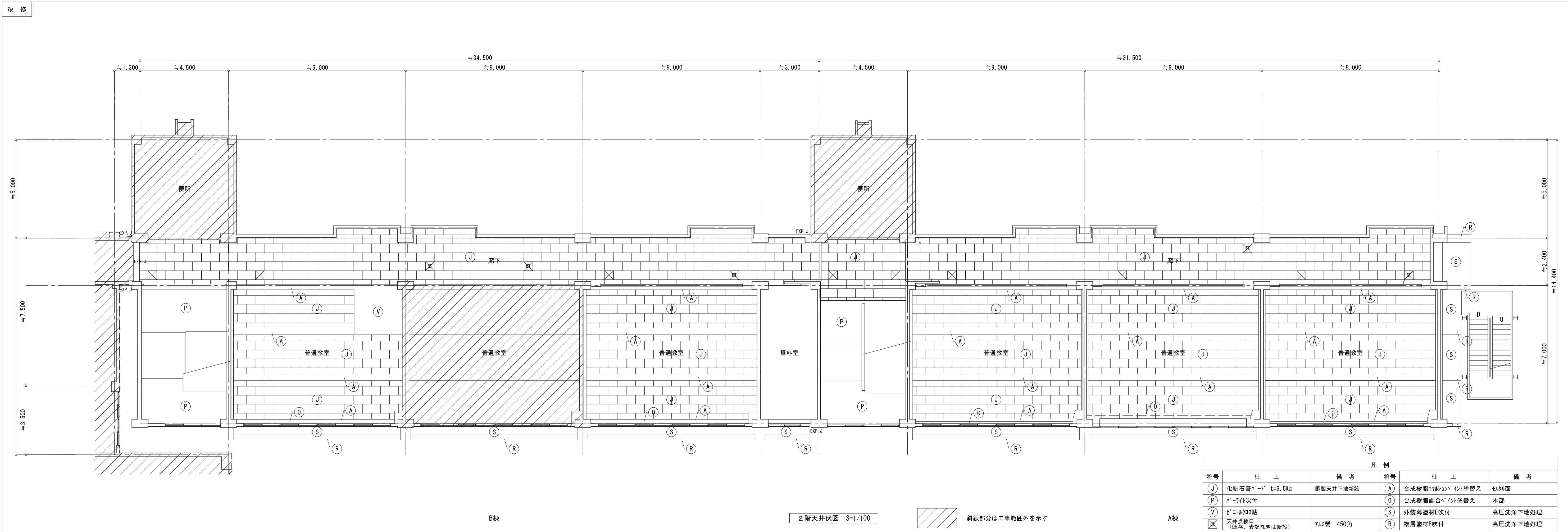
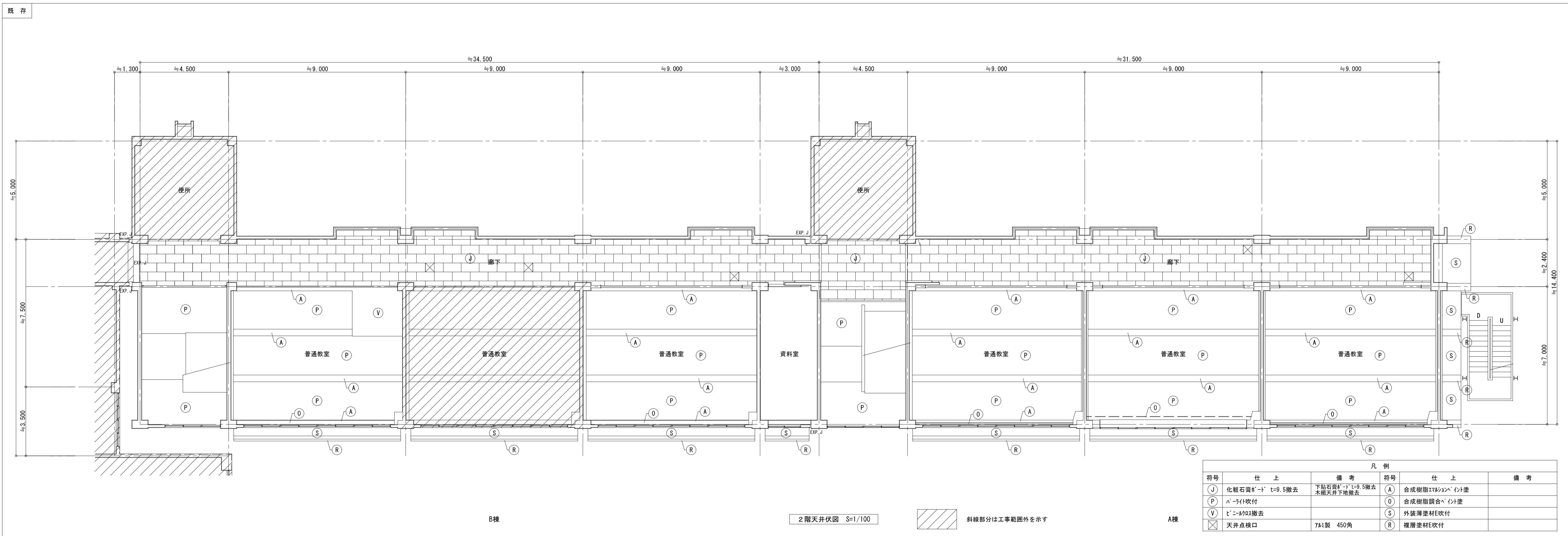
1階天井伏図 S=1/100

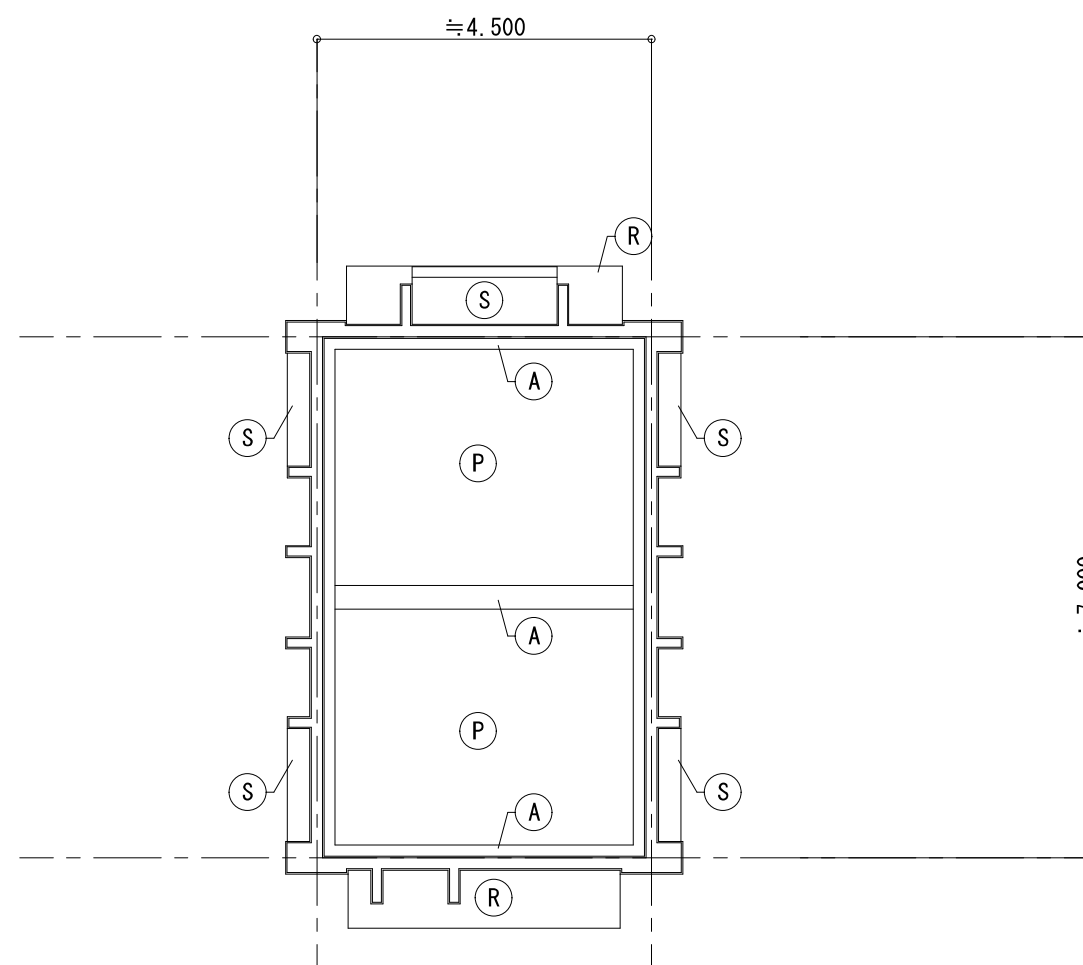
斜線部分は工事範囲外を示す

A棟

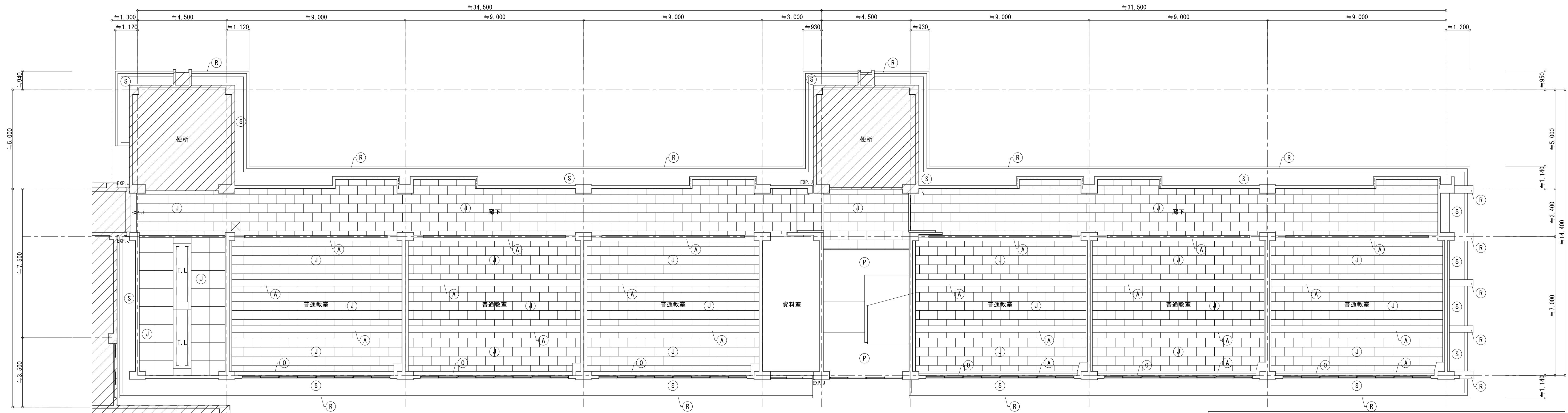
凡例				
符号	仕上	備考	符号	備考
(J)	化粧石膏板「D」t=9.5貼	鋼製天井下地新設	(A)	合成樹脂エポキシ樹脂系 ¹ 塗替え 砂目面
(P)	h=54付吹付		(O)	合成樹脂鋼合 ¹ 付吹替え 木部
(X)	天井点検口 (既存)	7A2製 450角	(S)	外装薄塗材吹付 高圧洗浄下地処理
(X)	天井点検口 (新設)	7A2製 450角	(R)	複層塗材E吹付 高圧洗浄下地処理

摘要





塔屋天井伏図 S=1/100



3階天井伏図 S=1/100

斜線部分工事範囲外を示す

凡例				
符号	仕上	備考	符号	備考
J	化粧石膏板・t=9.5撤去	下貼石膏板・t=9.5撤去 木根天井下地撤去	A	合成樹脂エポキシペイント塗
P	h=5吹付		O	合成樹脂調合ペイント塗
☒	天井点検口	7&2製 450角	S	外装薄塗材E吹付
			R	複層塗材E吹付

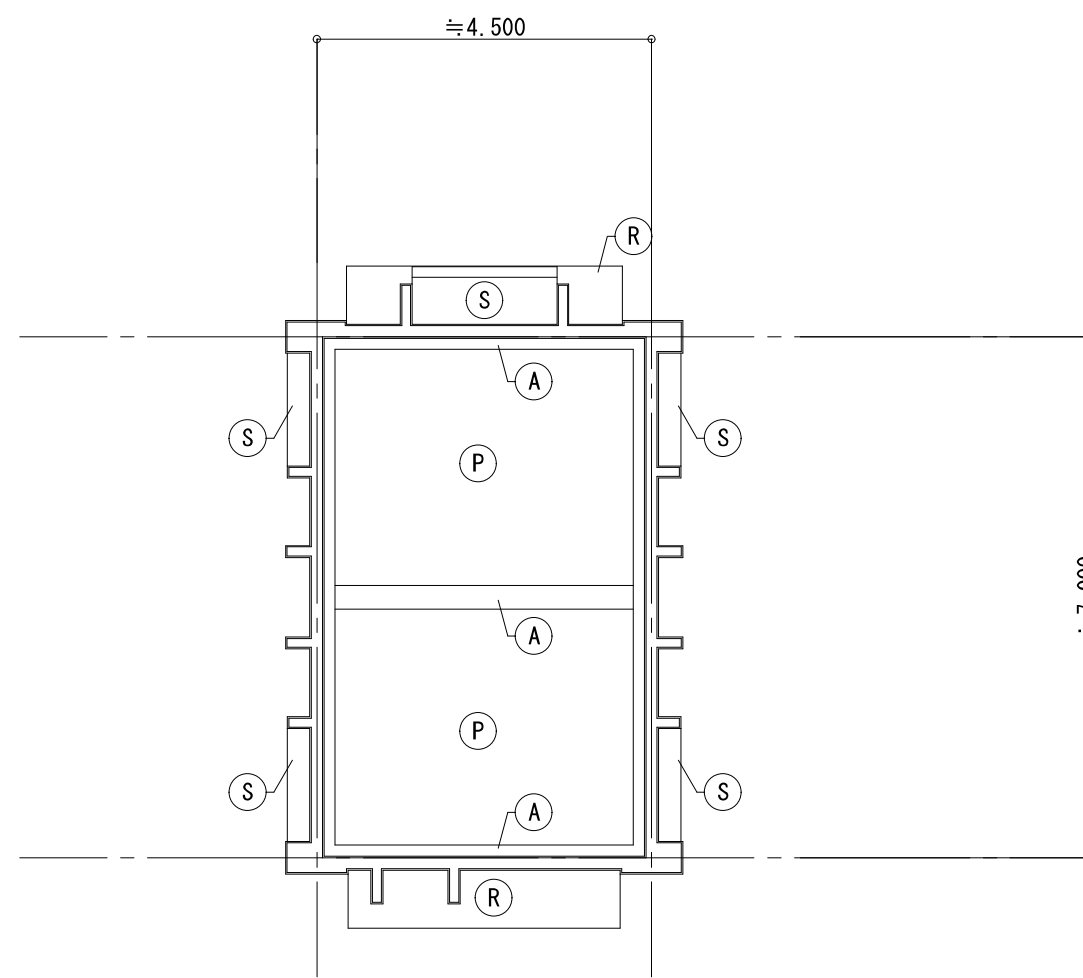
摘要

ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

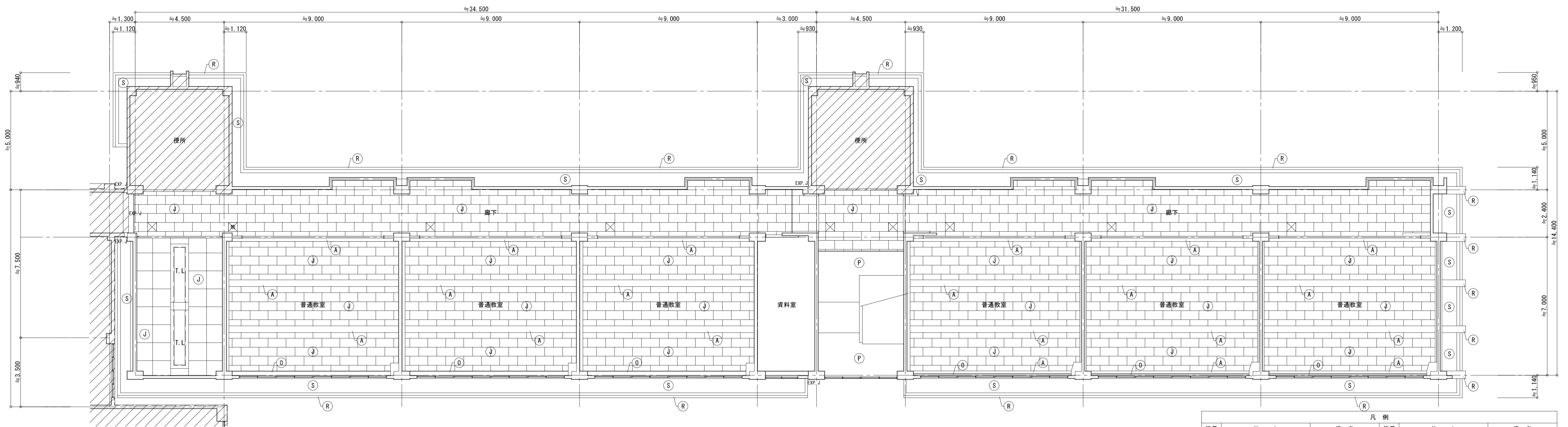
設計年月日 2023/02/28
 変更年月日

承認担当製図 工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)
 N.S T.S T.S 図面名称 北校舎3階・塔屋天井伏図(既存) 縮尺 S=1/100

図面番号 A-33



塔屋天井伏図 S=1/100



B棟


3階天井伏図 S=1/100

斜線部分は工事範囲外を示す

A棟

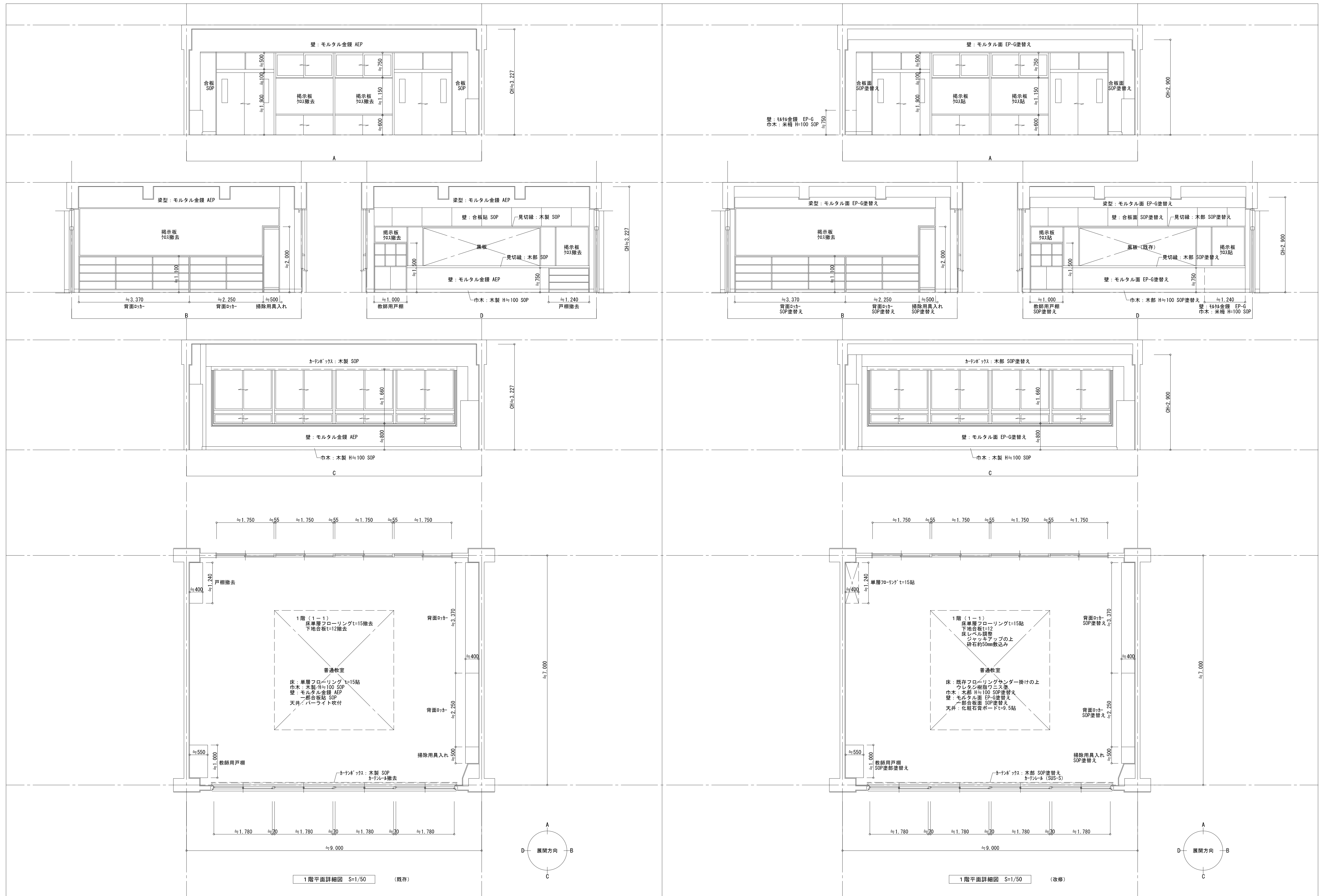
凡例				
符号	仕上	備考	符号	備考
Ⓧ	化粧石膏板「t」t=9.5貼	鋼製天井地下断設	ⓐ	合成樹脂エポキシ樹脂塗替え 砂目面
Ⓧ	h-5吹付		ⓐ	合成樹脂調合ペイント塗替え 木部
Ⓧ	天井点検口 (既存)	7A製 450角	ⓐ	外装薄塗材吹付
Ⓧ	天井点検口 (新設)	7A製 450角	ⓐ	複層塗材吹付
			ⓐ	高圧洗浄下地処理
			ⓐ	高圧洗浄下地処理

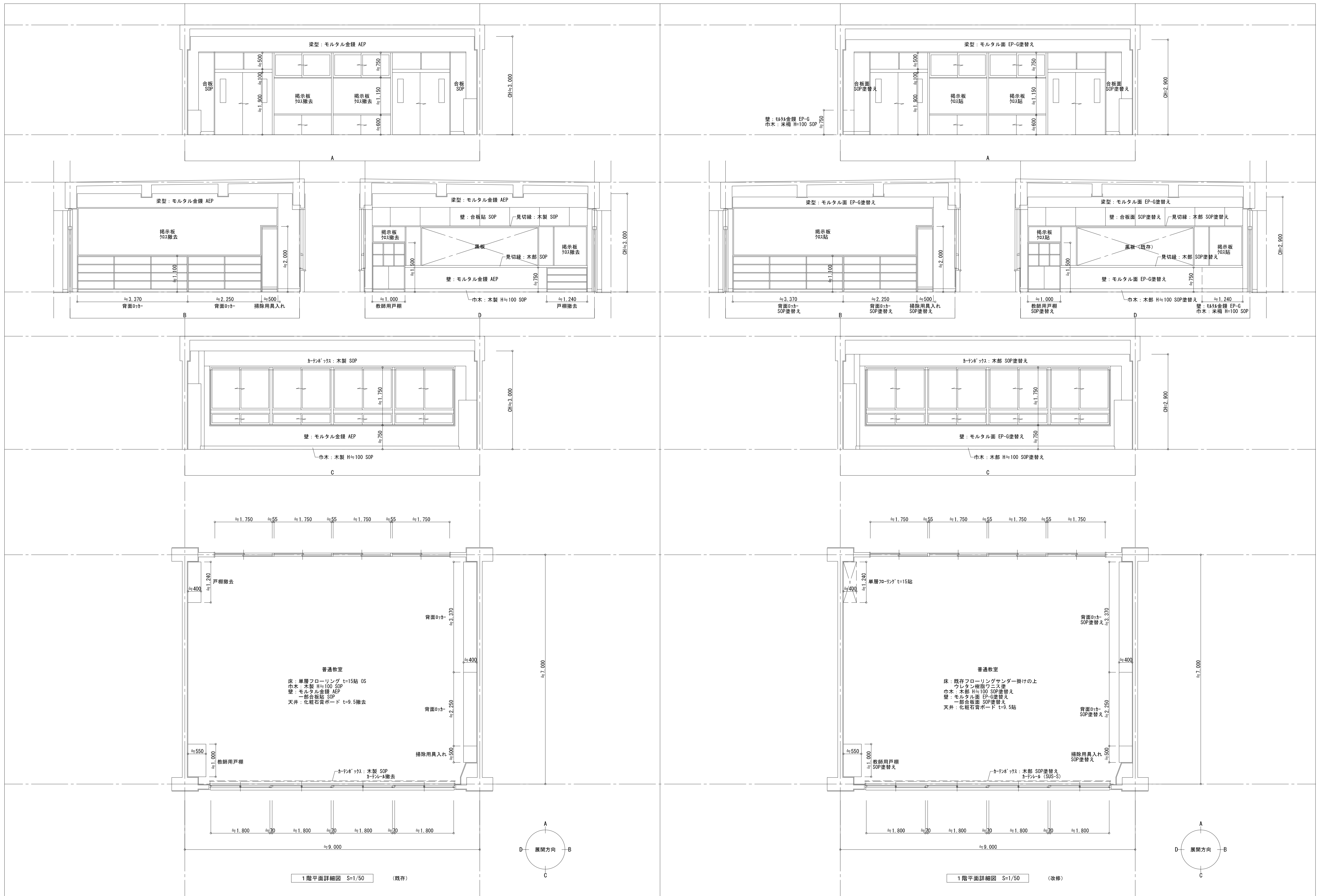
摘要


ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

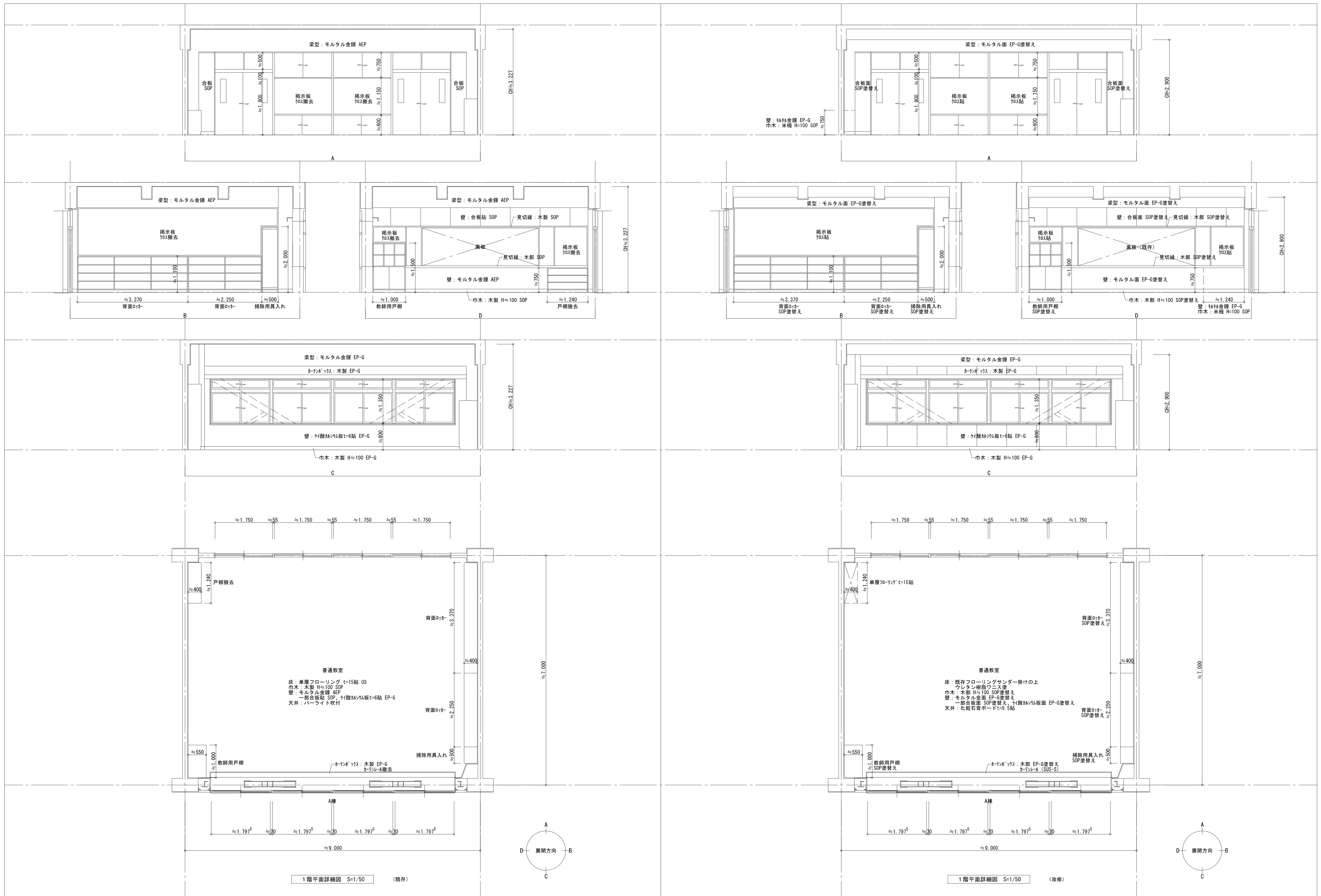
設計年月日 2023/02/28
 変更年月日

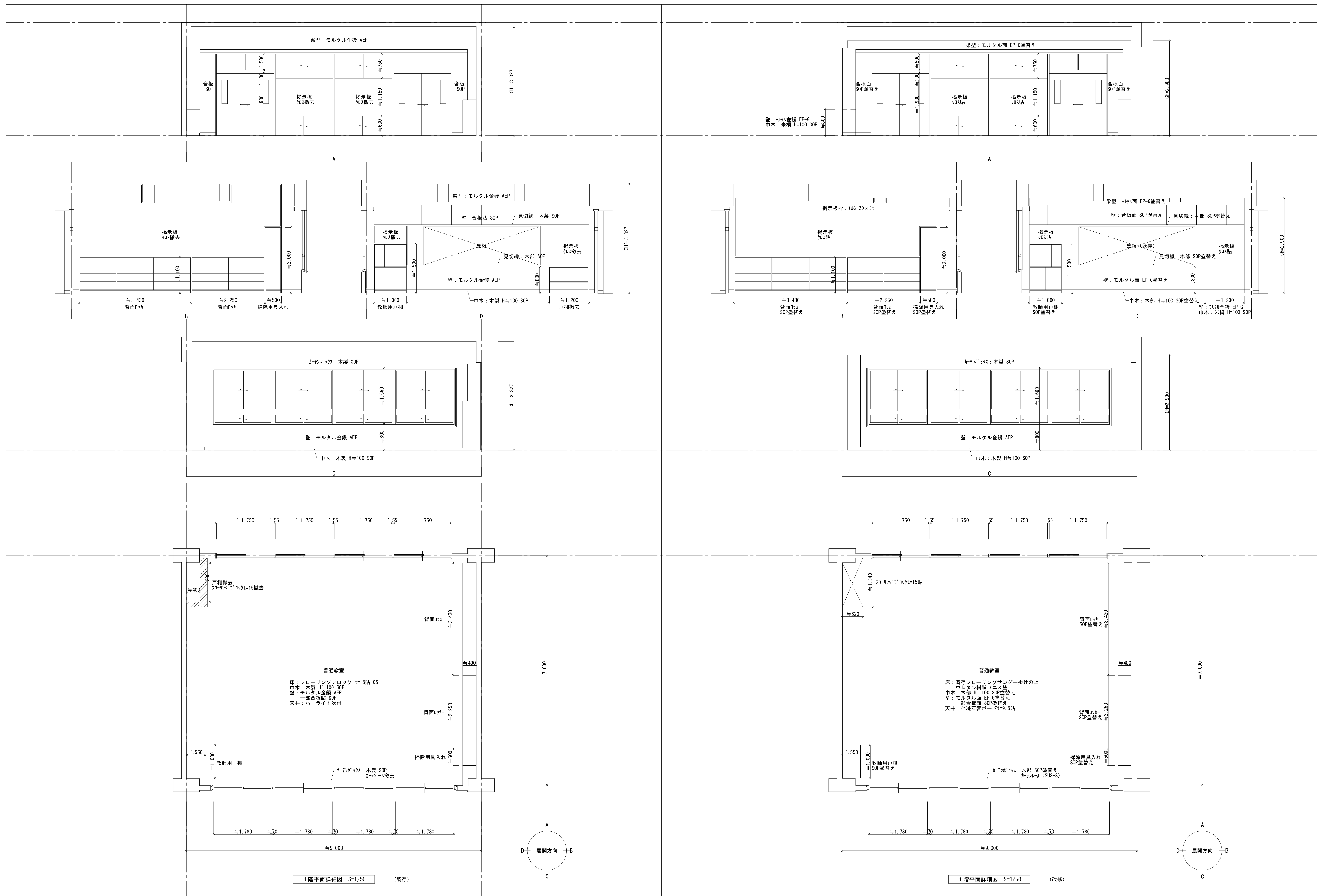
承認担当製図 工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事 (ゼロ債務)
 N.S T.S T.S 図面名称 北校舎3階・塔屋天井伏図 (改修) 縮尺 S=1/100
 図面番号 **A-34**




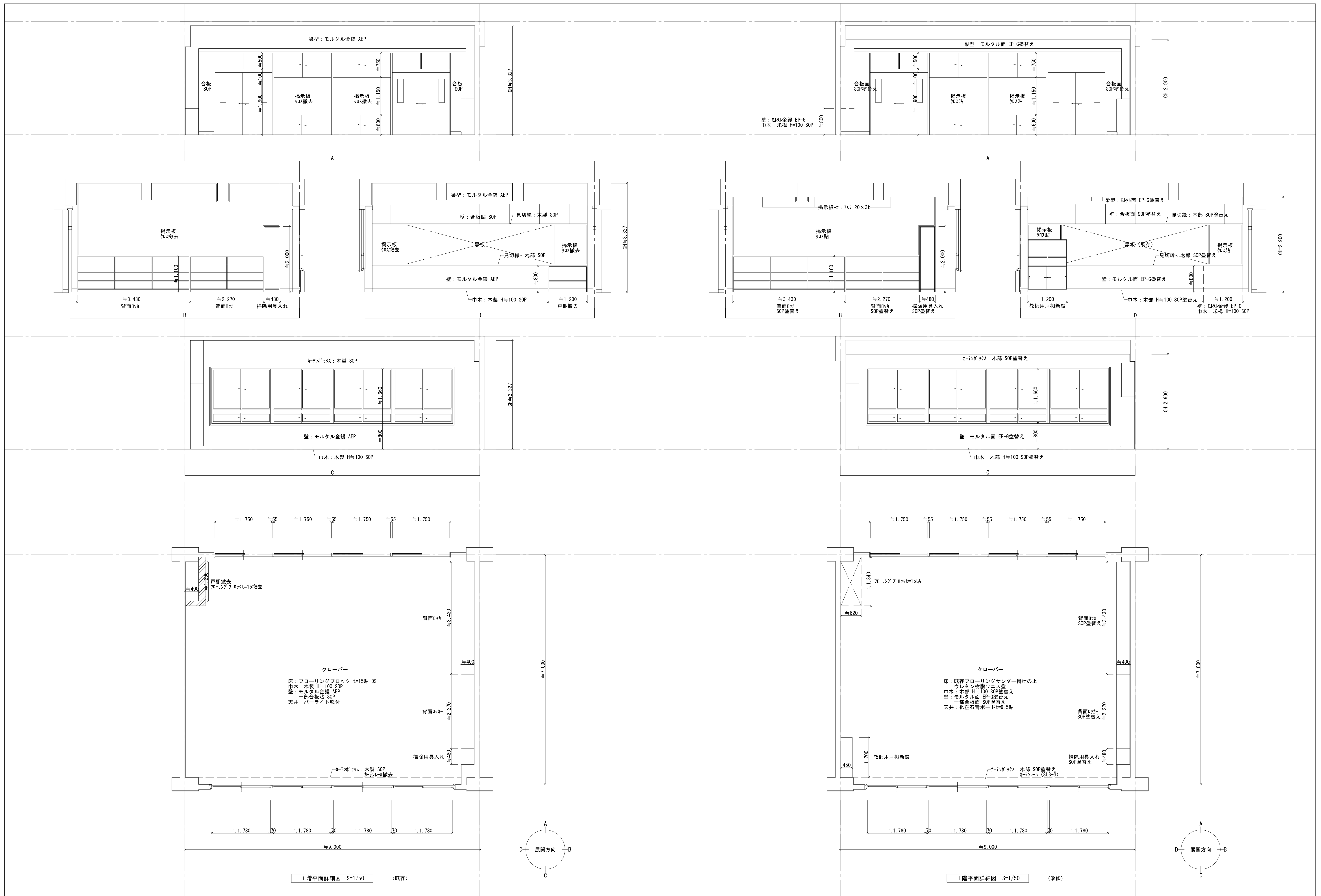


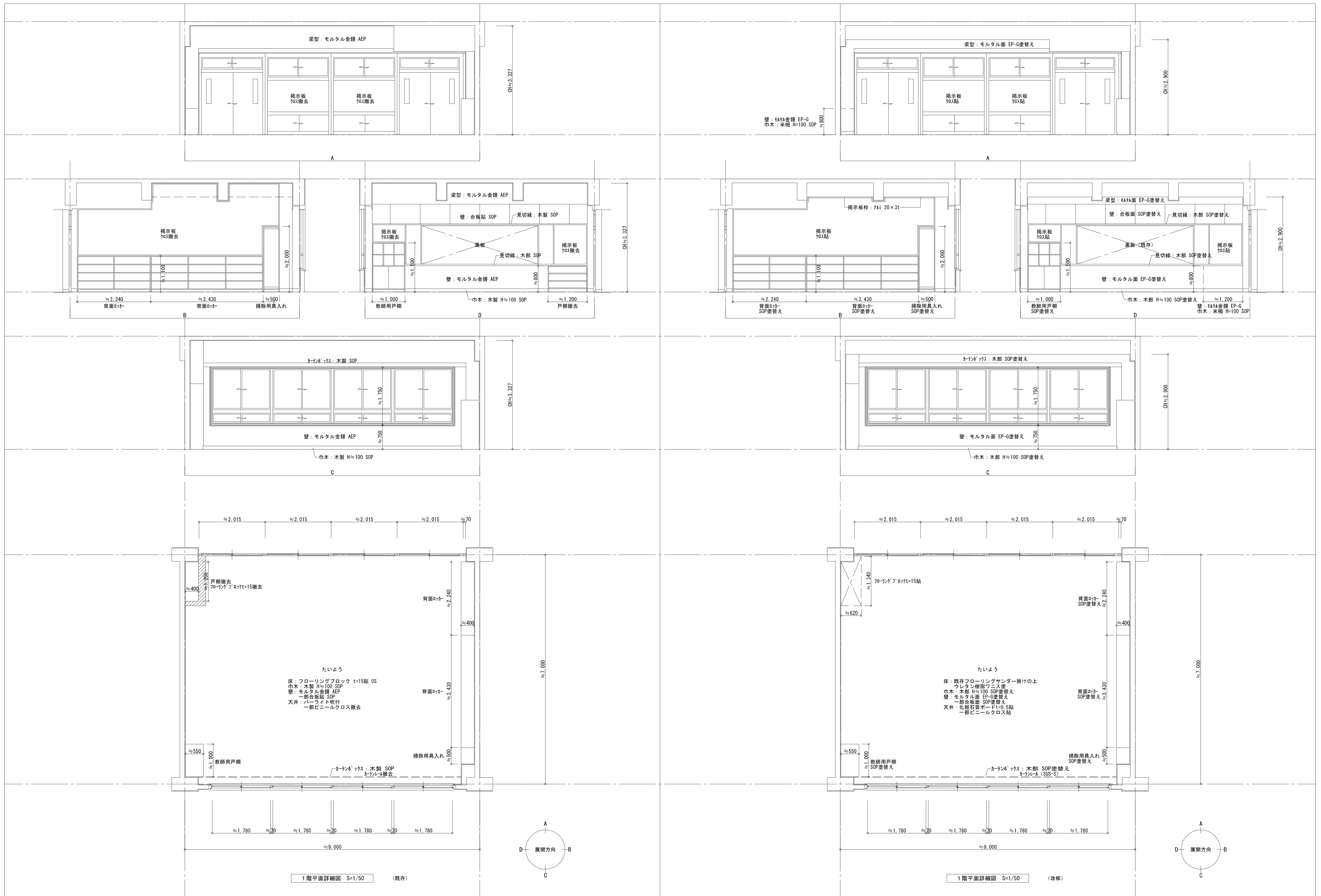
摘要	設計年月日 2023/02/28	承認担当製図 N.S. T.S. T.S.	工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）	図面番号	A-36
			変更年月日	普通教室平面詳細・展開図（A棟3階）	縮尺 S=1/50	
ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆						

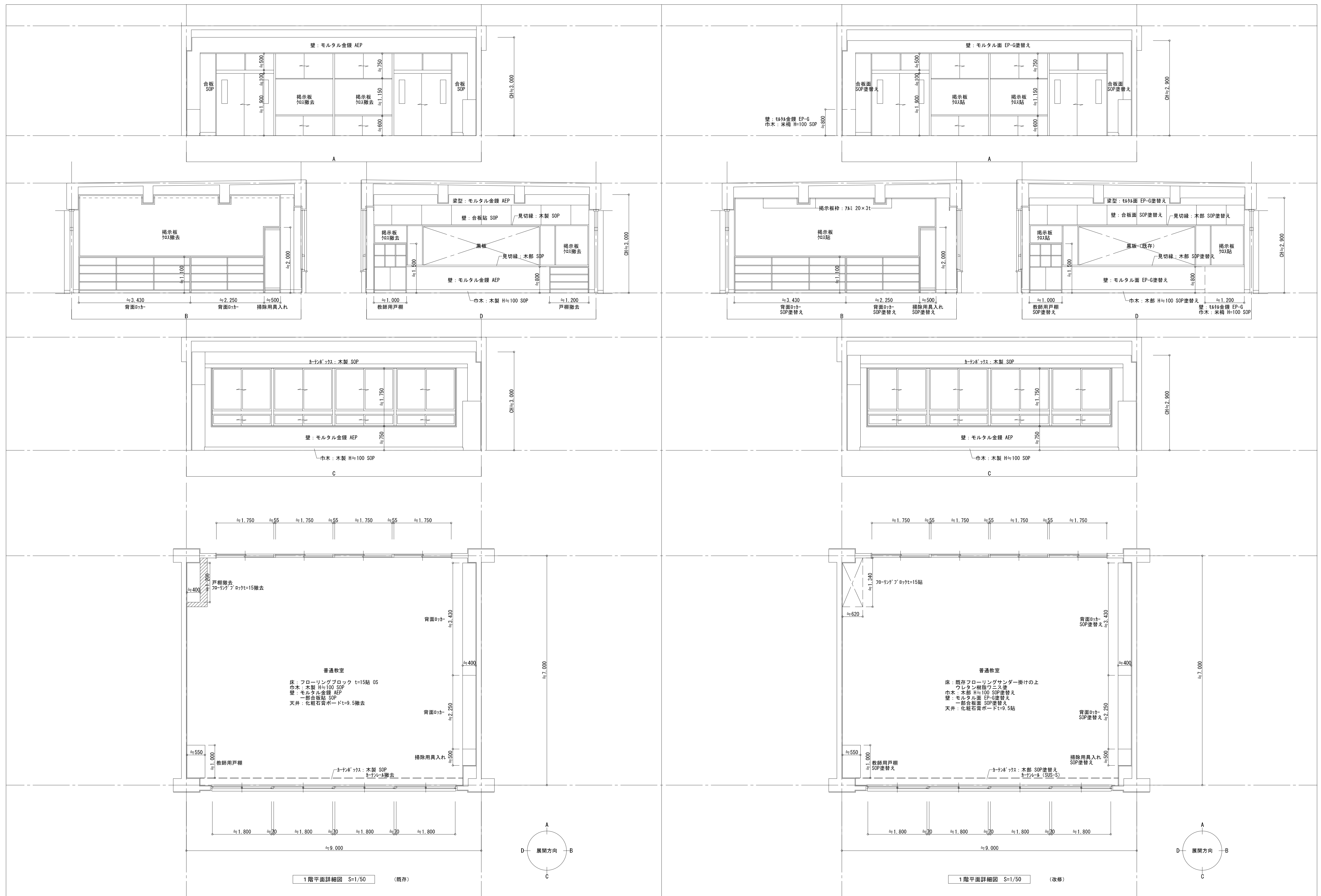




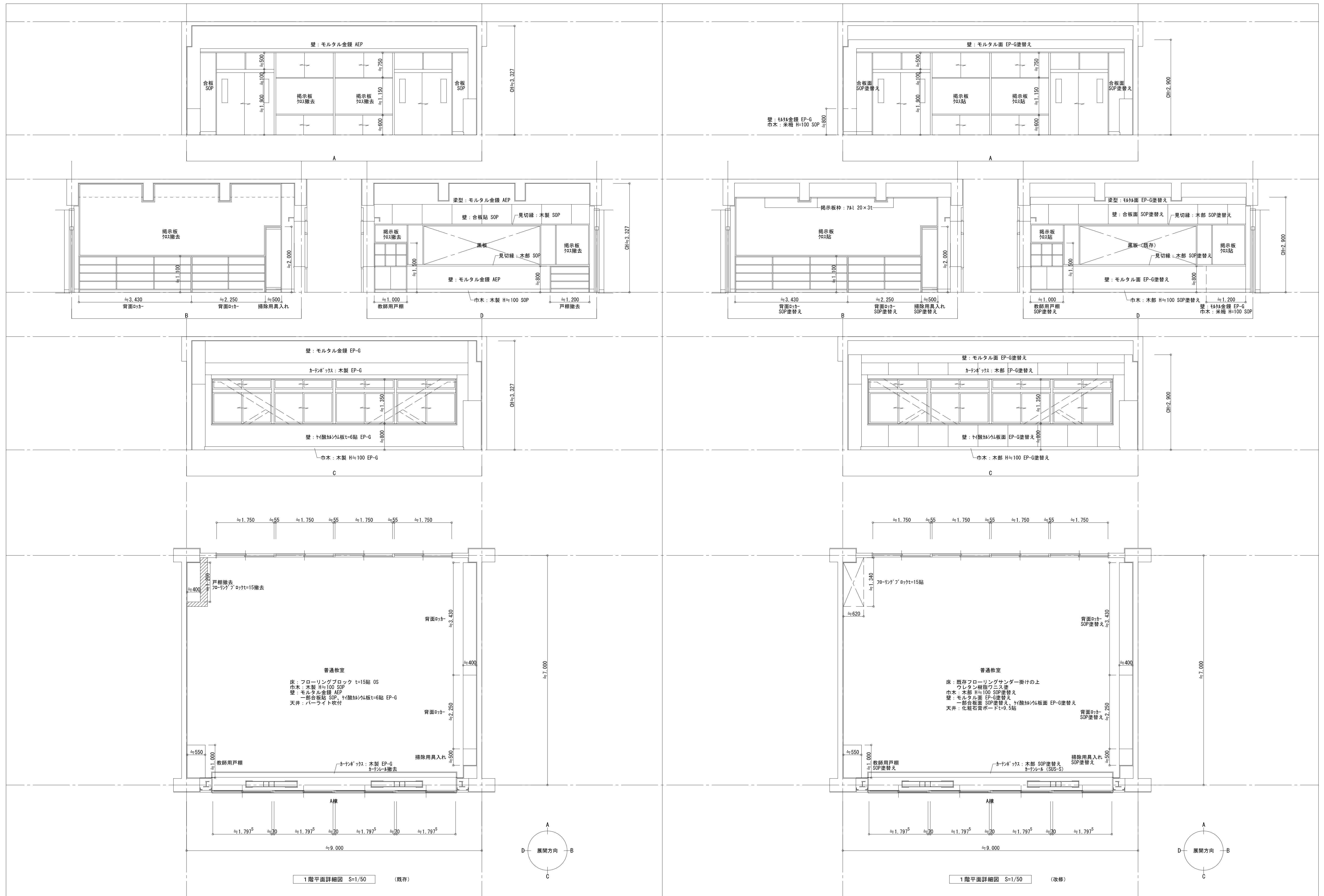
摘要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2023/02/28	承認担当製図	N.S. T.S. T.S.	工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）	図面番号	A-38
		変更年月日		図面名称	普通教室平面詳細・展開図（B棟1・2階）	縮尺	S=1/50		

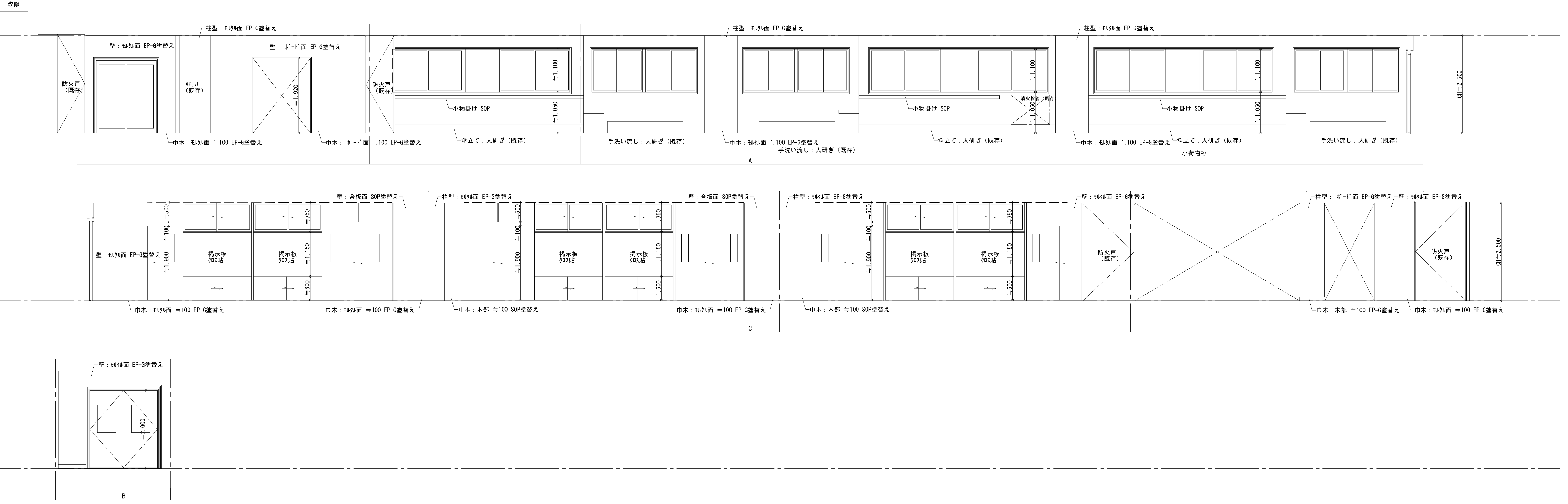
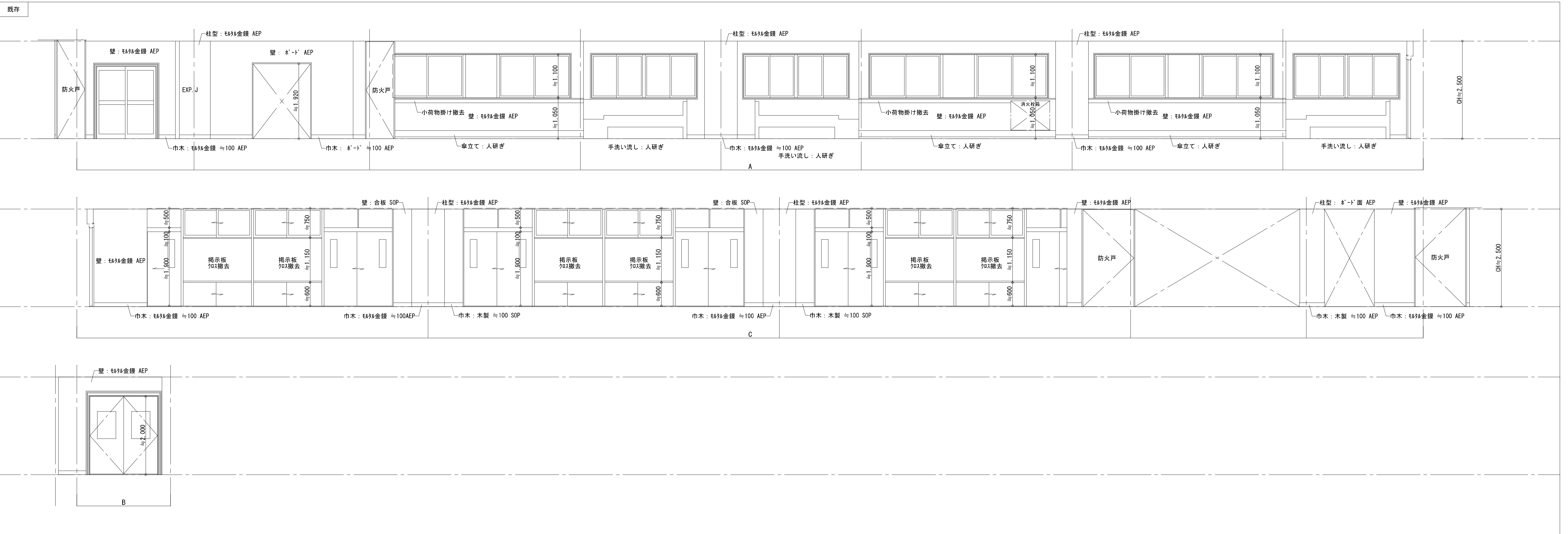




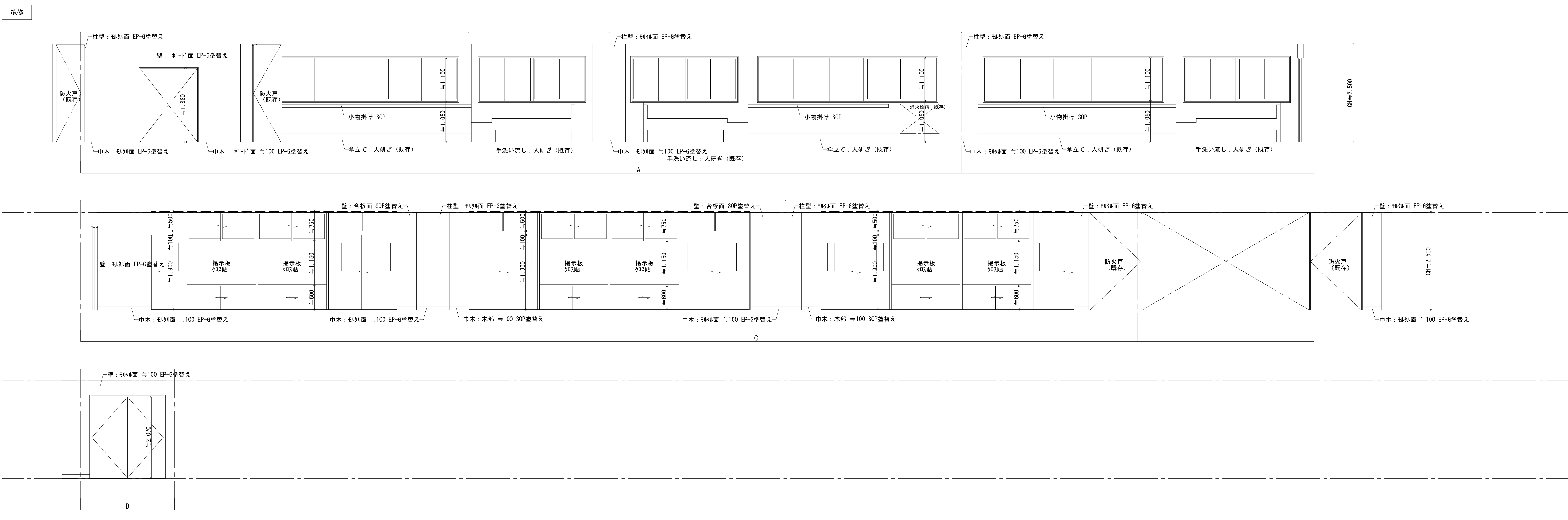
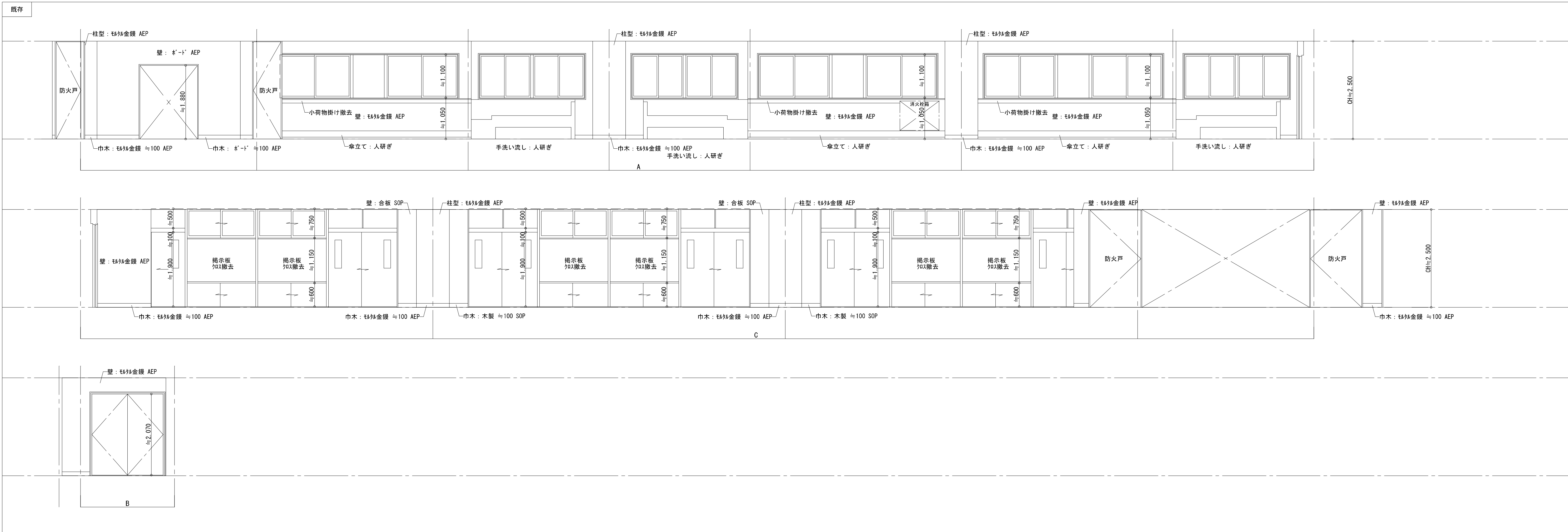


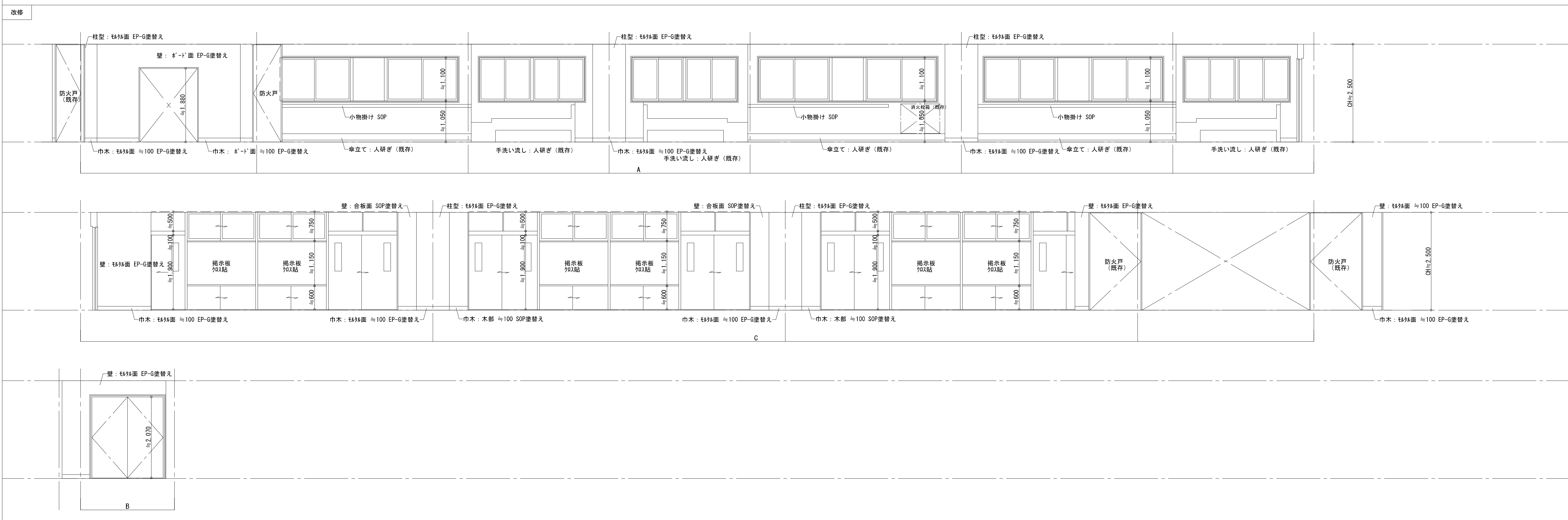
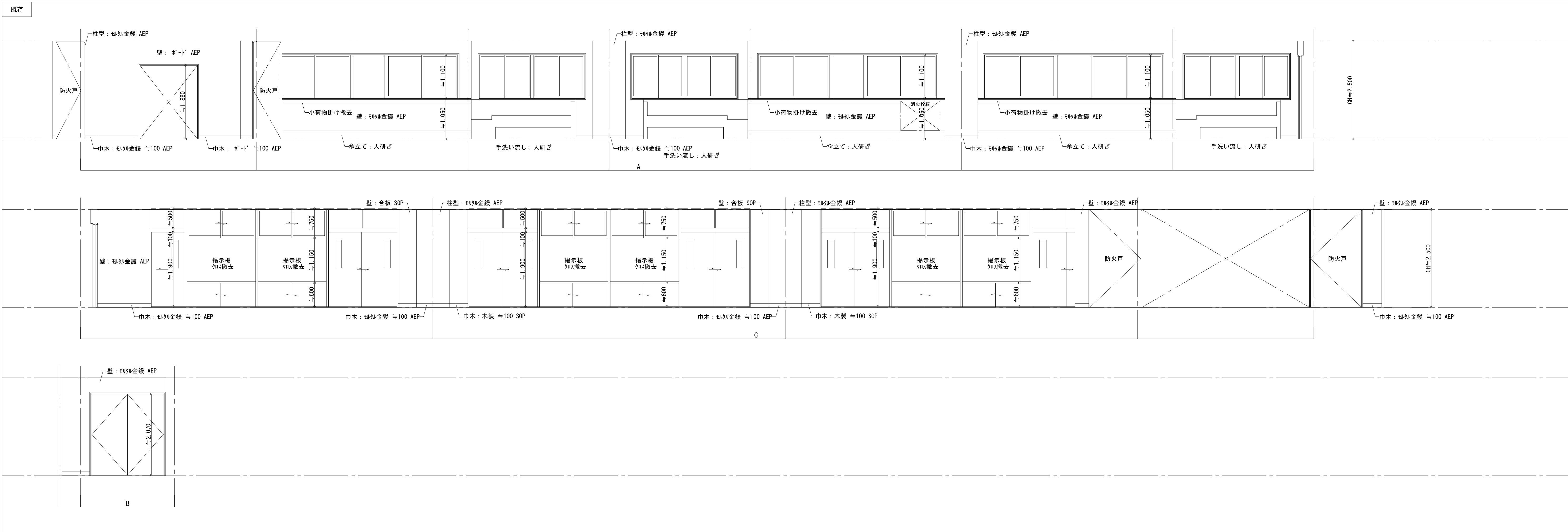
摘要 1階平面詳細図 S=1/50 (既存)	ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆	設計年月日 2023/02/28	承認担当製図 N.S. T.S. T.S.	工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)	図面番号 A-41
		変更年月日	図面名称 普通教室平面詳細・展開図(B棟3階)	縮尺 S=1/50	



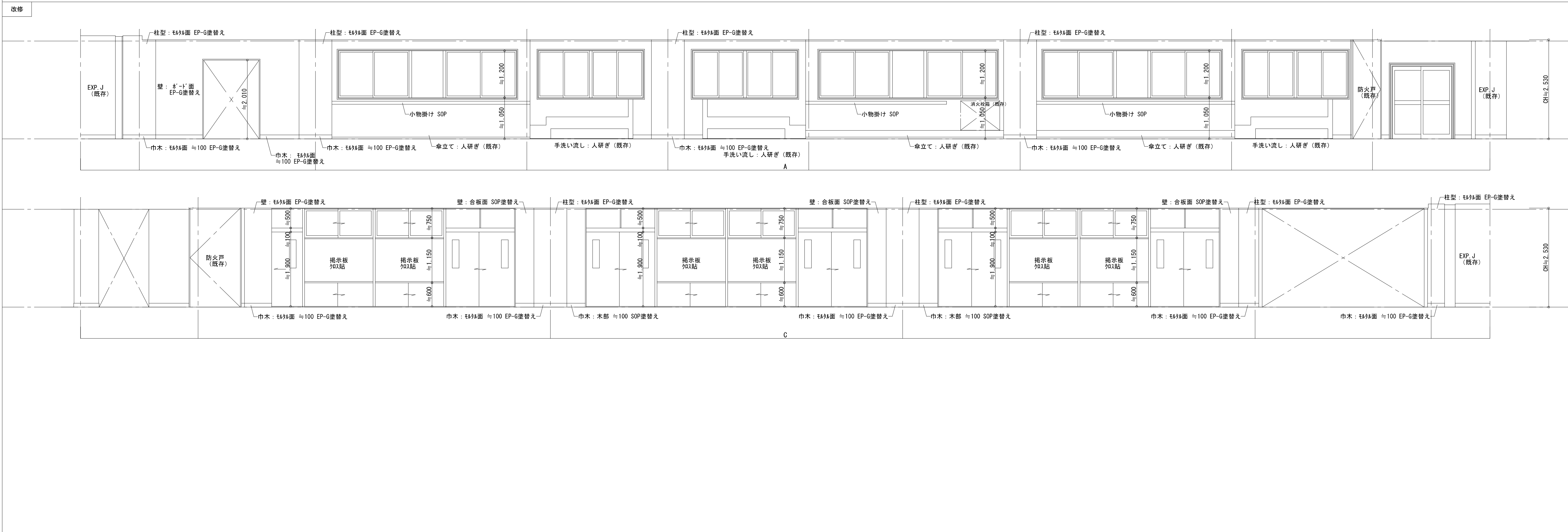
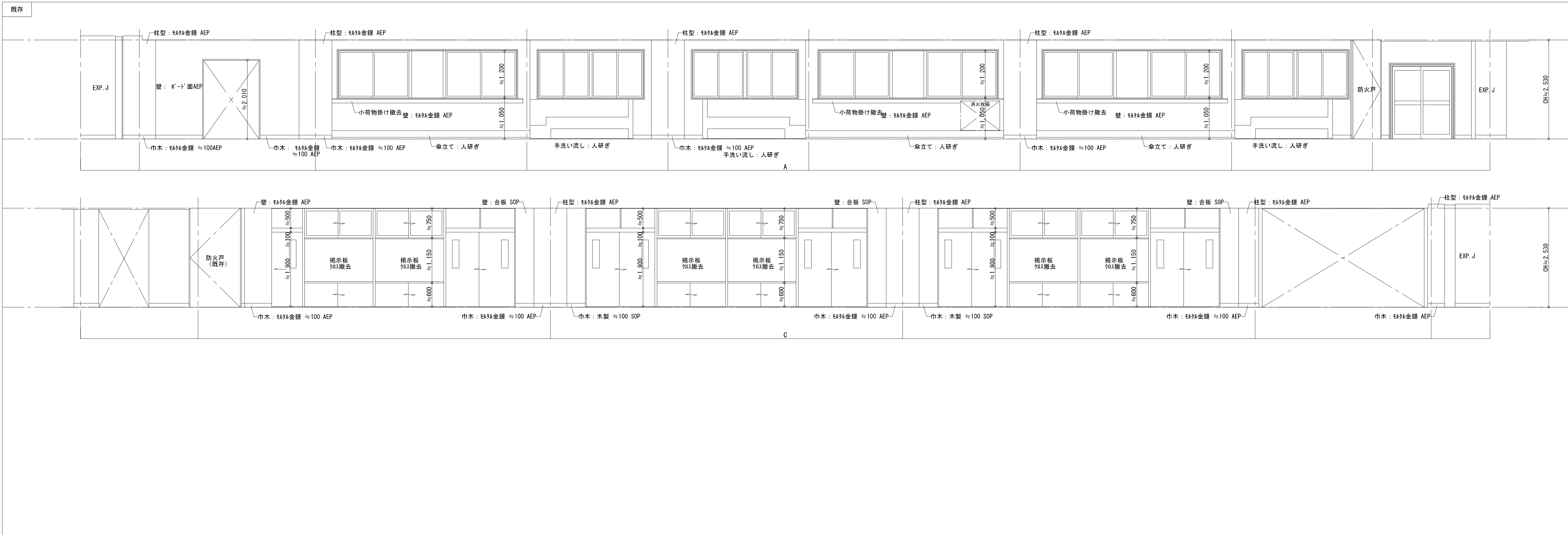


摘要	ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2023/02/28	承認担当製図	工 事 名 称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事 (ゼロ債務)	図面番号	A-43
		変更年月日		N.S. T.S. T.S.	図 面 名 称	廊下 1 階 展 開 図 (A棟)	縮尺	S=1/50



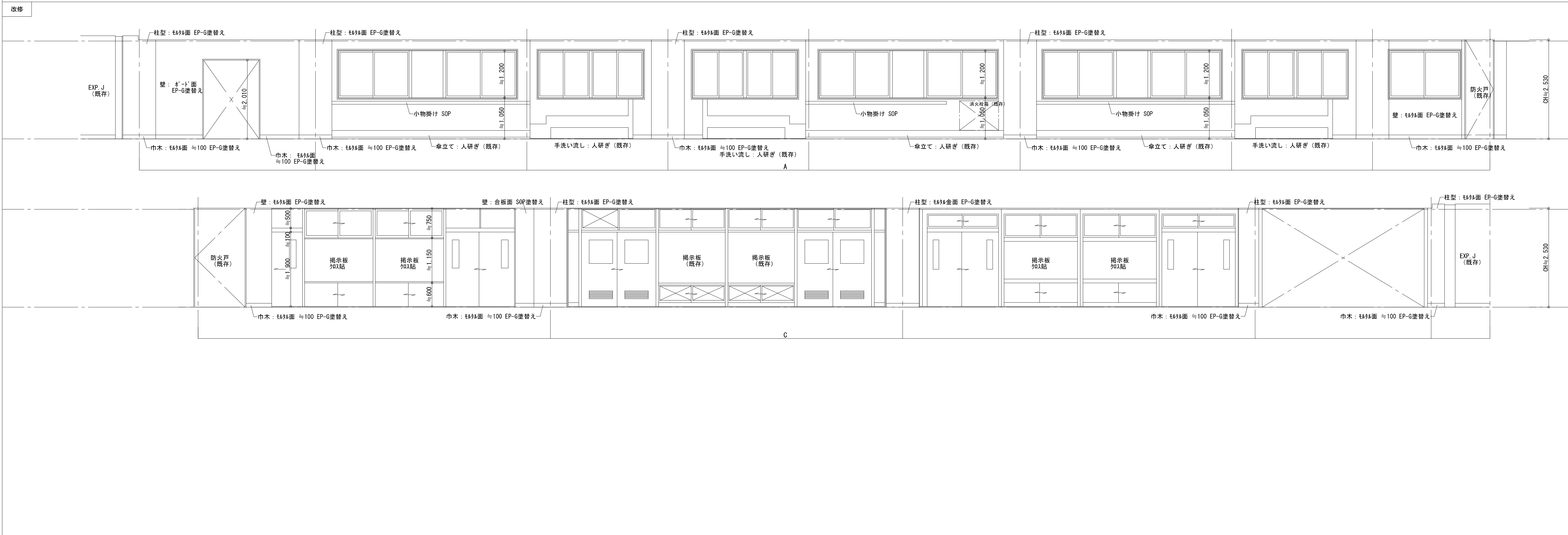
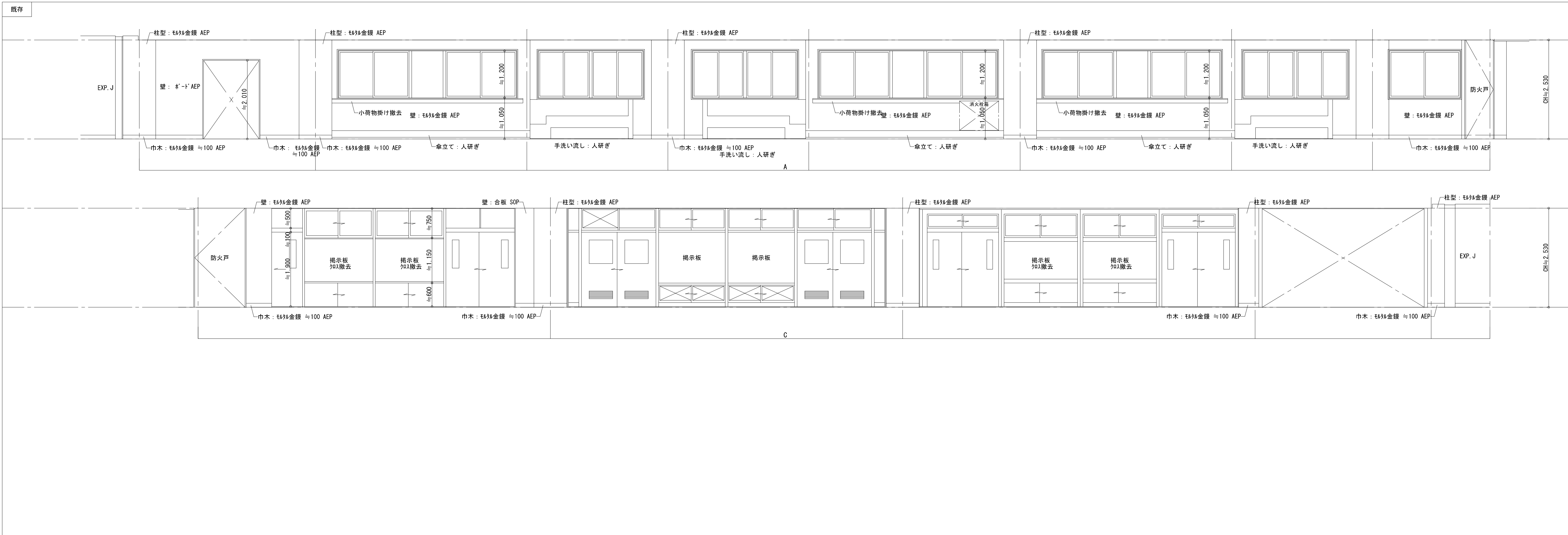


摘要



摘要

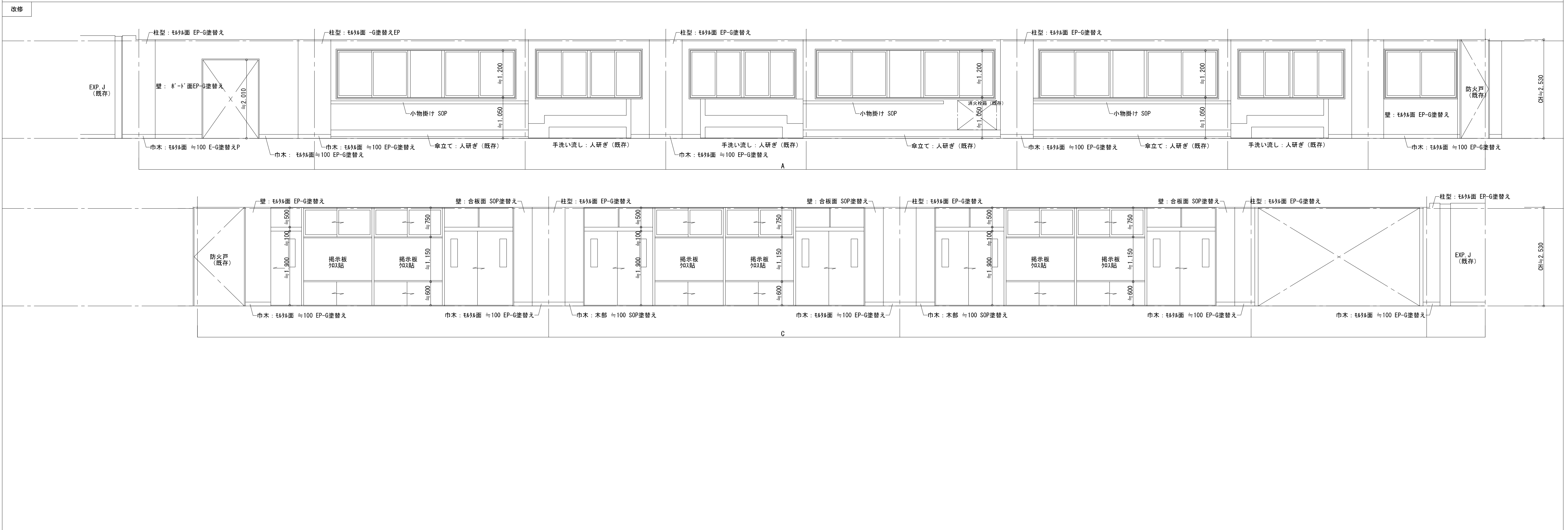
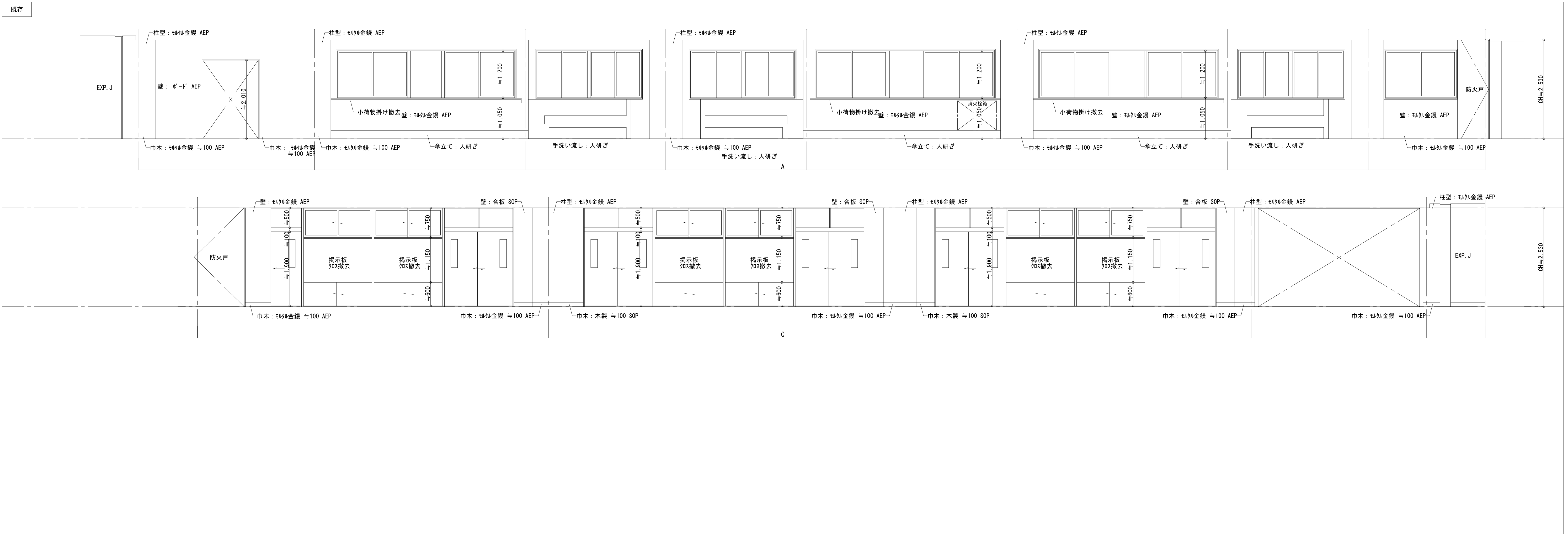
 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所	設計年月日 2023/02/28 変更年月日	承認担当製図 N.S T.S T.S	工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事（ゼロ債務）		図面番号 A-46
			図面名称 廊下1階展開図 (B棟)		




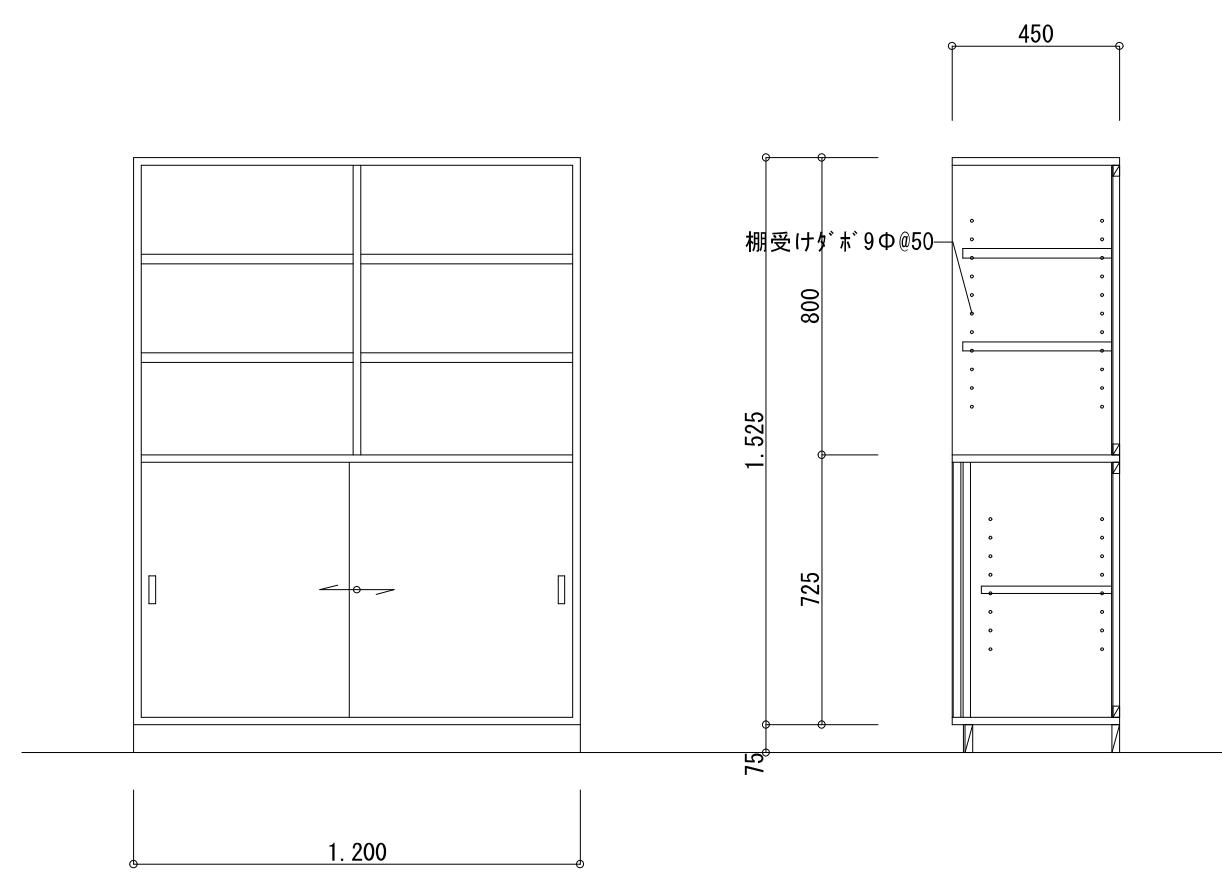
摘要

<p>ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士No. 183598号 菅谷 隆</p>	設計年月日	2023/02/28	承認担当製図	工 事 名 称			図面番号
	変更年月日		N.S. T.S. T.S.	市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)			図面名称
				廊下2階展開図(B棟)			縮尺 S=1/50

A-47



摘要	 ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所	設計年月日 2023/02/28 変更年月日	承認担当製図 N.S. T.S. T.S.	工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)	図面番号 A-48



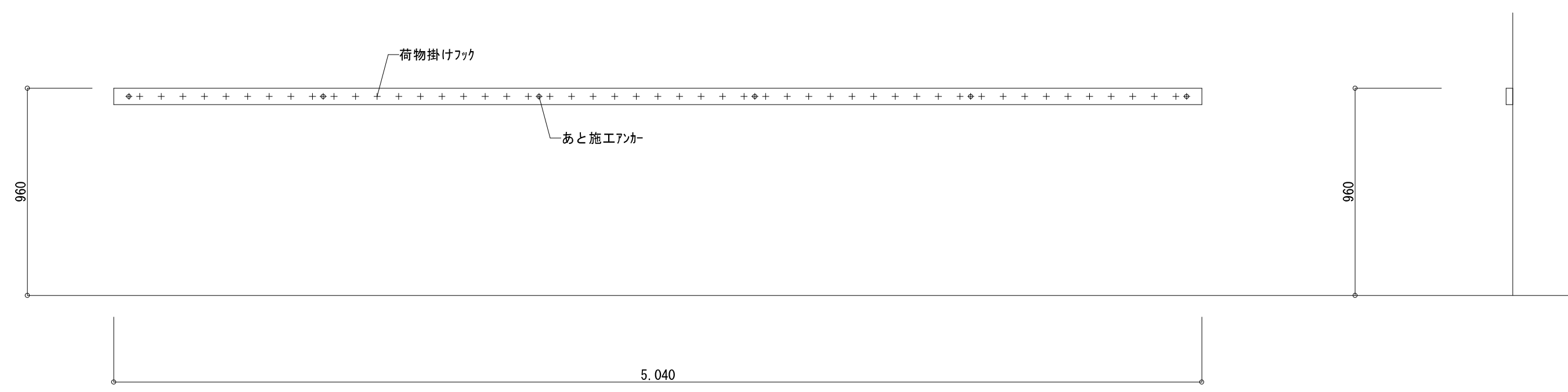
1台

本体	両面メッシュ化粧パネル t=20
棚板	両面メッシュ化粧パネル t=20
背面	メッシュ化粧合板 t=3.8
巾木	メッシュ化粧合板 t=3.8
建具	両面メッシュ化粧パネル t=20
備考	取込引手、引違いロック錠

教師用戸棚 S=1/20 (新規)

9箇所

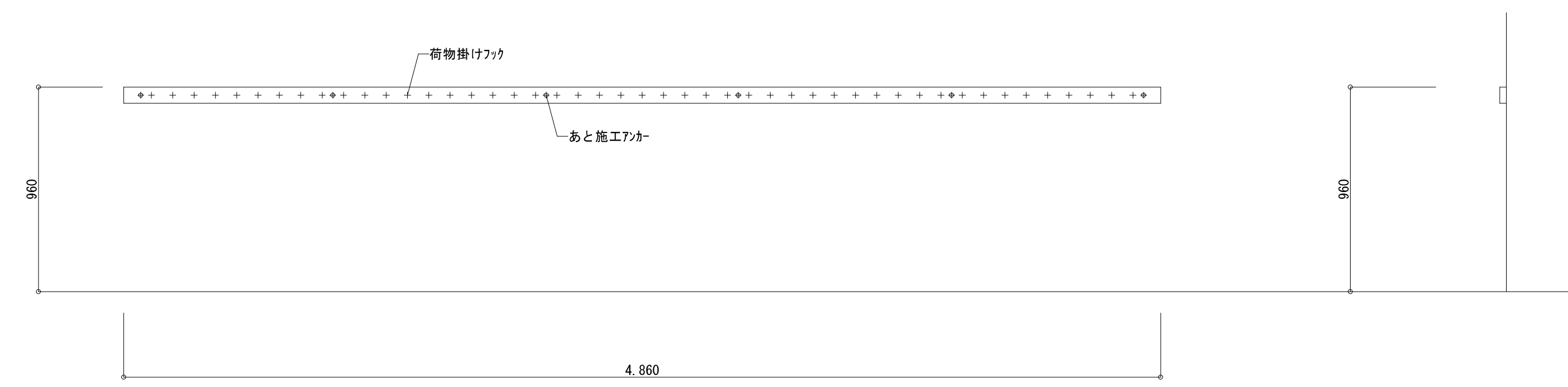
幕板	米罫 30×75
仕上	合成樹脂調合ペイント SOP
荷物掛けフック	SUS玉付回転フック 吊下荷重118N (49個)
あと施工フック	金属拡張フック SUS M8 (6本)
備考	



小荷物掛け S=1/20 (新規)

9箇所

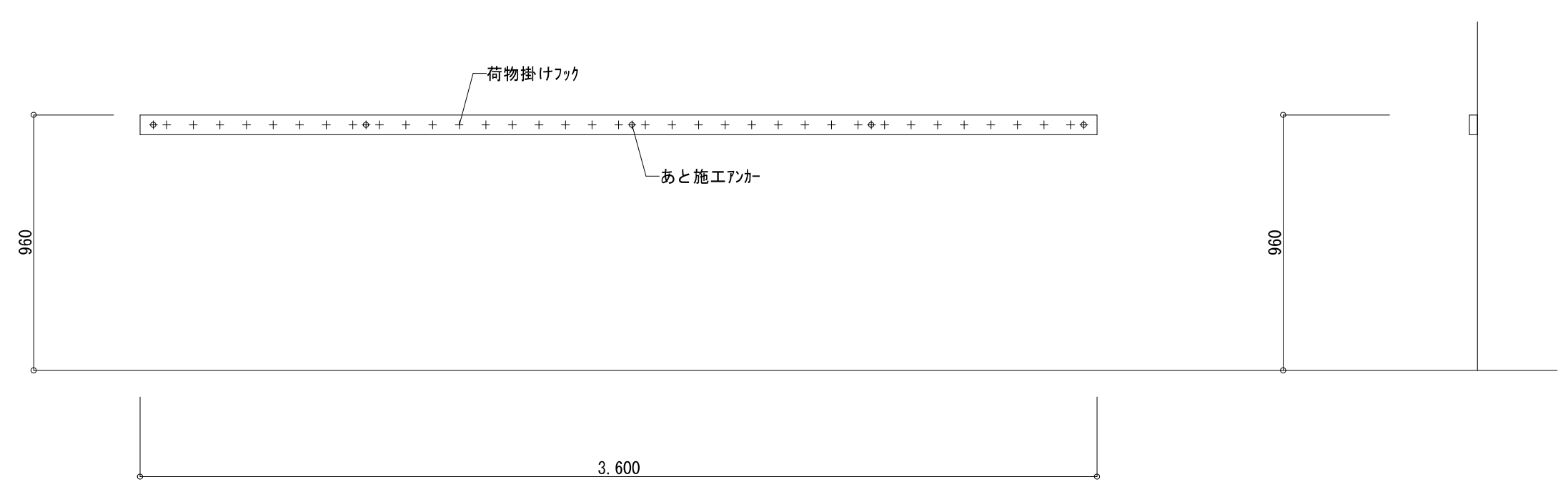
幕板	米罫 30×75
仕上	合成樹脂調合ペイント SOP
荷物掛けフック	SUS玉付回転フック 吊下荷重118N (47個)
あと施工フック	金属拡張フック SUS M8 (6本)
備考	



小荷物掛け S=1/20 (新規)

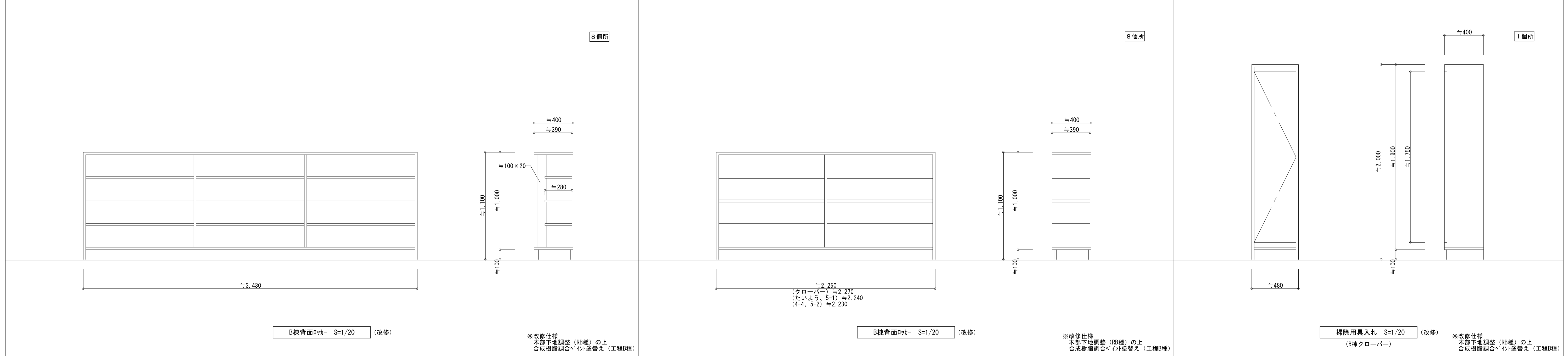
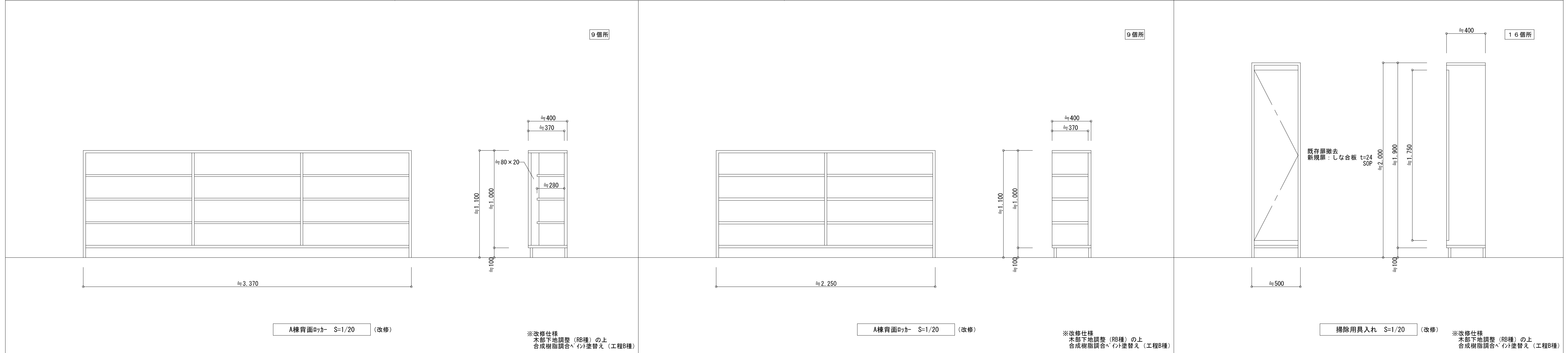
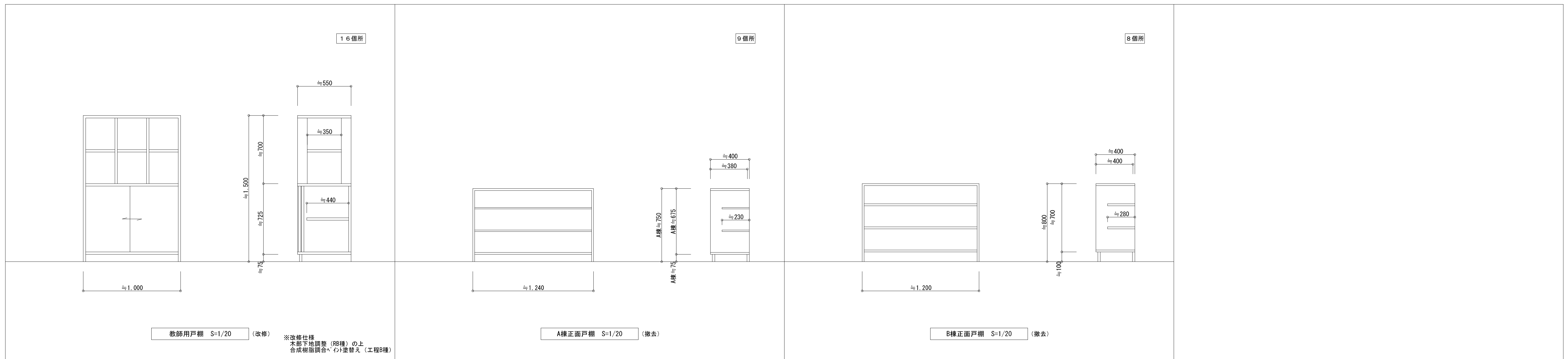
6箇所

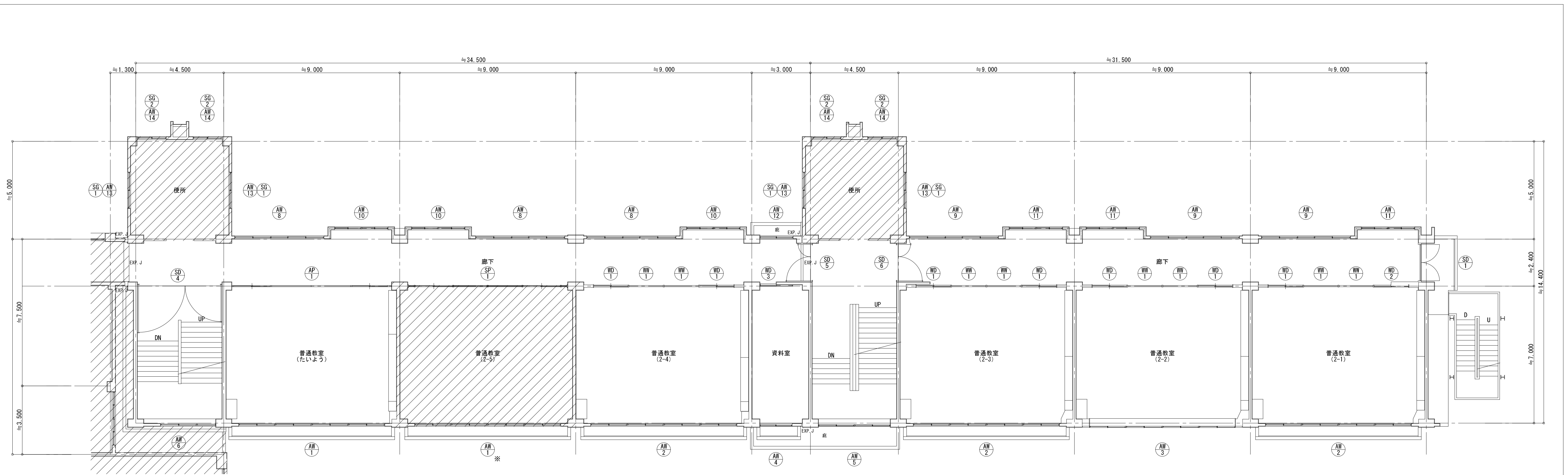
幕板	米罫 30×75
仕上	合成樹脂調合ペイント SOP
荷物掛けフック	SUS玉付回転フック 吊下荷重118N (36個)
あと施工フック	金属拡張フック SUS M8 (5本)
備考	



小荷物掛け S=1/20 (新規)

摘要





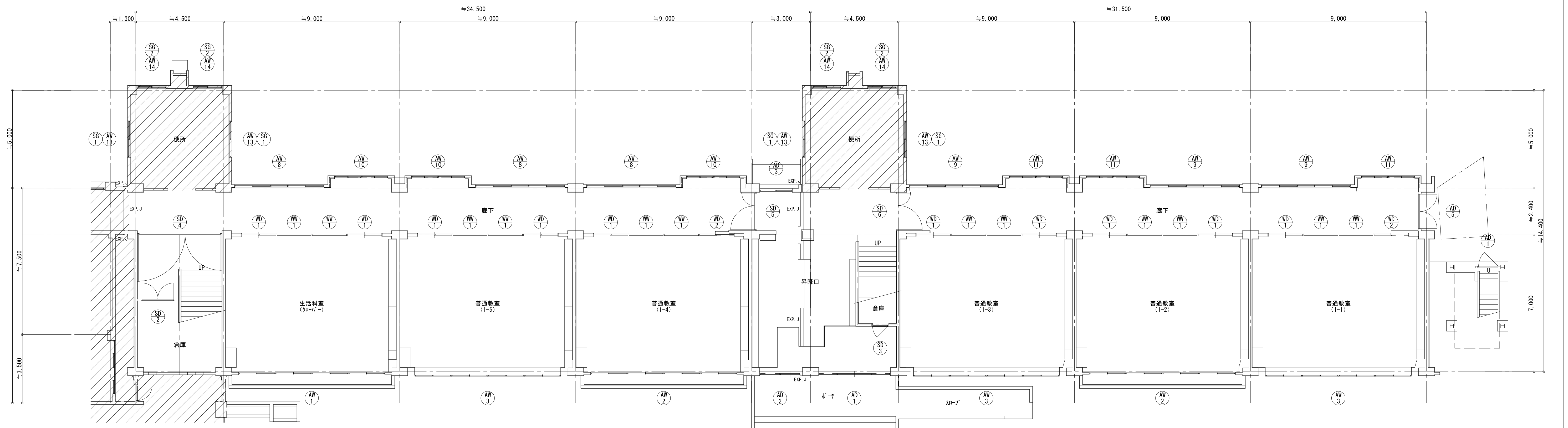
B棟

2階平面図 S=1/100



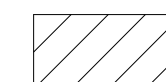
斜線部分は工事範囲外を示す

A棟



B棟

1階平面図 S=1/100



斜線部分は工事範囲外を示す

A棟

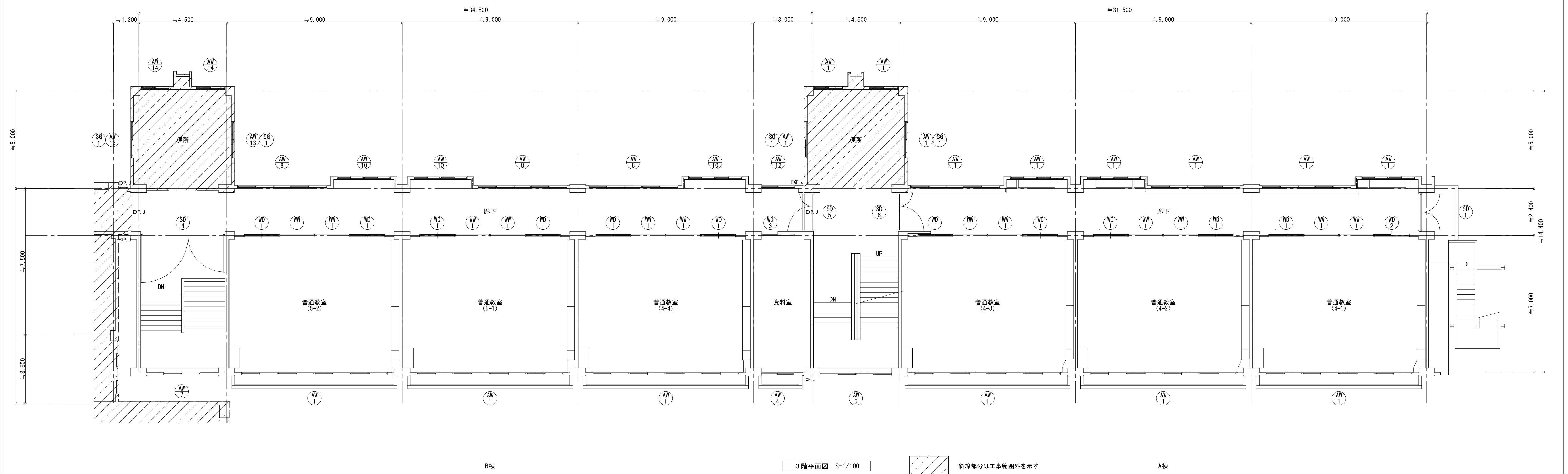
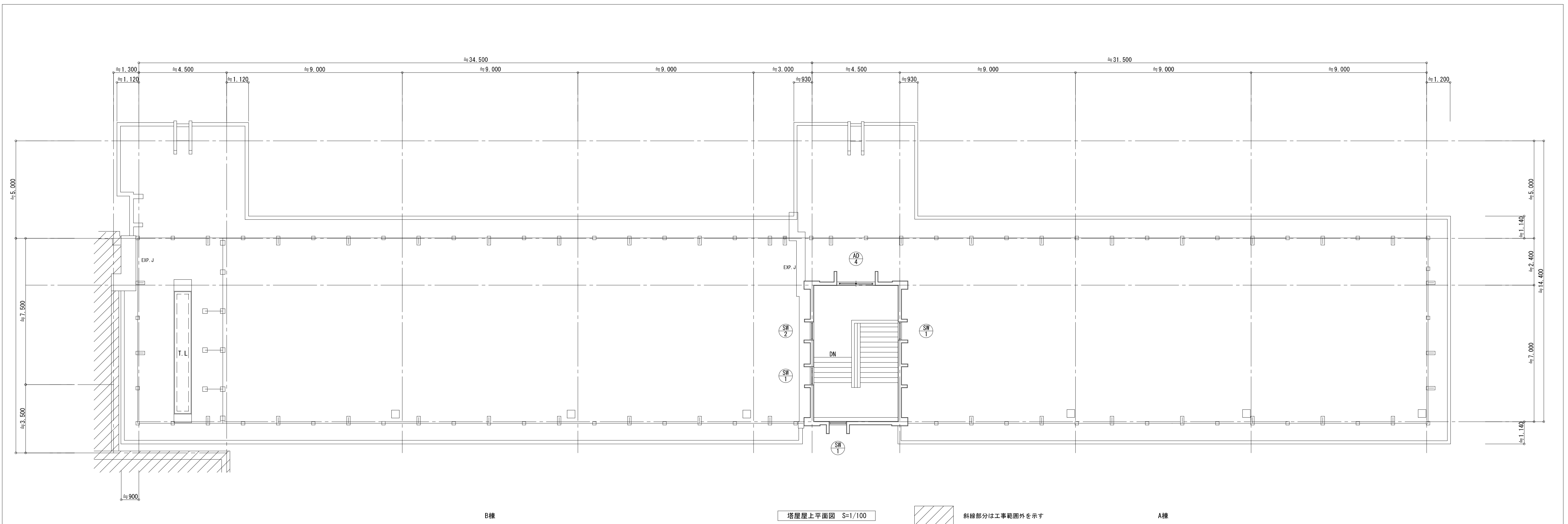
摘要	
----	--

ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆


設計年月日	2023/02/28
変更年月日	

承認担当製図	N.S	T.S	T.S
工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事 (ゼロ債務)		
図面名称	1・2階建具キツリ		

図面番号	A-51
縮尺	S=1/100



摘要	


ハナガタ建築設計事務所
 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2023/02/28
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立水谷小学校北校舎建築改修工事(ゼロ債務)
図面名称	3階・塔屋 建具 + プラン

図面番号	A-52
縮尺	S=1/100

建具番号	SD 1	SD 2	SD 3	SD 4	SD 5	SD 6
※ 図						
形式	両開きフラスコ戸	両開きフラスコ戸	両開きフラスコ戸	両開きフラスコ防火戸	両開きフラスコ防火戸	両開きフラスコ防火戸
箇所	A棟廊下 2箇所	B棟倉庫 1箇所	A棟倉庫 1箇所	B棟階段 3箇所	B棟階段 3箇所	B棟階段 3箇所
仕上	ｽﾌｰﾙ SOP塗替え	ｽﾌｰﾙ SOP塗替え	ｽﾌｰﾙ SOP塗替え	ｽﾌｰﾙ SOP塗替え	ｽﾌｰﾙ SOP塗替え	ｽﾌｰﾙ SOP塗替え
見込	枠 80	枠 80	枠 80	枠 100	枠 100	枠 100
硝子						
附属金物	ｼﾘﾝｸﾞ-錠交換	ｼﾘﾝｸﾞ-錠交換	ｼﾘﾝｸﾞ-錠交換			
備考	既存建具、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	既存建具	既存建具	既存建具

建具番号	SW 1	SW 2	SG 1	SG 2	AD 1	AD 2	AD 3	AD 4
※ 図								
形式	嵌め殺し窓 (換気ｸﾞﾗｲﾄﾞ)	嵌め殺し窓 (換気ｸﾞﾗｲﾄﾞ)	換気ｸﾞﾗｲﾄﾞ	換気ｸﾞﾗｲﾄﾞ	引分け框ﾊﾝｶﾞ-戸 (嵌め殺し窓付)	片引き框戸	引違い框戸	引違い框戸
箇所	塔屋 3箇所	塔屋 1箇所	便所 2 4箇所	便所 8箇所	A棟昇降口 1箇所	A棟昇降口 1箇所	B棟廊下 1箇所	塔屋 1箇所
仕上	ｽﾌｰﾙ SOP塗替え	ｽﾌｰﾙ SOP塗替え	ｽﾌｰﾙ SOP塗替え (外面)	ｽﾌｰﾙ SOP塗替え (外面)	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ
見込	枠 80	枠 80	枠 80	枠 80	枠 70	枠 70	枠 70	枠 70
硝子					既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ
附属金物					引戸錠交換	引戸錠交換	引違い錠交換	引違い錠交換
備考	既存建具、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え (内外共)	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え (内外共)	既存建具、建具調整、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え (内外共)

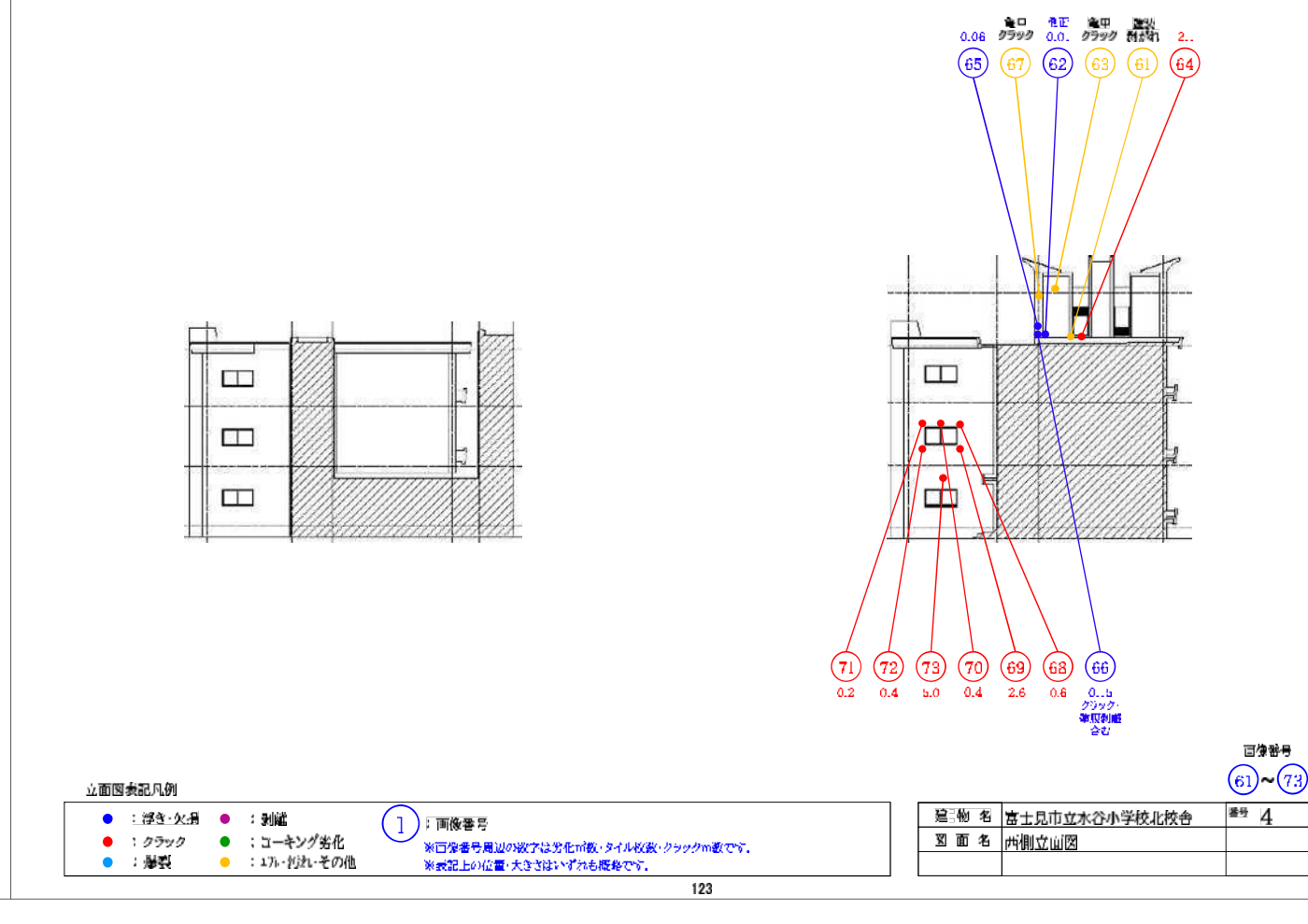
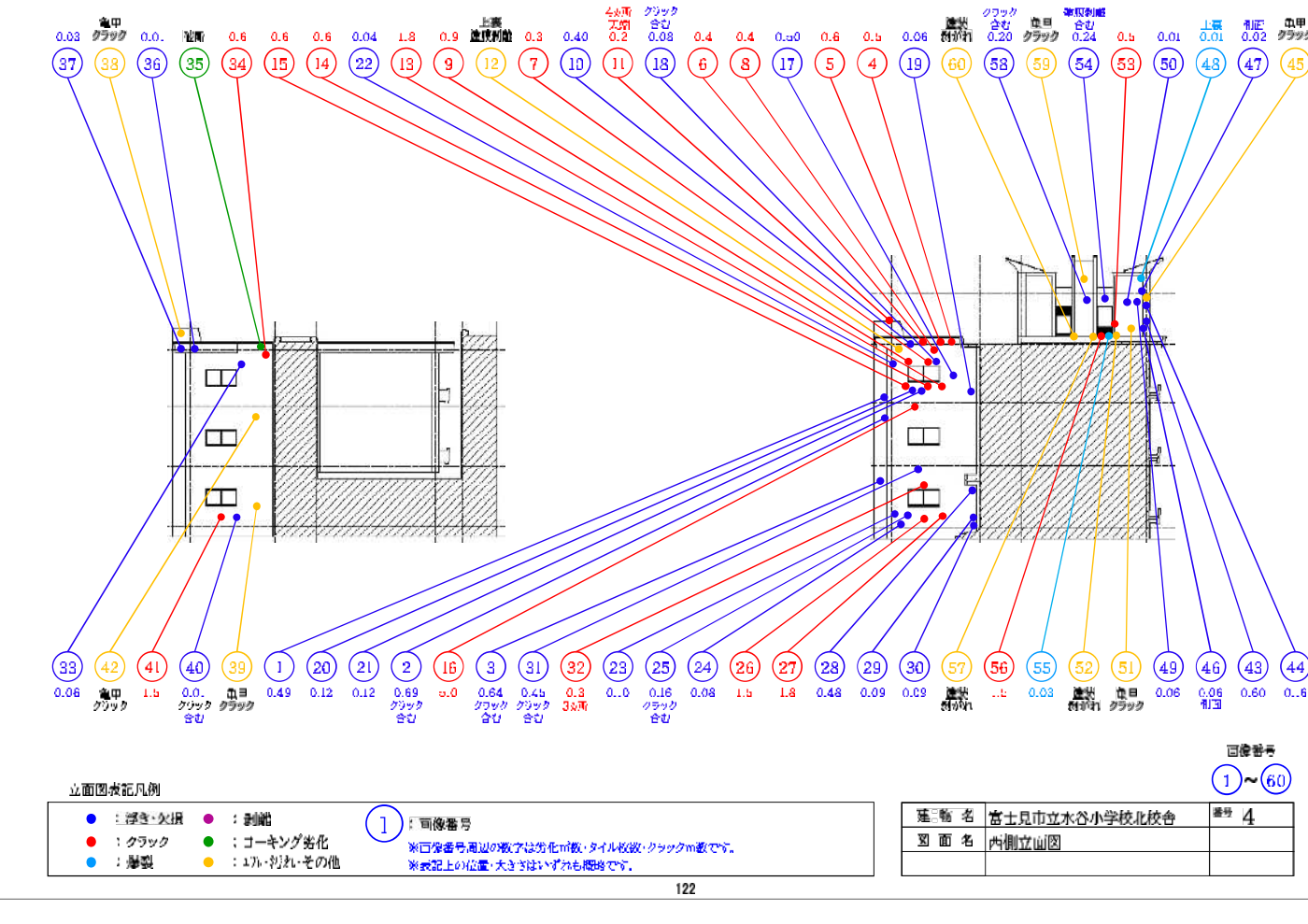
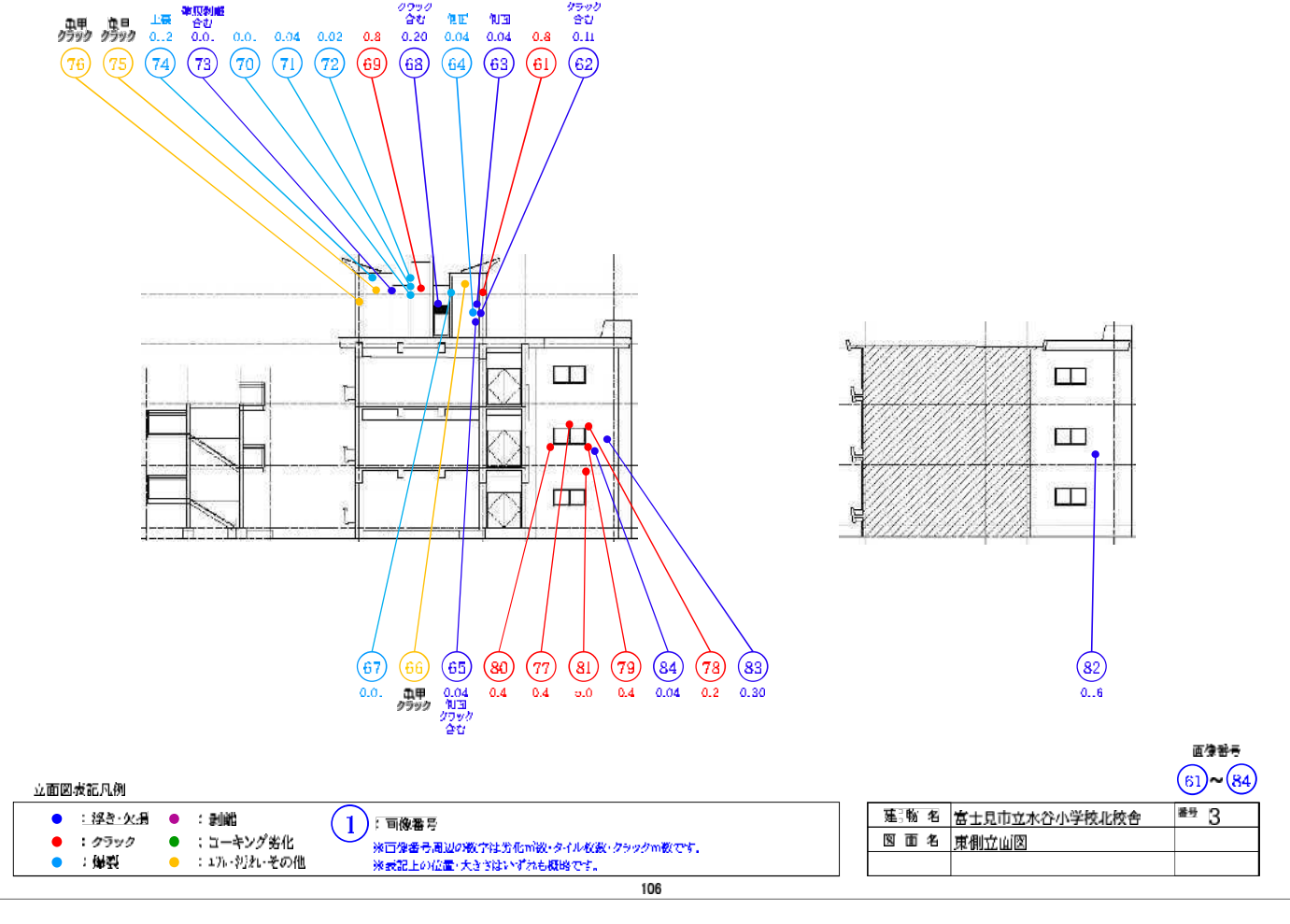
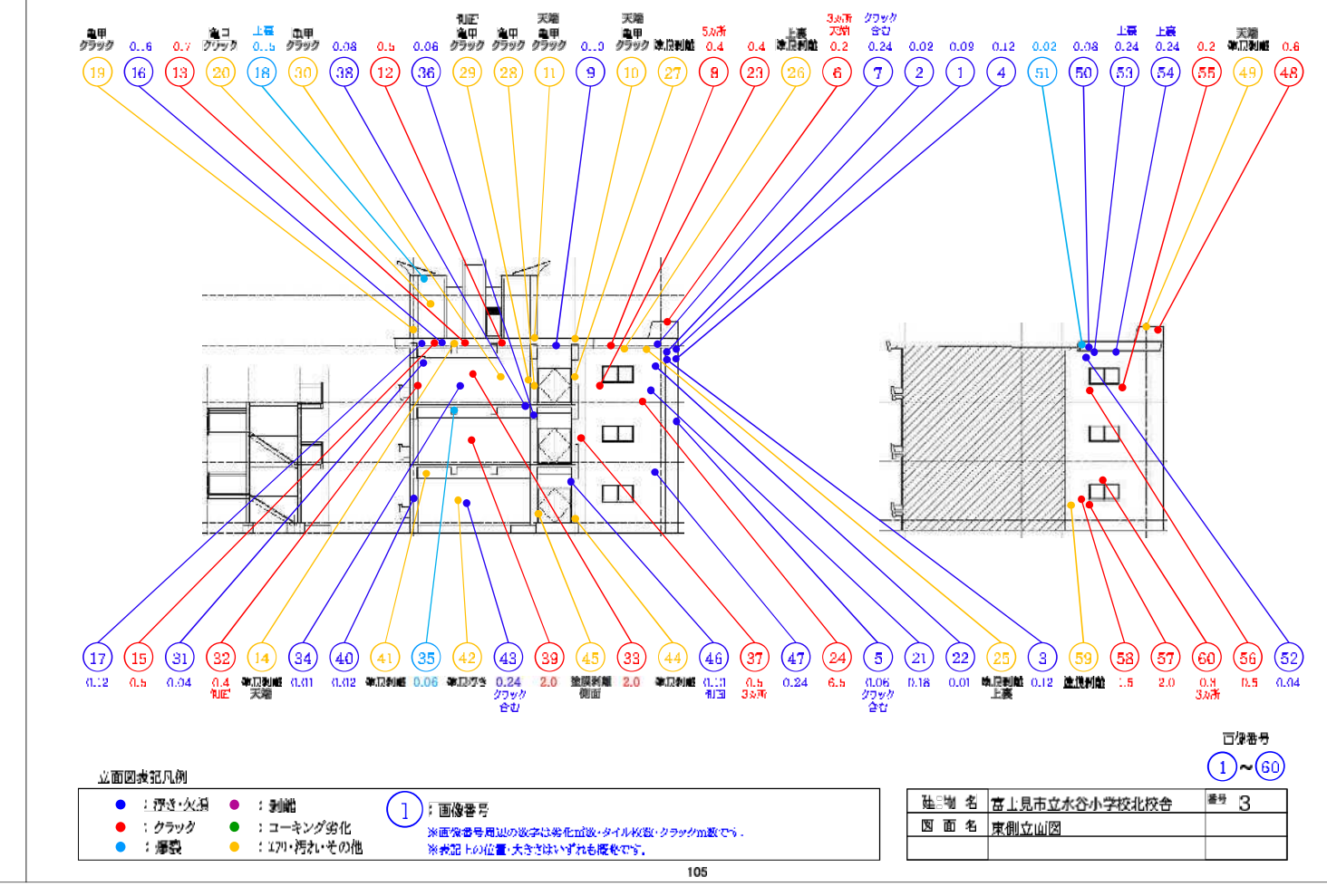
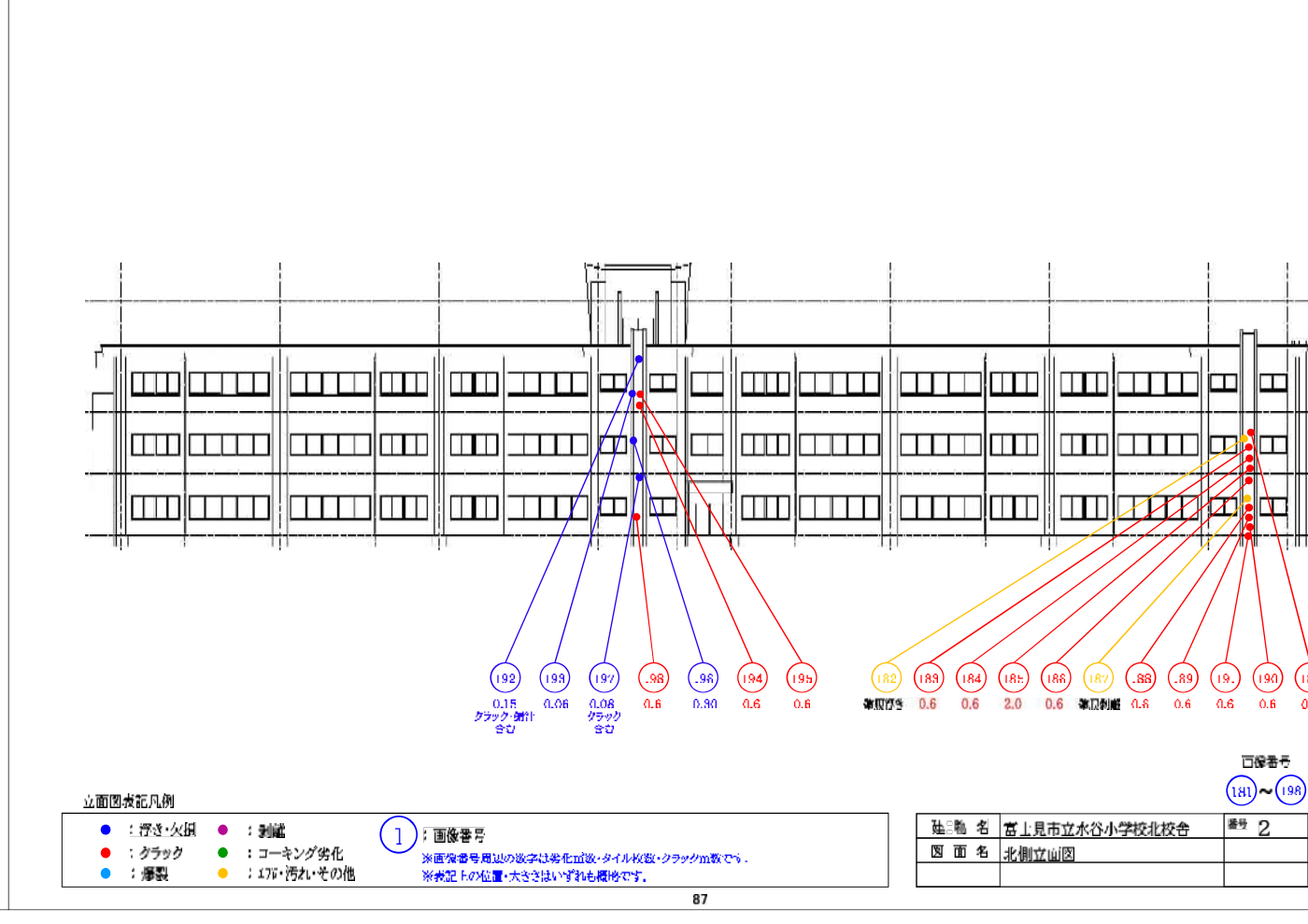
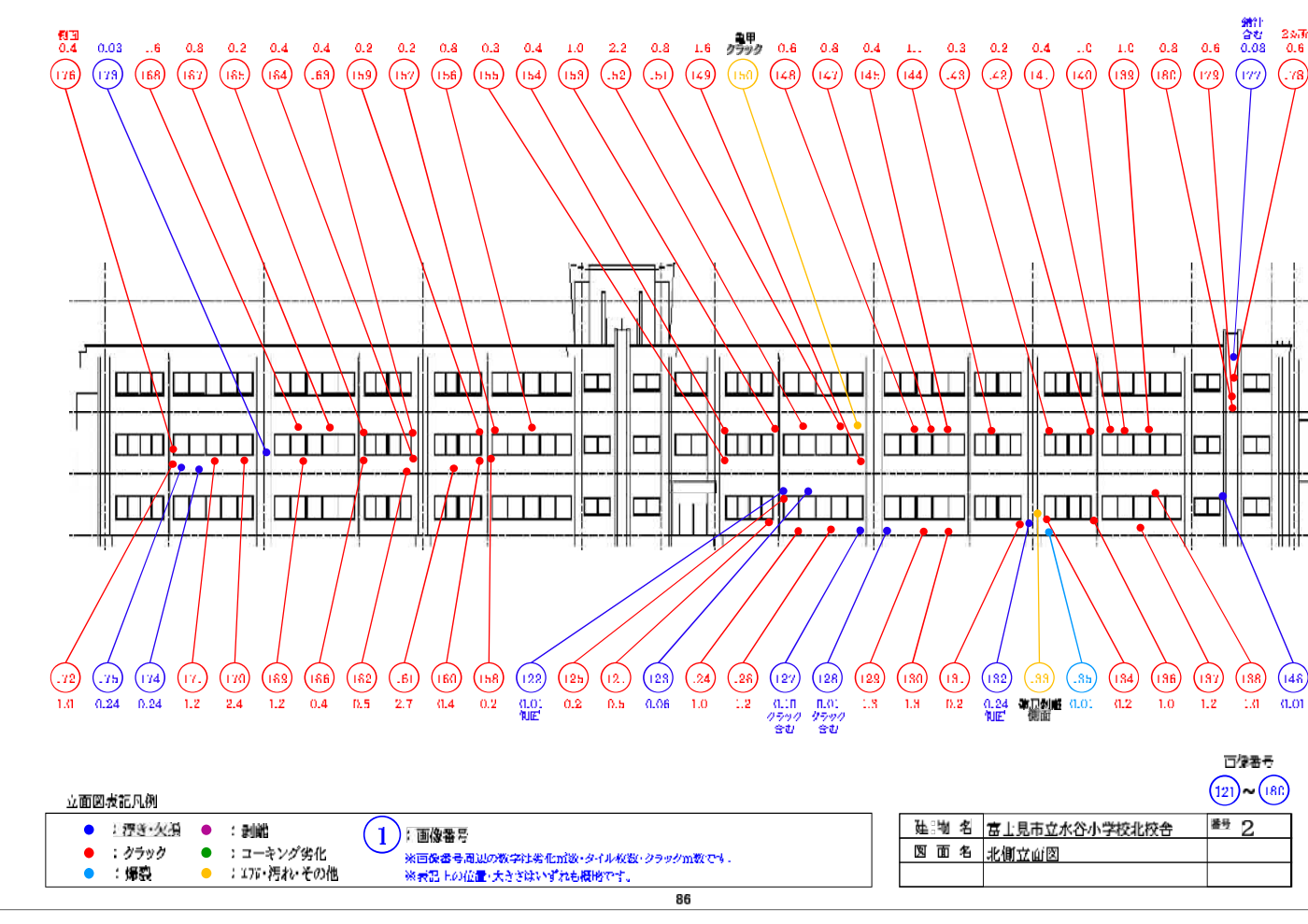
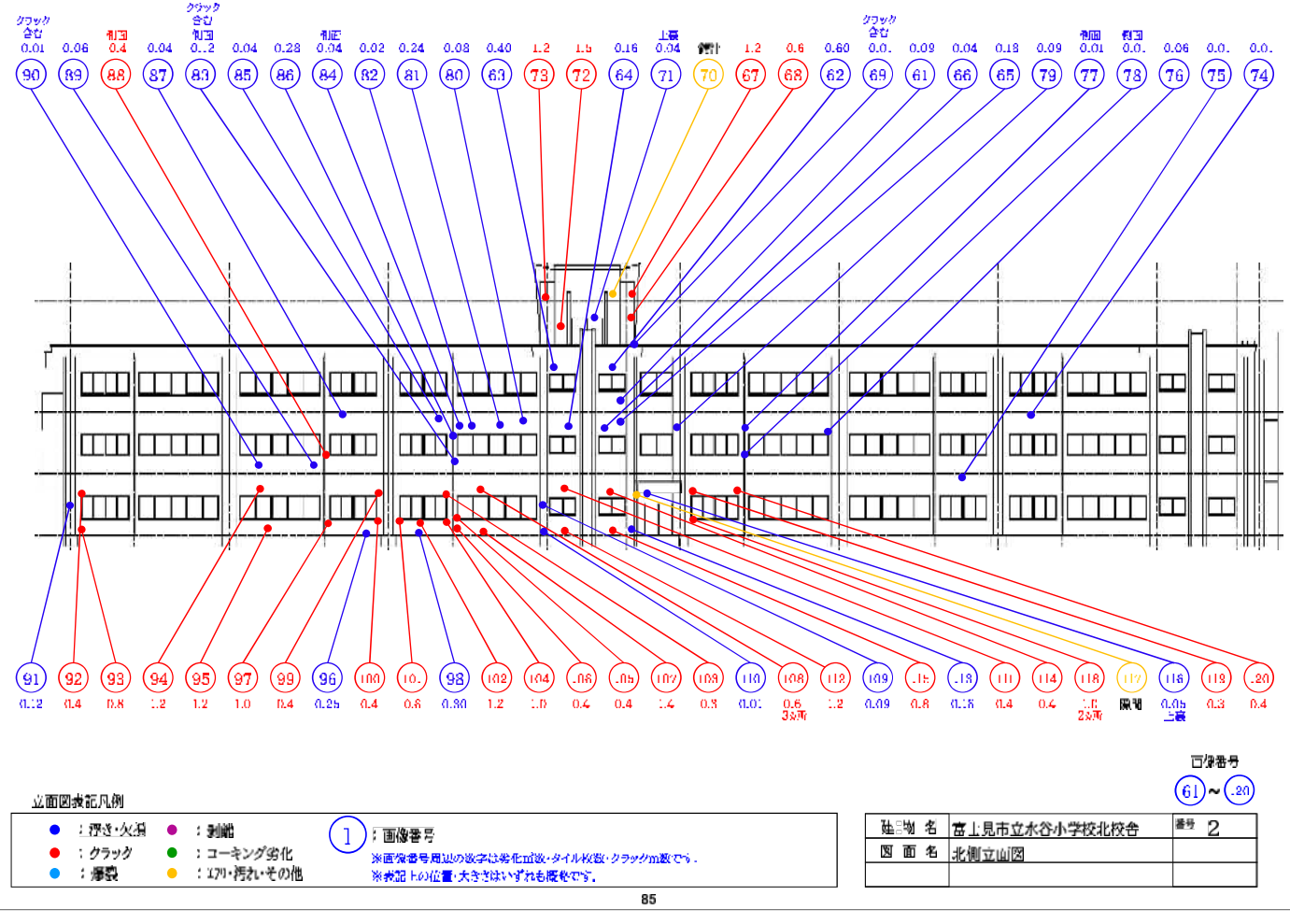
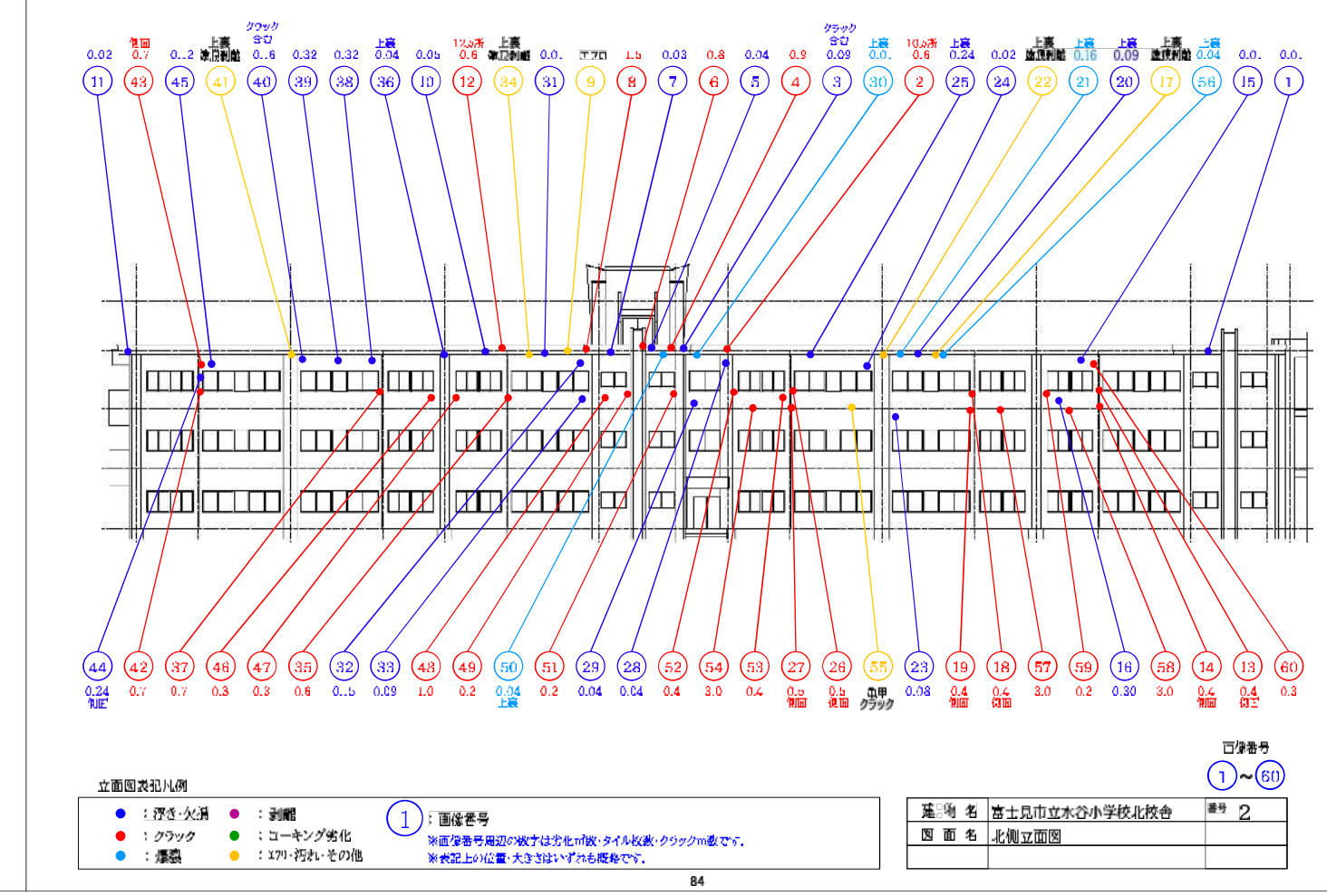
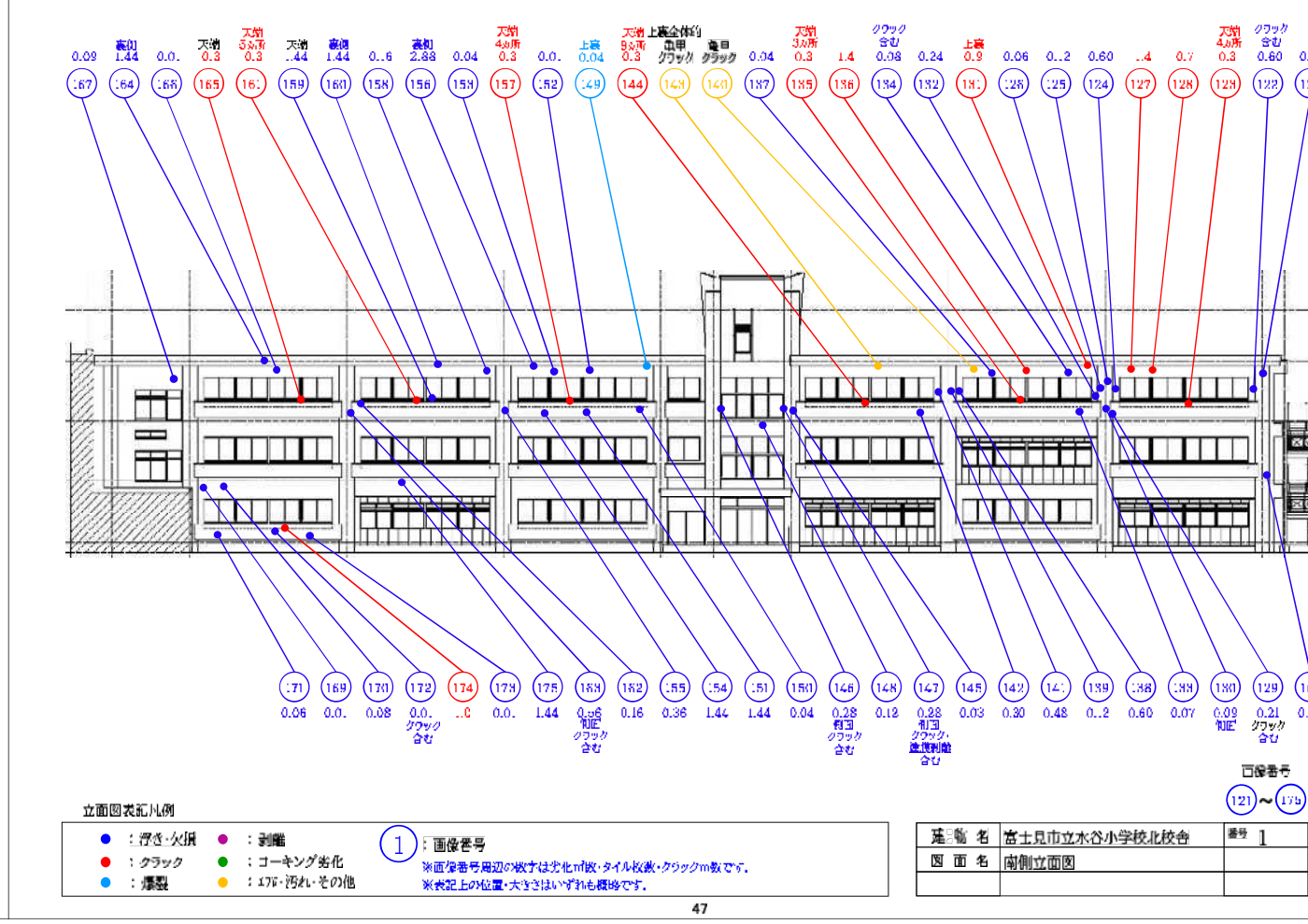
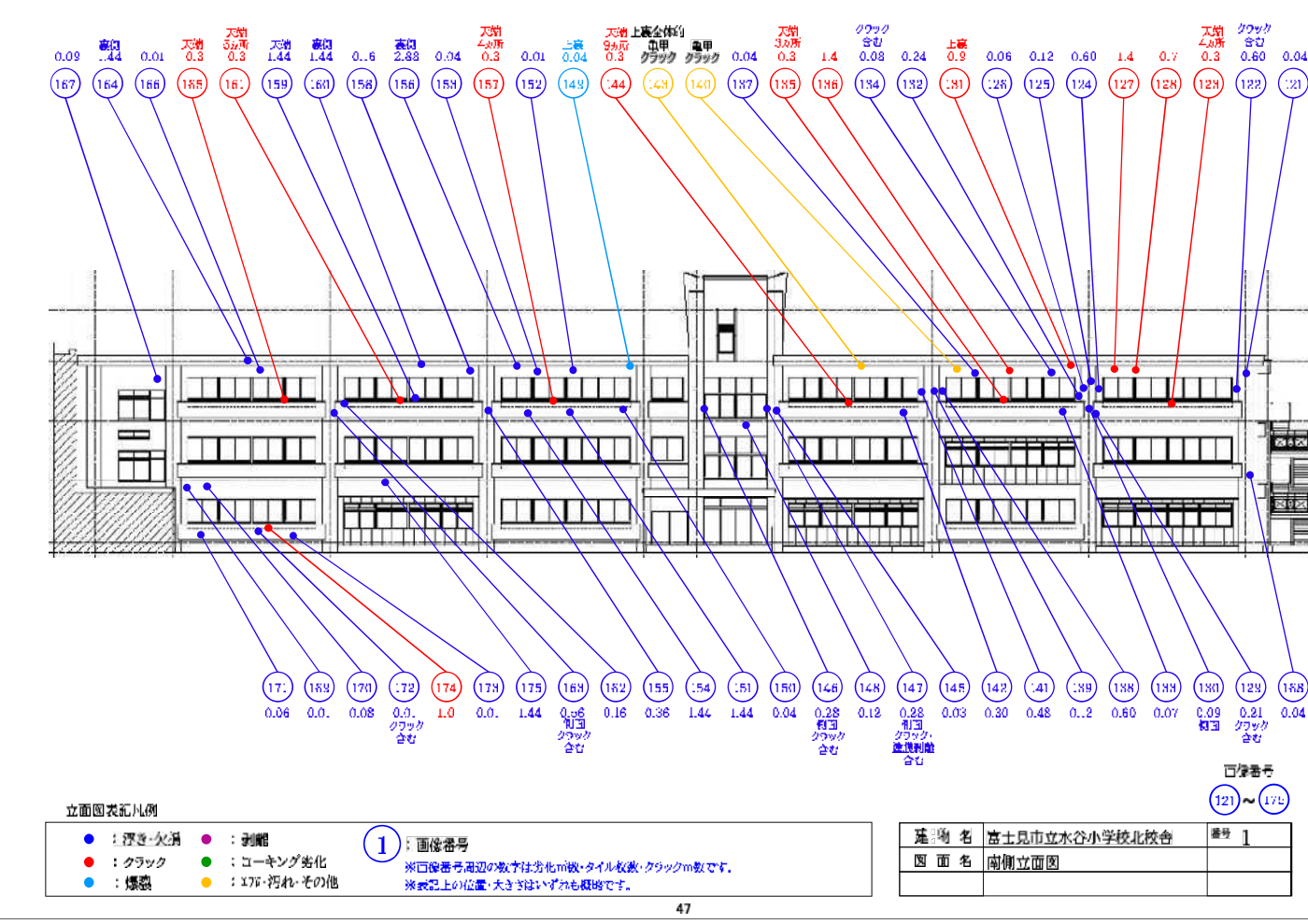
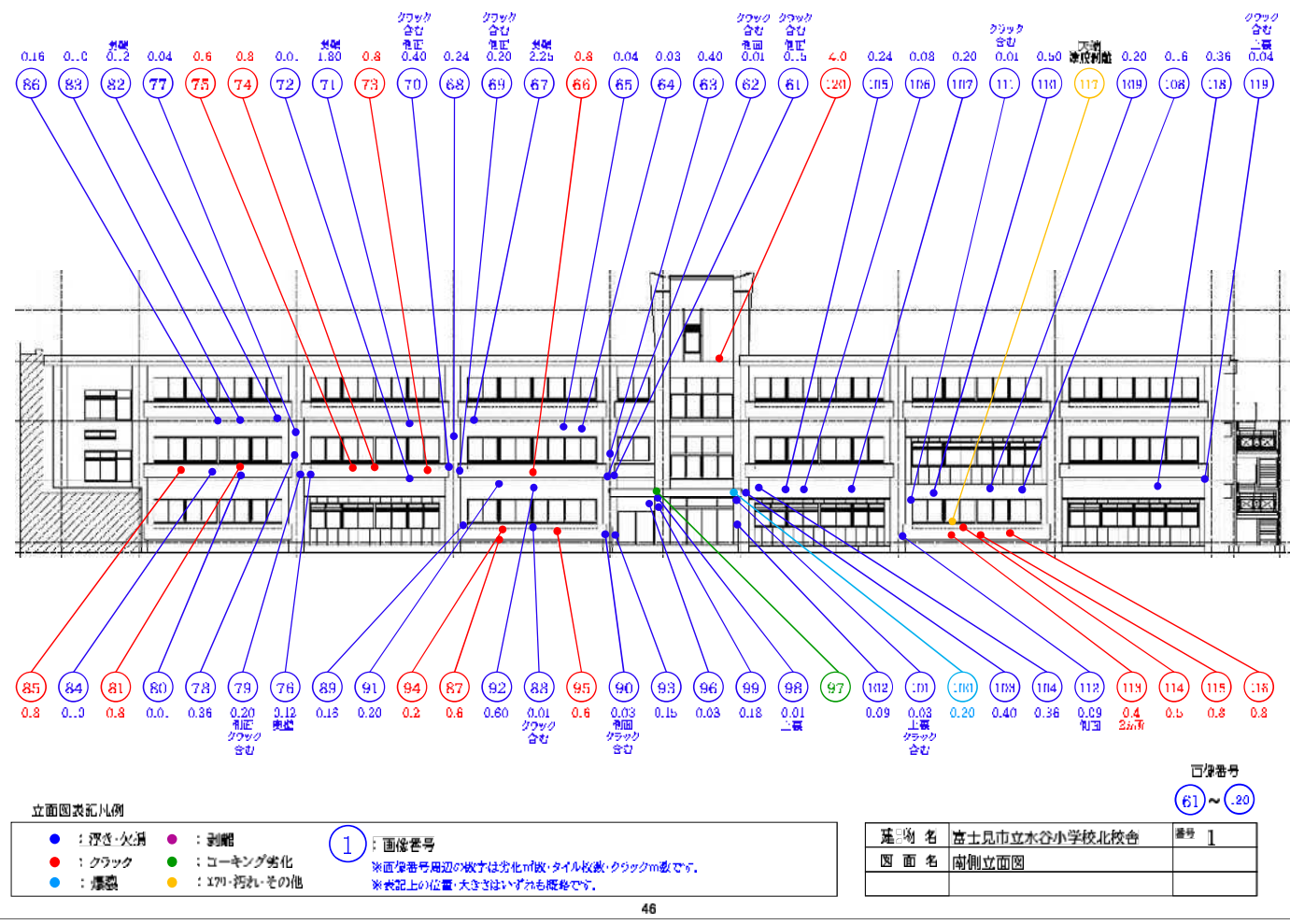
建具番号	AD 5	AW 1	AW 2	AW 3
※ 図				
形式	両開きフラスコ戸	4連引違い段窓	4連引違い段窓	4連引違い窓 (引違い欄間付)
箇所	A棟廊下 1箇所	普通教室 9箇所	普通教室 5箇所	普通教室 4箇所
仕上	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ
見込	枠 70	枠 70	枠 70	枠 70
硝子		既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ
附属金物	ｼﾘﾝｸﾞ-錠交換			
備考	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え (内外共)	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え、ｽﾄｯﾊﾟｰ-取付 (※印箇所)	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え (内外共)	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え

建具番号	AW 4	AW 5	AW 6	AW 7	AW 8	AW 9	AW 10
※ 図							
形式	引違い段窓	引違い窓 (嵌め殺し欄間付)	引違い嵌め殺し連窓 (嵌め殺し欄間付)	引違い窓 (2段)	引違い嵌め殺し連窓	引違い嵌め殺し連窓	2連引違い窓
箇所	資料室 2箇所	A棟階段室 2箇所	B棟階段室 1箇所	B棟階段室 1箇所	B棟廊下 9箇所	A棟廊下 9箇所	B棟廊下 9箇所
仕上	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ	ﾌﾙﾐﾆｯｸﾙ
見込	枠 70	枠 70	枠 70	枠 70	枠 70	枠 70	枠 70
硝子	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ	既存ｶﾞﾗｽﾍﾞｰﾄﾞ撤去後ｼﾘｺﾝ系ｺｰｷﾝｸﾞ
附属金物							
備考	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え	既存建具、ｶﾞｯｼﾞｸﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、ｺｰｷﾝｸﾞ 打替え

摘要	ハナガタ建築設計事務所 一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆	設計年月日	承認担当製図 工事名称 市立水谷小学校北校舎建築改修工事 (ゼロ債務)	図面番号
		変更年月日		N.S T.S T.S 図面名称 建具表 (1)

建具番号	AW11	AW12	AW13	AW14	
姿 図					
形 式	2連引き違い窓	引き違い窓	引き違い窓	引き違い窓	
箇 所	A棟廊下 9箇所	B棟廊下 2箇所	便所 12箇所	便所 12箇所	
仕 上	7äニ>ム	7äニ>ム	7äニ>ム	7äニ>ム	
見 込	枠 70	枠 70	枠 70	枠 70	
硝 子	既存äラ>ビ>ト撤去後シリコン系<コ>キ>	既存äラ>ビ>ト撤去後シリコン系<コ>キ>	既存äラ>ビ>ト撤去後シリコン系<コ>キ>	既存äラ>ビ>ト撤去後シリコン系<コ>キ>	
附属金物					
備 考	既存建具、サッシ<ラ>スクリ>ング、<コ>キ>打替え	既存建具、サッシ<ラ>スクリ>ング、<コ>キ>打替え	既存建具、サッシ<ラ>スクリ>ング（外面）、<コ>キ>打替え	既存建具、サッシ<ラ>スクリ>ング（外面）、<コ>キ>打替え	
建具番号	WD1	WD2	WD3	WW1	
姿 図					
形 式	引違い<ラ>ッシュ戸（嵌め殺し欄間付）	片引き<ラ>ッシュ戸（嵌め殺し欄間付）	片引き<ラ>ッシュ戸（嵌め殺し欄間付）	引違い<ラ>ラス戸、引違い<ラ>ッシュ戸	
箇 所	普通教室 28箇所	普通教室 4箇所	資料室 2箇所	普通教室 32箇所	
仕 上	合板面 SOP塗替え	合板面 SOP塗替え	合板面 SOP塗替え	木部及び合板面 SOP塗替え	
見 込					
硝 子					
附属金物	戸車交換	戸車交換	戸車交換、引戸錠交換	戸車交換	
備 考	既存建具、<ラ>スクリ>ング	既存建具、<ラ>スクリ>ング	既存建具、<ラ>スクリ>ング	既存建具、<ラ>スクリ>ング	
建具番号	AP1	SP			
姿 図					
形 式	可動間仕切り	スäルäハ>トーション			
箇 所	普通教室（たいよう） 1箇所	普通教室 1箇所			
仕 上	7äニ>ム	7äニ>ム			
見 込	枠 70	枠 70			
硝 子					
附属金物					
備 考	既存建具、サッシ<ラ>スクリ>ング	既存建具、サッシ<ラ>スクリ>ング			
建具番号					
姿 図					
形 式					
箇 所					
仕 上					
見 込					
硝 子					
附属金物					
備 考					

摘 要



劣化状況集計(参考)

	南面	北面	東面	西面	計
珪藻土浮き (㎡)	39.65	7.74	3.51	6.27	
珪藻土剥離 (箇所)	100×100程度	2	2	1	
	100×200程度		2		
	100×300程度			1	
	200×200程度	1	2	2	
	200×300程度	2		1	
	200×1000程度	1			
珪藻土剥離 (m)	300×400程度		1		
	300×500程度		1		
	400×400程度		1		
珪藻土剥離 (m)	0.3mm以下	28.30	100.00	32.00	24.90
	0.3mm以上	5.90	4.30	0.00	7.80